

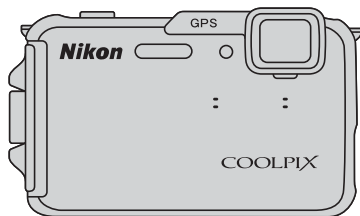
Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX AW110

クールピクス AW110

活用ガイド



Jp

COOLPIX AW110おすすめ機能



📷 クイックエフェクト 📖48

撮影後すぐに、さまざまな効果を写真に付けられます。

効果のプレビュー画面で仕上がりイメージを確認しながら、シーンや気分に合わせてお気に入りの1枚を作成できます。

再生時に **OK** ボタンを押しても、効果を付けられます。

アウトドアで役立つさまざまな機能

• GPS機能 📖82

カメラ内蔵のGPSを使うと、撮影する画像に位置情報（緯度と経度）を記録できます。また、撮影する画像に地名情報（POI：Point of interest）を記録したり、移動情報のログを記録したりできます。

• 地図表示 📖85

カメラ内蔵の地図・地名情報で、現在地や撮影場所を画面上に表示できます。

• 高度計・水深計表示 📖87

撮影画面に高度や水深を表示し、撮影画像に記録できます。

カメラ内蔵の気圧計を使って高度を表示します。高度は気圧によって変動しますので、毎回ご使用の前にはGPS設定メニューの **[高度/水深補正]** を使って補正してください。手動補正をおすすめします。

Wi-Fi（無線LAN）機能を搭載 📖91

カメラ内蔵のWi-Fiを使うと、撮影した画像を自動的にスマートデバイスに転送したり、スマートデバイスのソフトウェアを使ってカメラを操作したりできます。

はじめに	
各部の名称と主な役割	
撮影と再生の基本ステップ	
いろいろな撮影	
いろいろな再生	
動画を撮影、再生する	
GPS を使う/地図を表示する	
Wi-Fi (無線LAN) を使う	
カメラに関する基本設定	
詳細編	
付録、索引	

はじめに

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX AW110をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
どうぞいます。

お使いになる前に、「安全上のご注意」(□vi)や「<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露、GPSについて」(□xii)、「Wi-Fi (無線LAN) 機能について」(□xix)、本製品の使用方法をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」(□14)をご覧ください。

カメラ各部の名称や主な役割については、「各部の名称と主な役割」(□1)をご覧ください。

● 本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
☒	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
□/📷/🔍	関連情報が記載されているページです。📷は「詳細編」、🔍は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- モニター画面に表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、モニター画面上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略する場合があります。
- 画面表示やカメラなどのイラストは、実際と異なる場合があります。

はじめにお読みください

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- ・ Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- ・ 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- ・ 他社製品や模倣品と組み合わせると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



ホログラムシール

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

●説明書について

- ・説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDFファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはおお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後に、**[GPS設定]** (□88) の **[位置情報記録機能]** を **[OFF]** にしてから、メモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、**[オープニング画面]** (□94) の **[撮影した画像]** も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

SDカードに保存したログデータの扱いは、SDカード内の他のデータと同じです。SDカードに未保存の取得済みデータは、**[ログ取得]** → **[全ログ取得終了]** → **[ログ消去]** で消去できます。

[Wi-Fi設定] (□96) はセットアップメニューの **[設定クリア]** で消去してください。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は以下のようになっています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告 (カメラについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと



すぐに修理依頼を

感電したり、破損部でケガをする原因となります。
電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

	電池を取る	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
	すぐに修理依頼を	
	禁止	通電中のカメラに長時間直接触れない 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
	使用禁止	引火、爆発のおそれのある場所では使わない プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
	発光禁止	車の運転者等にむけてフラッシュや動画照明を発光しないこと 事故の原因となります。
	発光禁止	フラッシュや動画照明を人の目に近づけて発光しないこと 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1m以上離れてください。
	保管注意	幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
	使用禁止	水中で使うときはストラップを取り外す 首に巻き付くと窒息の原因になります。
	保管注意	ストラップが首に巻きつかないようにすること 特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと 首に巻き付いて窒息の原因となります。
	警告	指定の電源(電池またはACアダプター)を使うこと 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
	使用禁止	ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
	禁止	通電中のACアダプターに長時間直接触れない 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

⚠ 注意 (カメラについて)



禁止

0°C以下の低温下でカメラに長時間直接触れない

金属部分などに触れていると、皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。

手袋などを着用ください。



保管注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない

ケガの原因になることがあります。



保管注意

使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。



移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶついたりしてケガの原因になることがあります。



使用注意

航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする

また、搭乗前にGPSの位置情報記録機能もOFFにする

全てのログの取得を終了する

病院では、病院の指示に従う

本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。

Eye-Fiカードは、あらかじめカメラから取り出してください。



禁止

運転者は走行中に操作をしない

交通事故の原因になることがあります。



電池を取る

長期間使用しないときは電源(電池またはACアダプター)を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。



プラグを抜く

ACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。



発光禁止

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因になることがあります。



直視しない

動画照明を直接見ない

視覚に悪影響を及ぼすことがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります。



禁止

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと
機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。



(3D画像について)



使用注意

本機器で撮影した3D画像をテレビまたはモニターなどで長時間続けて視ない
特に視覚の発達段階にある幼児は、事前に小児科や眼科などの医師の指示に従う

眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。症状が出たときは、3D画像の閲覧をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。



危険

(専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しない
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



使用禁止

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL12は、ニコンデジタルカメラ専用の充電電池でCOOLPIX AW110に対応しています。
EN-EL12に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



使用禁止

充電には専用の充電器を使う
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しない
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときは、端子カバーをつけてください。



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、
医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告

(専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

充電の際に、所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは充電をやめる
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

警告

(バッテリーチャージャーについて)



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。



すぐに修理依頼を

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



禁止

通電中のバッテリーチャージャーに長時間直接触れない
使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと
発火したり感電の原因となります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない
プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、
乾いた布で拭き取ること
そのまま使用すると、火災の原因になります。



使用禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



感電注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因となります。



禁止

海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)や DC/AC インバーターなどの電源に接続して使わないこと
発熱、故障、火災の原因となります。

**注意**

(バッテリーチャージャーについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



放置禁止

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露、GPSについて

- ・「取り扱い上のご注意」(※2)も、必ずお読みください。

耐衝撃性能について

MIL-STD 810F Method 516.5-Shock[※]に準拠した当社試験（高さ 202 cm から厚さ 5 cmの合板上へ落下）をパスしています。

すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象ではありません。

※ 米国防総省の試験方法の規格です。

高さ 122 cmから26方向（8角、12稜、6面）の落下試験を、5台のセットを使って、合計5台以内でパスする試験です（試験中に不具合が生じたときは、新たな5台のセットを使って、合計5台以内で試験します）。

- 本製品をぶつけたり、落としたりして、強い衝撃や振動や圧力を与えないでください。

浸水や故障の原因になります。

- ・本製品を水深 18 m より深いところに入れないでください。
- ・本製品に流水などで強い水圧をかけないでください
- ・本製品をスラックスなどのポケットに入れたまま座らないでください。バッグなどに無理に詰め込まないでください。

防水/防じん性能について

JIS保護等級 IP68 に相当し、水深 18 m で 60分まで撮影できます。[※]

すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

※ 当社の定める使用方法で、指定圧力の水中で指定時間使用できるという意味です。

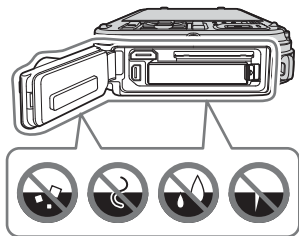
- 本製品をぶつけたり、落としたりして、強い衝撃や振動、圧力を与えた場合、防水性能を保証するものではありません。

- ・本製品に衝撃が加わったら、ご購入店かニコンサービス機関にご相談のうえ、防水性能の点検（有料）をおすすめします。

- 本製品を水深 18 m より深いところに入れないでください。
- 本製品に急流や滝などの強い水圧をかけないでください。
- お客さまの誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は、保証の対象外です。

<重要> 耐衝撃性能、防水 / 防じん、結露、GPS について

- 本製品の防水性能は、真水（プール、河川、湖など）と海水のみを対象としています。
- 本製品の内部は防水仕様ではありません。浸水すると故障します。
- 付属品は防水仕様ではありません。
- カメラの外側やバッテリー /SD カードカバーの内側に水滴などの液体が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取ってください。ぬれたメモリーカード、バッテリーをカメラに入れしないでください。水辺や水中で、ぬれた状態でカバーを開閉すると、浸水や故障の原因になります。ぬれた手でカバーを開閉すると、浸水や故障の原因になりますので、特にご注意ください。
- カメラの外側やバッテリー /SD カードカバーの内側（黄色の防水パッキン、蝶番（ちょうつがい）、SDカードスロット、端子など）に異物が付着したら、すぐにブロアーなどで取り除いてください。バッテリー /SD カードカバー内側の防水パッキンに異物が付着しているときは付属のブラシで取り除いてください。付属のブラシは防水パッキンの清掃以外には使用しないでください。
- 本製品に日焼けオイル、日焼け止め、温泉、入浴剤、洗剤、石けん、有機溶剤、油脂、アルコール類などが付着したら、ただちにふき取ってください。
- 本製品を寒冷地での低温下、または、40℃以上の高温下（特に、直射日光の当たる場所、車内、船上、砂浜、そして暖房装置の近くなど）に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。



水中で使用する前のご注意

陸上専用ストラップは、水中で使う前に取り外してください。

1. バッテリー /SDカードカバーの内側に異物が付着していないか確かめる

- ・ 砂、ほこり、毛髪などの異物の付着は、ブローアなどで取り除いてください。
- ・ 水滴など液体の付着は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。

2. バッテリー/SDカードカバーの防水パッキン(□1)にひび割れや変形がないか確かめる

- ・ 防水パッキンの防水性能は、1年以上経過すると劣化することがあります。劣化していると思われるときは、ご購入店かニコンサービス機関にご相談ください。

3. バッテリー /SDカードカバーを確実に閉じたか確かめる

- ・ 「カチッ」とロックがかかるまで、バッテリー /SD カードカバー開閉ダイヤルを回してください。ストラップの細いひもを挟み込まないようにご注意ください。
- ・ ダイアルの指標が、「閉じる」状態になっていることも確かめてください。

水中での使用について

浸水を防ぐために、以下にお気をつけください。

- ・ 本製品を持って水深 18 m よりも深く潜らないでください。
- ・ 水中で60分以上連続して使わないでください。
- ・ 水温 0℃から40℃の範囲内でお使いください。
- ・ 温泉では使用できません。
- ・ 水中でバッテリー /SDカードカバーを開閉しないでください。
- ・ 水中で本製品に衝撃を与えないでください。
本製品を持って水中に飛び込んだり、急流や滝などの激しい水圧をかけたりしないでください。
- ・ 本製品は水に浮きません。水中ではカメラを落下させないようにご注意ください。

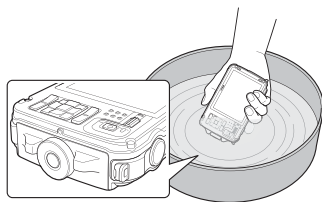
水中で使用後のクリーニング

- ・ 水中で使った後は、60分以上放置せずに、必ずお手入れをしてください。異物や塩分などを付着したまま放置すると、破損、変色、腐食、異臭または防水性能の劣化の原因になります。
- ・ お手入れの前に、手、身体や毛髪などに付着した水滴、砂、塩分などをよく取り除いてください。
- ・ お手入れは、水しぶきや砂がかかるおそれのある場所を避け、室内をおすすめします。
- ・ 水洗いで異物を取り除き、水分をふき取るまでは、バッテリー /SDカードカバーを開けないでください。

1. バッテリー /SDカードカバーを閉じたまま、真水で洗う

浅い容器に溜めた真水（水道水、井戸水のような塩分を含まない水）の中に、約10分間浸け置きしてください。

- ・ ボタンやスイッチ類が正常に動かないときは、異物付着の可能性があります。故障の原因になりますので、真水に浸けて軽く揺すり、異物を洗い流してください。



- ・ 水に浸けると、マイクやスピーカーなどの水抜き孔からわずかに気泡が出ることがありますが、故障ではありません。

2. 柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かす

- ・ 乾いた布などの上を立てて置いて、乾かしてください。マイクやスピーカーなどの隙間に入っていた水が流れ出てきます。
- ・ ドライヤーなどの熱風や乾燥機などで乾燥させないでください。
- ・ ベンジン、シンナー、アルコール、クレンザーなどの薬品、石けん、中性洗剤などを使わないでください。防水パッキンやボディーが変形すると、防水性能を失います。

3. 水滴などの付着がないことを確認してから、バッテリー /SDカードカバーを開け、内側に残った水滴や砂粒を柔らかい乾いた布でふき取る

- 十分に乾燥させないうちに、カバーを開けると、水滴がメモリーカードやバッテリーに付着することがあります。また、水滴がカバーの内側（防水パッキン、蝶番（ちょうつがい）、SDカードスロット、端子など）に付着することがあります。

柔らかい乾いた布で必ずふき取ってください。

- カバーを内側がぬれたままで閉じると、結露や故障の原因になります。
- マイクやスピーカーなどの孔を水滴がふさぐと、音が小さくなったり、歪んだりすることがあります。
 - 柔らかい乾いた布でふき取ってください。
 - マイクの孔やスピーカーの孔などを、尖ったもので突かないでください。カメラの内部を損傷すると、防水性能を失います。
- 「お手入れ方法 クリーニングについて」(p.7) もお読みください。

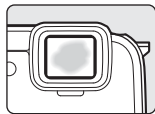
使用温度と湿度、結露について

このカメラは、 -10°C ~ $+40^{\circ}\text{C}$ での動作確認をしています。

寒冷地では、以下にご注意ください。

- バッテリーの性能（撮影可能コマ数、撮影可能時間）が一時的に低下します。カメラや予備バッテリーは、保温しながらお使いください。
- カメラが冷え切っていると、モニターが電源を ON にした直後は通常よりも少し暗かったり、残像が出たりするなど、性能が一時的に低下することがあります。
- カメラの外側に雪や水滴などが付着したら、すぐに取り除いてください。
 - ボタンやスイッチ類などが凍結すると、動きにくくなることがあります。
 - マイクやスピーカーなどの孔を水滴などがふさぐと、音が小さくなったり、歪んだりすることがあります。

- **レンズやモニターの内側が、温度や湿度などの使用環境によってくもる（結露する）ことがあります。本機の故障や不具合ではありません。**



●カメラの内側が結露しやすい環境について

以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズやモニターの内側がくもる（結露する）場合があります。

- 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
- 寒冷地から屋内などの温かい場所に持ち込む
- 湿度が高い環境で、バッテリー / SDカードカバーを開閉する

●くもりを取る方法

- 高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所で、電源を OFF にしてからバッテリー / SDカードカバーを開ける。
バッテリーとSDカードを取り出し、カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませると、くもりが取れます。
- くもりが取れない場合は、ご購入店かニコンサービス機関にご相談ください。

GPS機能について

●本製品の地図・地名情報データについて

GPS機能をお使いの前に、「地図・地名情報データ使用許諾契約書」(P.18)を必ずお読みになり、ご承諾ください。

- 地図や地名情報 (Point of Interest : POI) は、2012年4月現在のもので、地図や地名情報の更新はいたしません。
- 地形の詳細については、地図の縮尺に従い、省略表示をしています。地図の縮尺、地名情報の粗密は、国や地域で異なります。また、緯度が高くなるに伴い、画面上の縦横の縮尺は異なってくるため、地形の表示も実際と異なります。地図や地名情報は、あくまでも目安としてお使いください。
- 中華人民共和国 (以下「中国」) と大韓民国の詳細な地図データ、および地名情報 (POI) は、搭載していません。

●GPS機能とログ取得について

- GPS設定メニュー [GPS設定] の [位置情報記録機能] を [ON] にしているときやログ取得中は、カメラの電源をOFFにした後もGPS機能やログ取得機能が作動します (P.83)。
本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。航空機の離着陸時や病院などの使用禁止・制限区域では、必ず、ログ取得を終了し、[位置情報記録機能] を [OFF] にしてから、カメラの電源をOFFにしてください。
- 位置情報を記録した静止画や動画などから、個人を特定できることがあります。位置情報を記録した静止画、動画、GPSログファイルの、他人への譲渡やインターネットなど複数の人が閲覧できる環境への掲載にはご注意ください。
「●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意」(P.14) も必ずお読みください。

●計測機能について

本製品はカメラです。航法機器や計測機器として使わないでください。

- 本製品が計測する情報 (方位、高度、水深など) は、あくまでも目安です。航空機、車、人などの航法用途、および測量用途には使わないでください。
- 本製品を登山やトレッキング、水中などでお使いの際は、地図や航法機器、計測機器を必ず携帯してください。

●海外でお使いの場合

- GPS機能付きカメラを旅行などで外国に持ち込む前に、使用規制の有無を旅行代理店や大使館などで確かめください。
たとえば、中国では、政府の許可なしに位置情報ログの収集はできません。[位置情報記録機能] を [OFF] にしてご使用ください。
- 中国および中国の周辺国の国境付近では、GPSが正常に機能しない場合があります (2012年12月現在)。

Wi-Fi（無線LAN）機能について

●電波に係わるご注意

- 本製品のWi-Fiの無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。
ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。
ご購入された国がわからないときは、本書の裏表紙に記載のニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

●Wi-Fi（無線LAN）機能のご注意

2.4 DS4 / OF4

Wi-Fi（無線LAN）機能：2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯、変調方式はDSSS、OFDM、与干渉距離は約40 mです。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。
以下の行為は法令で罰せられることがあります。
 - 本製品の分解/改造
 - 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。
- 本製品で電波干渉を起こさないよう、下記にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiアクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書の裏表紙に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。

Wi-Fi（無線 LAN）機能について

- ・ 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

●本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- ・ 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- ・ Wi-Fi 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

●本製品の輸出、持ち出しに係るご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

●個人情報の管理および免責事項

- ・ 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線 LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。
必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。
当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本製品を譲渡 / 廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー（□94）の「設定クリアー」で消去してください。
- ・ 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。


目次

はじめに	ii
はじめにお読みください	ii
本書について	iii
ご確認ください	iv
安全上のご注意	vi
<重要> 耐衝撃性能、防水 / 防じん、結露、GPS について	xii
耐衝撃性能について	xii
防水 / 防じん性能について	xii
水中で使用する前のご注意	xiv
水中での使用について	xiv
水中で使用後のクリーニング	xv
使用温度と湿度、結露について	xvii
GPS 機能について	xviii
Wi-Fi (無線 LAN) 機能について	xix
各部の名称と主な役割	1
カメラ本体	1
操作部の主な役割	3
陸上専用ストラップの取り付け方	6
フィルターアダプターの用途と取り付け方	6
☑ (アクション) ボタンを使う (アクション操作)	7
メニューの基本操作	8
モニター画面の表示内容	10
撮影と再生の基本ステップ	14
準備 1 バッテリーを充電する	14
準備 2 バッテリーを入れる	16
準備 3 SD カードを入れる	18
内蔵メモリーと SD カードについて	19
推奨 SD カード	19
ステップ 1 電源を ON にする	20
電源の ON/OFF について	21
表示言語と日時を設定する	22
ステップ 2 撮影モードを選ぶ	24
撮影モードの種類	25
ステップ 3 カメラを構え、構図を決める	26
ズームを使う	27
ステップ 4 ピントを合わせ、シャッターをきる	28
ステップ 5 画像を再生する	30
ステップ 6 不要な画像を削除する	31

いろいろな撮影.....	33
📷 (らくらくオート撮影) モード.....	33
シーンモード (シーンに合わせて撮影する).....	34
各シーンの説明を見る (ヘルプ表示).....	34
シーンモードの種類と特徴.....	35
スペシャルエフェクトモード (効果を付けて撮影する).....	44
ベストフェイスモード (笑顔を撮影する).....	45
美肌機能について.....	46
📷 (オート撮影) モード.....	47
クイックエフェクトを使う.....	48
マルチセレクターで設定できる機能.....	49
設定できる機能の種類.....	49
フラッシュを使う (フラッシュモード).....	50
セルフタイマーを使う.....	52
マクロ (接写) モードを使う.....	53
明るさを調整する (露出補正).....	54
初期設定一覧.....	55
MENU (メニュー) ボタンで設定できる機能 (撮影モード).....	57
撮影メニューの種類 (📷 (オート撮影) モード).....	58
ベストフェイスメニューの種類.....	59
組み合わせて使えない機能.....	60
ピント合わせについて.....	62
顔認識撮影について.....	62
フォーカスロック撮影.....	63
オートフォーカスが苦手な被写体.....	64
いろいろな再生.....	65
拡大表示する.....	65
一覧表示する (サムネイル / カレンダー).....	66
再生する画像を絞り込む.....	67
再生モードの種類.....	67
再生モードの切り換え方法.....	67
MENU (メニュー) ボタンで設定できる機能 (再生モード).....	68
再生メニューの種類.....	69
画像選択画面の使い方.....	71
テレビ、パソコン、プリンターとの接続.....	72
ViewNX 2 を使う.....	73
ViewNX 2 をインストールする.....	73
パソコンに画像を取り込む.....	75
画像を見る.....	76

動画を撮影、再生する	77
動画を撮影する	77
MENU (メニュー) ボタンで設定できる機能 (動画メニュー)	80
動画メニューの種類	80
動画を再生する	81
GPS を使う / 地図を表示する	82
GPS の位置情報記録を開始する	82
地図を表示する	85
撮影モード時	85
再生モード時	86
高度計 / 水深計を使う	87
MENU (メニュー) ボタンで設定できる機能 (GPS 設定メニュー)	88
GPS 設定メニューの種類	88
Wi-Fi (無線 LAN) を使う	91
Wi-Fi 機能でできること	91
スマートデバイスにソフトウェアをインストールする	91
カメラとスマートデバイスを接続する	92
カメラに関する基本設定	94
セットアップメニュー	94

■ 詳細編..... 001

かんたんパノラマの使い方 (撮影と再生)	002
かんたんパノラマの撮影方法.....	002
かんたんパノラマの再生方法 (スクロール再生).....	004
お気に入り再生モード.....	005
お気に入りフォルダーに画像を登録する	005
お気に入りフォルダーの画像を再生する	006
お気に入りフォルダーの画像登録を解除する.....	006
お気に入りフォルダーのアイコンを変更する.....	007
オート分類再生モード.....	008
撮影日一覧モード.....	010
連写グループの再生.....	011
画像の編集 (静止画).....	013
画像編集の種類.....	013
クイックエフェクト (効果を付ける).....	015
簡単レタッチ (コントラストと鮮やかさを高める).....	016
D- ライティング (画像の暗い部分を明るく補正する).....	016
メイクアップ効果 (肌をなめらかに、顔を小さく目を大きく見せる).....	017
情報合成画像 (高度や電子コンパスなどの情報を画像に写し込む)	018
スモールピクチャー (画像サイズを小さくする).....	018
トリミング (画像の一部を切り抜く).....	019
テレビとの接続 (テレビ画面での再生).....	020
プリンターとの接続 (ダイレクトプリント).....	022
カメラとプリンターを接続する	022
1コマずつプリントする.....	023
複数の画像をプリントする.....	024
動画の編集.....	027
動画の必要な部分だけを切り出す	027
撮影メニュー ( (オート撮影) モード).....	029
画像モード (画像サイズ/画質).....	029
ホワイトバランス (色合いの調整).....	031
連写.....	033
ISO 感度設定	036
AF エリア選択.....	037
AF モード (オートフォーカスモード).....	040
クイックエフェクト.....	041

ベストフェイスメニュー.....	0042
画像モード（画像サイズ/画質）.....	0042
美肌効果.....	0042
笑顔自動シャッター.....	0042
目つぶり軽減.....	0043
動画メニュー.....	0044
動画設定.....	0044
HS 動画で記録開始.....	0048
AF モード.....	0048
動画照明.....	0049
風切り音低減.....	0049
再生メニュー.....	0050
プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）.....	0050
スライドショー.....	0053
プロテクト設定.....	0054
画像回転.....	0054
音声メモ.....	0055
画像コピー（内蔵メモリーと SD カード間のコピー）.....	0056
連写グループ表示方法.....	0057
連写の代表画像選択.....	0057
GPS 設定メニュー.....	0058
GPS 設定.....	0058
距離単位.....	0059
距離計算.....	0060
POI 設定（地名情報を記録、表示する）.....	0061
ログ取得（移動情報のログを記録する）.....	0062
ログデータ表示.....	0064
日時合わせ.....	0065
電子コンパス設定.....	0066
高度/水深設定.....	0067
セットアップメニュー.....	0068
オープニング画面.....	0068
地域と日時.....	0069
モニター設定.....	0071
デート写し込み（日付を画像に入れる）.....	0073
手ブレ補正.....	0074
モーション検知.....	0075
AF 補助光.....	0076
電子ズーム.....	0076
操作音.....	0077
アクション操作の感度.....	0077
アクション画像送り.....	0078
オートパワーオフ.....	0078
メモリー/カードの初期化（フォーマット）.....	0079

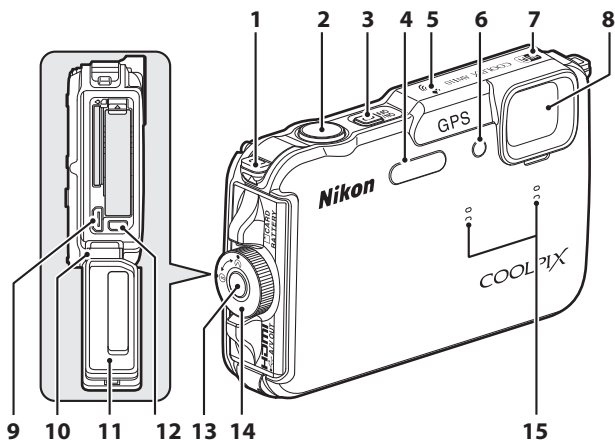
言語 /Language	079
TV 出力設定	80
目つぶり検出設定	81
Wi-Fi 設定	82
Eye-Fi 送信機能	84
設定クリアー	85
バージョン情報	88
警告メッセージ	89
記録データのファイル名とフォルダー名	94
別売アクセサリ	96

■ 付録、索引 1

取り扱い上のご注意	2
カメラについて	2
バッテリーについて	4
バッテリーチャージャーについて	5
メモリーカードについて	6
お手入れ方法	7
クリーニングについて	7
保管について	8
故障かな?と思ったら	9
地図・地名情報データ使用許諾契約書	18
主な仕様	23
このカメラの準拠規格	27
索引	30
アフターサービスについて	35

各部の名称と主な役割

カメラ本体



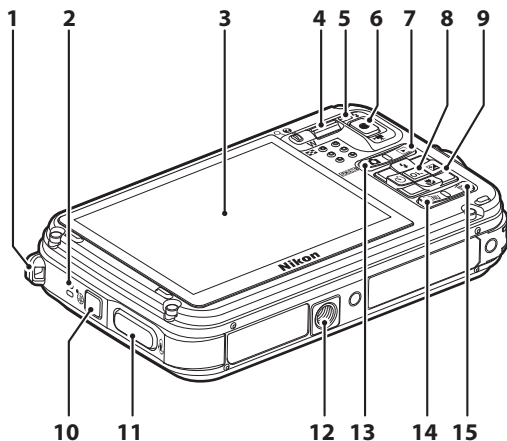
各部の名称と主な役割

1	ストラップ取り付け部	6
2	シャッターボタン	3、28
3	電源スイッチ/電源ランプ	21
4	フラッシュ	50
5	GPSアンテナ	82
	セルフタイマーランプ	52
6	AF補助光	95
	動画照明	80
7	Wi-Fi (無線LAN) アンテナ	91
8	レンズ	

9	HDMIマイクロ端子 (Type D)	72
10	蝶番 (ちょうつがい)	xiii
11	防水パッキン	xiii
12	USB/オーディオビデオ出力端子	72
13	バッテリー/SDカードカバーロック解除ボタン	16、18
14	バッテリー/SDカードカバー開閉ダイヤル	16、18
15	マイク (ステレオ)	69、77

カメラ本体

各部の名称と主な役割









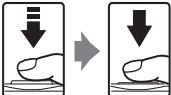




1	ストラップ取り付け部.....6	7	▶ (再生) ボタン.....3、4、30
2	スピーカー.....69、81、95	8	OK (決定) ボタン.....3、4
3	有機ELモニター (モニター) ※10、24	9	マルチセレクター.....3、4
4	ズームレバー.....27	10	🗺️ (地図) ボタン.....85
	W : 広角ズーム.....27	11	👉 (アクション) ボタン.....7
	T : 望遠ズーム.....27	12	三脚ネジ穴
	📄 : サムネイル表示.....66	13	📷 (撮影モード) ボタン.....24
	Q : 拡大.....65	14	MENU (メニュー) ボタン8、57、68、80、88
?	ヘルプ.....34	15	🗑️ (削除) ボタン.....31、81
5	フラッシュランプ.....50		
6	● (📹 動画撮影) ボタン.....77		




※ 本書では「モニター」と表記することがあります。

操作部の主な役割

撮影時





操作部	主な機能	
 (撮影モード) ボタン	撮影モードを切り換える（撮影モードを選ぶ画面を表示）	24
 ズームレバー	T (Q) (望遠) 方向で被写体を大きく、 W (∞) (広角) 方向で広い範囲を写す	27
 マルチセレクター	<ul style="list-style-type: none"> 撮影画面の表示中：上 (▲) で  (フラッシュモード)、左 (◀) で  (セルフタイマー)、下 (▼) で  (マクロモード)、右 (▶) で  (露出補正) の設定画面を表示する 設定画面の表示中：▲、▼、◀、▶ で項目を選ぶ、OK ボタンで選択を決定する 	49 8
 MENU (メニュー) ボタン	メニューを表示/終了する	8
 シャッターボタン	半押し：少し抵抗を感じるところまで押し、ピントと露出を固定する 全押し：深く押し込み、シャッターをきる	28
 ● (▶ 動画撮影) ボタン	動画撮影を開始/終了する	77
 再生ボタン	画像を再生する	30








カメラ本体

操作部	主な機能	
 削除ボタン	最後に保存した画像を1コマ削除する	31
 📍 (地図) ボタン	現在地を地図に表示する	85
 📷 (アクション) ボタン	カメラを振って操作する	7

各部の名称と主な役割

再生時

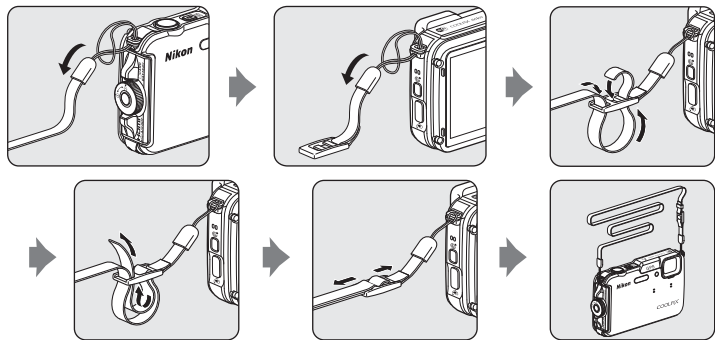
操作部	主な機能	
 再生ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 電源 OFF 時に長押しして、再生モードで電源を ON にする 再生モードを切り換える (再生モードを選ぶ画面を表示) 	21 67
 ズームレバー	<ul style="list-style-type: none"> T (📏) 方向で拡大表示、W (📐) 方向でサムネイル / カレンダー表示する 音声メモ、動画再生の音量を調節する 	65、66 69、81
 マルチセレクター	<ul style="list-style-type: none"> 再生画面の表示中：上 (▲)、左 (◀)、下 (▼)、右 (▶) で表示画像を切り換える 設定画面の表示中：▲、▼、◀、▶ で項目を選ぶ 拡大表示中：表示位置を移動する 	30 8 65
 決定ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 連写グループの画像を 1 コマずつ表示する かんたんパノラマで撮影した画像をスクロール再生する 動画を再生する クイックエフェクトで画像に効果を付ける サムネイル表示 / 拡大表示から 1 コマ表示に戻る 設定画面の表示中に、選択を決定する 	30 40 81 48 65、66 8

操作部	主な機能	📖
 MENU (メニュー) ボタン	メニューを表示/終了する	8
 削除ボタン	画像を削除する	31
 📷 (撮影モード) ボタン	撮影に戻る	—
 シャッターボタン		
 ● (🎥 動画撮影) ボタン		
 🌐 (地図) ボタン	画像の撮影場所を地図に表示する	86
 🌀 (アクション) ボタン	カメラを振って操作する	7

各部の名称と主な役割

陸上専用ストラップの取り付け方

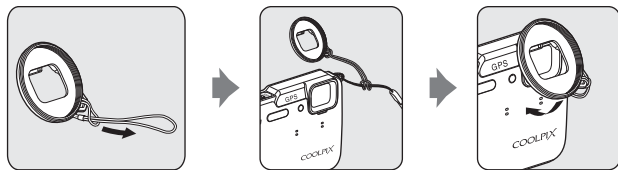
陸上専用ストラップは、水中で使う前に取り外してください。



フィルターアダプターの用途と取り付け方

付属のフィルターアダプター UR-E25を使うと、市販のφ40.5 mmフィルターを取り付けられます。カラーフィルターや偏光フィルターを使いたいときなどにフィルターアダプターを取り付けます。

フィルターアダプターはストラップにひもで取り付けられます。

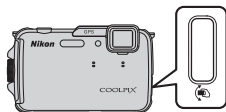


✓ フィルターアダプター使用時のご注意

フィルターアダプターを取り付けると、AF補助光/動画照明 (□1) が遮られます。フィルターアダプターを使うときは、AF補助光 (□95) および動画照明 (□80) を [OFF] にしてください。

👉 (アクション) ボタンを使う (アクション操作)

👉 (アクション) ボタンを押すと、カメラを振って操作することができます。



図のように手首を使って、カメラを上下方向、または前後方向に一振りして操作します。



アクションメニューでは、カメラを上下方向または前後方向に振って、以下の項目を選べます。

👉 (アクション) ボタンを押すと決定します。

- 撮影モード選択：[らくらくオート撮影]、[オート撮影]、[ビーチ]、[雪]、[風景]、[水中] のモードを選べます。
- [動画撮影開始]：👉 (アクション) ボタンを押すと撮影が始まります。もう一度押すと終了します。
- [クイック再生]：画像を1コマ表示します。
- [現在地]：現在地を地図上に表示します (GPS設定メニュー (□88) [GPS設定] の [位置情報記録機能] が [ON] で、位置情報が取得できているときのみ)。

セットアップメニュー (□94) の [アクション画像送り] が [ON] の場合、再生モードの1コマ再生時にカメラを上下方向に振ると次の画像を、前後方向に振ると前の画像を表示します。

✔️ アクション操作についてのご注意

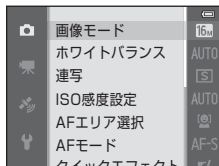
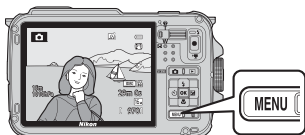
- アクション操作するときは、必ずストラップに手を通して、カメラをしっかりと持ってください。
- アクション操作中は、👉 (アクション) ボタン、シャッターボタンおよび電源ボタンのみ使用できます。
- カメラの振り方によっては、うまく操作できない場合があります。アクション操作の感度を変更してみてください (□95)。

メニューの基本操作

メニュー画面では、撮影や再生、カメラに関する各種設定を変更できます。

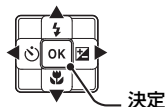
1 MENU ボタンを押す

- 撮影や再生など、カメラの状態に応じたメニューが表示されます。



2 マルチセレクターでメニュー項目を選ぶ

- ▲▼：上下の項目を選びます。
- ◀▶：左右の項目を選ぶ、またはメニューの階層を移動します。
- OK：項目を決定します。▶を押しても決定できます。
- メニュー切り換えアイコンを切り換えるには → []



3 設定が終わったら、MENUボタンまたはシャッターボタンを押す

- シャッターボタンを押すと、撮影画面になります。

メニュー切り換えアイコンを切り換える

セットアップメニュー（□94）など別のメニューを表示するときは、マルチセレクターでメニューアイコンを切り換えます。

メニュー切り換えアイコン

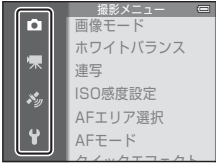
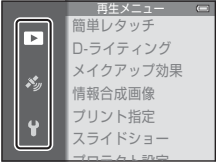


◀を押してメニュー切り換えアイコンへ移動

▲▼を押してメニューアイコンを選び、Ⓚボタンまたは▶を押して決定

各部の名称と主な役割

メニューアイコンの種類

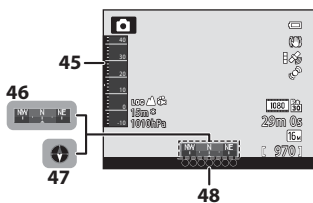
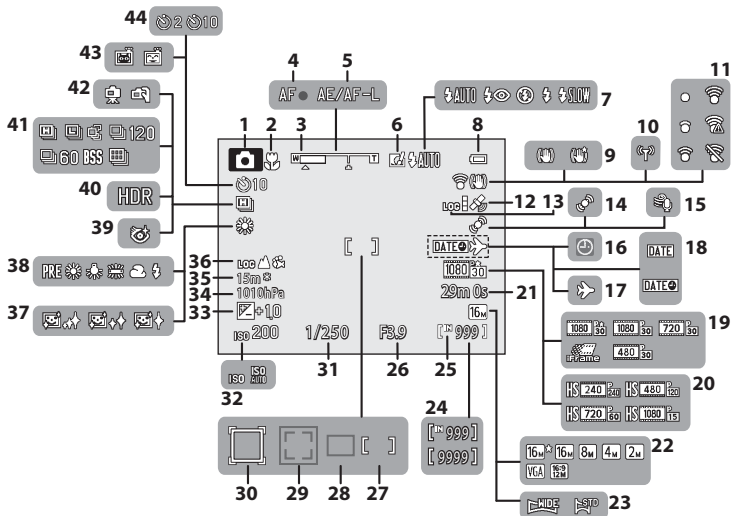
撮影時	再生時
	
<p>📷メニューアイコン： 使用中の撮影モード（□25）で使える項目を表示します。メニューアイコンは、撮影モードによって異なります。</p> <p>🎥メニューアイコン： 動画撮影専用の項目を表示します。</p> <p>📍メニューアイコン： GPS設定メニュー（□88）の項目を表示します。</p> <p>🔑メニューアイコン： セットアップメニュー（カメラに関する基本設定）の項目を表示します。</p>	<p>▶メニューアイコン： 再生モードで使える項目を表示します。</p>

モニター画面の表示内容

撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[モニター設定]（P94）→ [モニター表示設定] → [情報オート] 時）。

撮影時

各部の名称と主な役割

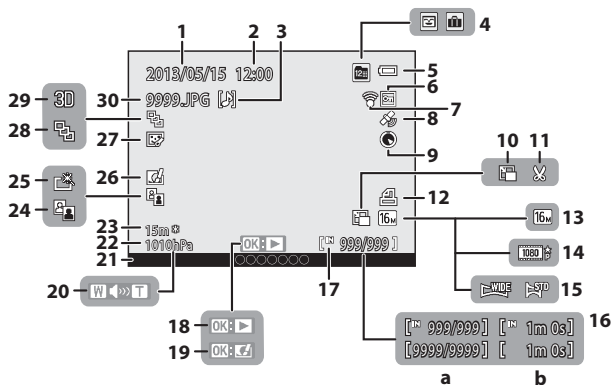


1	撮影モード	24、25
2	マクロモード	53
3	ズーム表示	27、53
4	AF表示	28
5	AE/AF-L表示	42
6	クイックエフェクト	48
7	フラッシュモード	50
8	バッテリー残量表示	20
9	手ブレ補正表示	95
10	Wi-Fi通信表示	96
11	Eye-Fi通信表示	96、  84
12	GPS受信状態	84
13	ログ取得表示 (GPS)	89
14	モーション検知表示	95
15	風切り音低減	80
16	日時未設定	23、94
17	訪問先	94
18	デート写し込み	94
19	動画設定 (通常速度の動画)	80
20	動画設定 (HS動画)	80
21	記録可能時間 (動画)	77、  46
22	画像モード	58、59
23	かんたんパノラマ	40
24	記録可能コマ数 (静止画)	20、  30
25	内蔵メモリー表示	20

26	絞り値	29
27	AFエリア (マニュアル、中央時)	29、58
28	AFエリア (オート時)	58
29	AFエリア (顔認識時、ペット検出時)	41、58、62
30	AFエリア (ターゲット追尾時)	58
31	シャッタースピード	29
32	ISO感度表示	58
33	露出補正值	54
34	気圧表示	87
35	高度表示/水深表示	87
36	ログ取得表示 (高度/水深)	89
37	美肌効果	59
38	ホワイトバランス	58
39	目つぶり軽減	59
40	逆光 (HDR)	39
41	連写モード	58
42	手持ち撮影/三脚撮影	36、37
43	笑顔自動シャッター	59
	ペット自動シャッター	41
44	セルフタイマー	52
45	高度計/水深計	87
46	コンパス表示 (方位ゲージ)	90
47	コンパス表示 (方位磁石)	90
48	地名情報 (POI情報)	89

再生時

各部の名称と主な役割



1	撮影日	22
2	撮影時刻	22
3	音声メモ表示	69
4	お気に入りフォルダー表示	67
4	オート分類項目表示	67
4	撮影日一覧表示	67
5	バッテリー残量表示	20
6	プロテクト表示	69
7	Eye-Fi通信表示	96、84
8	GPS情報記録済み表示	84
9	コンパス表示 (方位磁石)	90
10	スモールピクチャー	69、18
11	トリミング	65、19
12	プリント指定表示	69
13	画像モード	58、59
14	動画設定	80
15	かんたんパノラマ表示	40
16	(a) 画像の番号/全画像数	30
16	(b) 動画の再生時間	81

17	内蔵メモリー表示	30
18	かんたんパノラマ再生ガイド	4
18	連写グループ再生ガイド	11
18	動画再生ガイド	81
19	クイックエフェクト	30
20	音量表示	69、81
21	地名情報 (POI情報)	89
22	気圧表示	87
23	高度表示/水深表示	87
24	D-ライティング済み表示	69
25	簡単レタッチ済み表示	69
26	クイックエフェクト済み表示	48
27	メイクアップ効果	69
28	連写グループ表示 ([1枚ずつ] 設定時)	69
29	3D画像表示	42
30	ファイル名	94



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice. There are 18 lines in total, starting from the top right and extending to the bottom left.

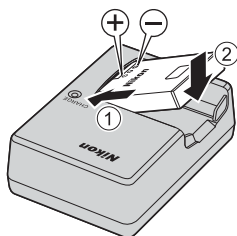
撮影と再生の基本ステップ

準備1 バッテリーを充電する

- 1 付属のバッテリーチャージャー MH-65P を用意する

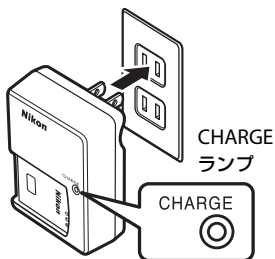


- 2 付属のバッテリー (Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12) を奥に押し込みながら (①)、バッテリーチャージャーにセットする (②)



- 3 バッテリーチャージャーをコンセントに差し込む

- CHARGEランプが点滅し、充電が始まります。
- 残量がないバッテリーの場合、充電時間は約2時間30分です。
- 充電が完了すると、CHARGEランプが点灯します。
- CHARGEランプについて→□15



- 4 充電が完了したら、バッテリーを取り外し、バッテリーチャージャーをコンセントから抜く

CHARGEランプについて

状態	意味
点滅	充電中です。
点灯	充電が完了しました。
速い点滅	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーのセットミスです。バッテリーチャージャーをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、バッテリーチャージャーに寝かせるようにセットし直してください。 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。 バッテリーの異常です。ただちにバッテリーチャージャーをコンセントから抜いて充電を中止してください。バッテリーおよびバッテリーチャージャーは、ご購入店またはニコンサービス機関にお持ちください。

✔ バッテリーチャージャーについてのご注意

- バッテリーチャージャーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」(☒x)、「注意」(☒xi)の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意 バッテリーチャージャーについて」(☒5)をよくお読みの上、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

✔ バッテリーについてのご注意

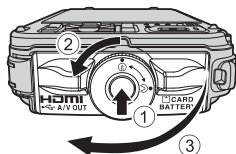
- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「危険」(☒ix)、「警告」(☒x)の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意 バッテリーについて」(☒4)をよくお読みの上、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

✍ AC電源について

- 別売のACアダプター EH-62F (☒96)を使うと、家庭用コンセント (AC 100V) からこのカメラへ電源を供給して撮影または再生ができます。
- EH-62F以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

準備2 バッテリーを入れる

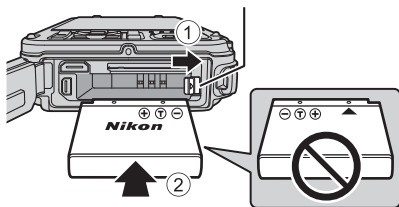
- 1 バッテリー /SD カードカバーロック解除ボタンを押し込み (①)、バッテリー /SD カードカバー開閉ダイヤルを回して (②)、カバーを開ける (③)



- 2 バッテリーを入れる

- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押しながら (①)、奥まで差し込みます (②)。
- 正しく入れると、バッテリーロックレバーでバッテリーが固定されます。

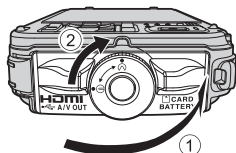
バッテリーロックレバー



✓ 逆挿入に注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

- 3 バッテリー /SD カードカバーを本体に押しあてながら (①)、バッテリー /SDカードカバー開閉ダイヤルを、ロックがかかるまで回す (②)



- カチッと音がするまで回してください。

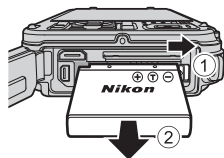
✓ ストラップひもの挟み込みに注意

バッテリー /SDカードカバーを閉めるときに、ストラップやフィルターアダプターのひもを挟み込むとバッテリー /SDカードカバーを破損するおそれがあります。ひもを挟み込んでいないか、必ず確認してからバッテリー /SDカードカバーを閉めてください。

バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにして (□21)、電源ランプとモニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。

オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押しすと (①)、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます (②)。



☑ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

☑ バッテリー/SDカードカバーの開閉に注意

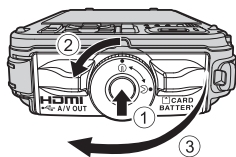
砂、ほこりなどの多い場所や、ぬれた手でバッテリー/SDカードカバーの開閉をしないでください。異物を取り除かずにカバーを閉めると、浸水や故障の原因になりますので、特にご注意ください。

- カバーやカメラの内側に異物が付着したら、すぐにプロアーやブラシなどで取り除いてください。
- カバーやカメラの内側に水滴などの液体が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取ってください。

準備3 SDカードを入れる

1 電源ランプとモニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開ける

- ・カバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。



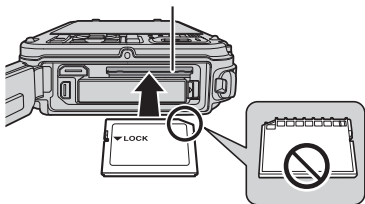
2 SDカードを入れる

- ・カチッと音がするまで差し込みます。

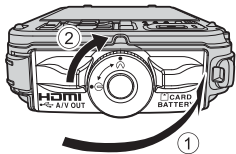
☑ 逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

SDカードスロット



3 バッテリー/SDカードカバーを閉じる



☑ ストラップひもの挟み込みに注意

バッテリー/SDカードカバーを閉めるときに、ストラップやフィルターアダプターのひもを挟み込むとバッテリー/SDカードカバーを破損するおそれがあります。ひもを挟み込んでいないか、必ず確認してからバッテリー/SDカードカバーを閉めてください。

☑ SDカードの初期化について

- ・他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。
- ・SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
- ・SDカードを初期化するには、カードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニュー（□94）の[カードの初期化]を選びます。

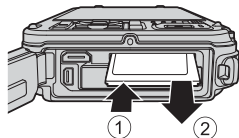
☑ SDカードについてのご注意

SDカードの使用説明書や「取り扱い上のご注意 メモリーカードについて」（p.6）をご覧ください。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプとモニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けます。

SDカードを指で軽く奥に押し込むと(①)、SDカードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます(②)。



☑ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラやバッテリー、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約21 MB）またはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使って記録や再生をするときはSDカードを取り出してください。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SD メモリーカード	SDHC メモリーカード※2	SDXC メモリーカード※3
SanDisk	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB、128 GB
TOSHIBA	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB
Lexar	—	4 GB、8 GB、16 GB、 32 GB	64 GB、128 GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。



- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

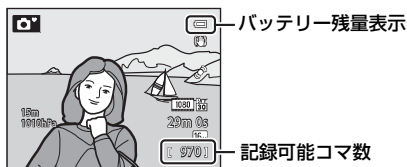
ステップ1 電源をONにする

1 電源スイッチを押して電源を ON にする

- はじめて電源をONにしたときは
→ 「表示言語と日時を設定する」
(□□22)
- モニターが点灯します。



2 バッテリー残量表示と記録可能コマ数を確認する



バッテリー残量表示

表示	意味
	バッテリー残量はあります。
	バッテリー残量が少なくなりました。バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
 電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。



- SD カードをカメラに入れていないときは、 が表示され、画像を内蔵メモリー（約21 MB）に記録します。
- 記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量と画質/画像サイズ（画像モード）によって異なります（□□58）。
- イラスト上の記録可能コマ数の数値は、実際とは異なります。

電源のON/OFFについて

- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、モニターが点灯します（モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。
- 電源をOFFにするには、電源スイッチを押します。モニターも、電源ランプも消灯します。
- 再生モードで電源をONにするには、▶（再生）ボタンを長押しします。
- GPS設定メニュー [GPS設定] の [位置情報記録機能] が [ON] 時やログ取得時は、カメラの電源をOFFにした後も、GPS機能やログ取得機能が作動します (□83)。

節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が続くと、モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。

- 待機中にモニターを再点灯するには、以下のボタンのいずれかを押します。
 - 電源スイッチ、シャッターボタン、（撮影モード）ボタン、▶（再生）ボタン、または●（ 動画撮影）ボタン
- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー (□94) の [オートパワーオフ] で変更できます。
- 初期設定では、撮影時または再生時は、約1分で待機状態になります。
- ACアダプター EH-62F（別売）使用時は、30分（固定）で待機状態になります。

バッテリーの消耗について

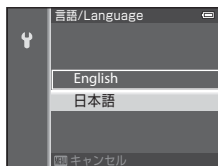
ログ取得中 (□89) やWi-Fi接続中 (□91) は、バッテリーを通常より消耗します。

ステップ1 電源をONにする

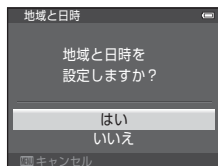
表示言語と日時を設定する

ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

- 1 マルチセレクターの▲または▼で表示言語を選び、OKボタンを押す

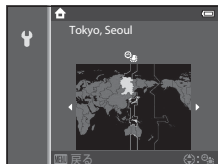


- 2 ▲または▼で [はい] を選び、OKボタンを押す



- 3 ◀または▶で自宅のある地域 (タイムゾーン) を選び、OKボタンを押す

- ・夏時間 (サマータイム) を実施している地域では、▲を押して夏時間の設定をオンにします。☀マークが表示されます。オフにするには、▼を押します。



- 4 ▲または▼で日付の表示順を選び、OKボタンまたは▶を押す



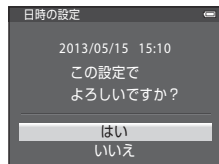
5 ▲、▼、◀または▶で日時を合わせ、OK ボタンを押す

- 項目を選ぶ：▶または◀を押します（[年]、[月]、[日]、[時]、[分]、に切り換わります）。
- 項目の内容を合わせる：▲または▼を押します。
- 設定を確認する：[分] を選び、OK ボタンまたは▶を押します。



6 ▲または▼で [はい] を選び、OK ボタンを押す

- 設定が完了すると、撮影画面になります。



✎ 時計用電池について

- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。バックアップ用電池は、カメラにバッテリーを入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「表示言語と日時を設定する」手順2（□22）

✎ 言語や日時の設定をやり直すには

- Yセットアップメニュー（□94）で [言語/Language] または [地域と日時] を設定します。
- Yセットアップメニュー→ [地域と日時] → [タイムゾーン] で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。
- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面で☉が点滅します。セットアップメニューの [地域と日時] で日時を設定してください。

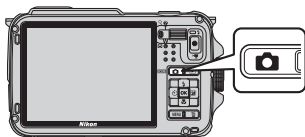
✎ 撮影日入りの画像をプリントするには

- 撮影前に、カメラの日時を正しく設定してください。
- セットアップメニューで [デート写し込み] を設定すると、撮影時に、画像に日付を入れられます。
- [デート写し込み] を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」（□73）を使うと、日付を入れてプリントできます。

ステップ2 撮影モードを選ぶ

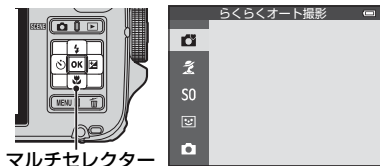
1 カメラボタンを押す

- ・ 撮影モードを選ぶ画面（撮影モードメニュー）が表示されます。



2 マルチセレクターの▲または▼で撮影モードを選ぶ

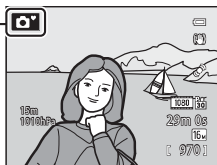
- ・ ここでは、📷らくらくオート撮影モードを例に説明します。📷 [らくらくオート撮影] を選んでください。



3 OKボタンを押す





- ・ 📷 (らくらくオート撮影) モードの撮影画面になります。撮影モードアイコンは、被写体や構図に合わせて📷、📷、📷、📷、📷、📷、📷、または📷に変わります。

撮影モードアイコン



- ・ モニター画面の表示内容について → 10
- ・ 選んだ撮影モードは電源をOFFにしても記憶されます。


撮影モードの種類

項目	内容	📖
 らくらくオート撮影	構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動で選ぶので、簡単にシーンに適した撮影ができます。	33
 シーン	撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影できます。 ・シーンを選ぶには、撮影モードメニューで、マルチセレクターの▶を押し、▲▼◀▶でシーンを選んでOKボタンを押します。	34
S0 スペシャルエフェクト	画像に効果を付けて撮影できます。 ・効果を選ぶには、撮影モードメニューで、マルチセレクターの▶を押し、▲▼◀▶で効果を選んでOKボタンを押します。	44
 ベストフェイス	カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます(笑顔自動シャッター)。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。	45
 オート撮影	基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて撮影メニュー(📖58)の項目を設定できます。	47

 撮影時の設定を変えるには

- ・マルチセレクターで設定できる機能 → 📖49
- ・MENU(メニュー)ボタンで設定できる機能
 - 撮影メニュー → 📖57
 - セットアップメニュー → 📖94

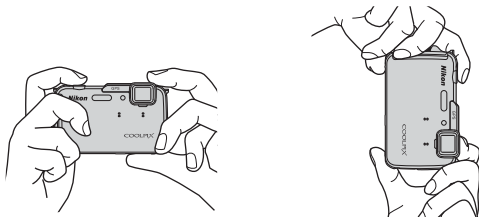
 アクション操作について

 (アクション) ボタンを押すと、アクション操作(📖7)で、撮影モードの切り換えができます。

ステップ3 カメラを構え、構図を決める

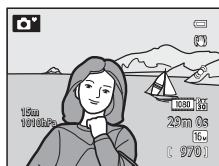
1 カメラをしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、AF補助光、マイクなどに指や髪、ストラップなどがつかないようにご注意ください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にしてください。



2 構図を決める

- 写したいもの（被写体）にカメラを向けます。
- カメラが撮影シーンを自動判別すると、撮影モードアイコンが切り換わります（□□24）。



☑️ 📷（らくらくオート撮影）モードのご注意

- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください。
- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は📷になります。

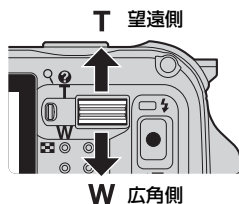
📎 三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 - 暗い場所で撮影するとき、フラッシュモード（□□50）を🔇（発光禁止）にして撮影するとき、またはフラッシュが発光しない撮影モードのとき
 - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□□94）の[手ブレ補正]を[OFF]にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを操作すると、光学ズームが作動します。

- ・被写体を大きく写す：**T**（望遠）方向に操作する。
- ・広い範囲を写す：**W**（広角）方向に操作する。



- ・ズームレバーを操作するとモニター画面の上部にズームの量が表示されます。
- ・光学ズームの最大倍率でズームレバーを **T** 方向に操作すると、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。



電子ズームと画質の劣化について

- ・電子ズーム使用時は、ズームの量がズーム表示の凸マークを超えると、画質の劣化が始まります。
凸マークの位置は撮影する画像サイズ（[□58](#)）が小さいほど右に移動します。

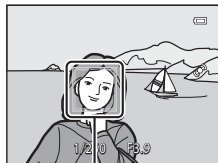
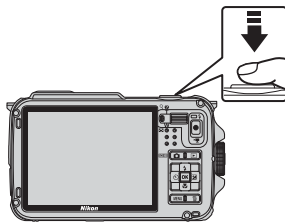


- ・セットアップメニュー（[□94](#)）の「**電子ズーム**」で、電子ズームが作動しない設定にできます。

ステップ4 ピントを合わせ、シャッターをきる

1 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

- ・シャッターボタンを指先に少し抵抗を感じるところまで押し、そのまま止める操作を「半押し」と呼びます。
- ・ピントが合うと、「AFエリア」または「AF表示」(□□10) が緑色に点灯します。赤色に点滅したときは、ピントが合っていません。半押しをやり直してください。
- ・「ピントと露出について」→ □□29



AFエリア

2 シャッターボタンを全押しして、シャッターをきる

- ・シャッターボタンを深く押し込む操作を「全押し」と呼びます。



✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。バッテリー/SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

📎 AF補助光とフラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押ししたときにAF補助光(□□95)が点灯することや、全押ししたときにフラッシュ(□□50)が発光することがあります。

📎 シャッターチャンスを優先する撮影では

シャッターチャンスが重要な撮影では、半押しせずに、全押ししてもシャッターをきりません。

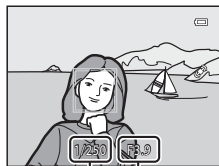
📎 クイックエフェクト機能について

📷 (オート撮影) モードでは、シャッターをきったすぐ後に、撮影した画像に効果を付けられます(□□48)。

ピントと露出について

シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出（シャッタースピードと絞り値の組み合わせ）が決まります。半押ししている間は、ピントと露出が固定されます。

- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示が緑色に点灯します。
- 被写体によってはピント合わせができないことがあります。
→「オートフォーカスが苦手な被写体」(□64)
- 📷（らくらくオート撮影）モードのときは、自動判別した撮影シーンによってピントを合わせるエリアが変わります。
 - 顔認識した場合：
二重枠のAF エリアで囲まれた顔にピントが合います。ピントが合うと二重枠が緑色になります。




シャッター スピード 絞り値

- 顔認識していない場合：
9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。
撮影モードアイコンが📷や📷以外の撮影シーンに判別されたときは、画面中央でピントが合います(□10)。



- シーンモード時のAFエリアは、選んだシーンによって異なります(□35)。
- スペシャルエフェクトモードのときは、画面中央でピントが合います。
- ベストフェイスモードのときは、二重枠のAF エリアで囲まれた顔にピントが合います。
- オート撮影モードのときは、ピント合わせをするAFエリアを、撮影メニューの「AFエリア選択」(□58)で設定できます。

 [関連ページ](#)

ピント合わせについて → □62

ステップ5 画像を再生する

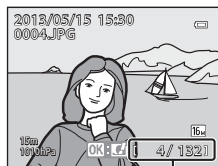
1 再生ボタンを押す

- 再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を1コマ表示します。



2 マルチセレクターで前後の画像を表示する

- 前の画像を表示する：▲または◀
- 次の画像を表示する：▼または▶
- 内蔵メモリーに保存した画像を再生するときは、SDカードを取り出します。「画像の番号/全画像数」に☒が表示されます。
- 撮影に戻るには、📷 ボタン、シャッターボタン、または🔴 (📹 動画撮影) ボタンを押します。



画像の番号/全画像数

📌 画像の再生について

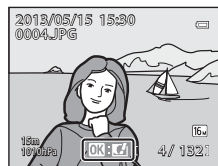
- 再生中にカメラの向きを回転させると、画像は自動的に回転して表示されます（[アクション画像送り] (☒95) が [ON] のときは、カメラの向きを回転させても、画像は自動的に回転しません）。
- カメラを縦に構えて撮影した画像（縦位置の画像）は、自動的に回転して表示されます。顔認識 (☒62) またはペット検出 (☒41) して撮影した画像は、1コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます。
- 画像の向き（縦横位置）は、再生メニュー (☒69) の [画像回転] で変更できます。
- 連写した画像を1コマずつ表示したいときは、🔴 ボタンを押します。元の表示に戻るときは、マルチセレクターの▲を押します（連写グループ表示 → 📷11）。
- 前後の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。

📌 クイックエフェクト機能について

1コマ表示で OK: 4/132 が表示されたときは、その画像に効果を付けられます。🔴 ボタンを押すと効果を選択する画面が表示されます。

効果を付けた画像は別画像として保存されます。


→「クイックエフェクト」(📷15)




📌 アクション操作について

📷 (アクション) ボタンを押すと、アクション操作 (☒7) で、カメラを振って画像を選べます。

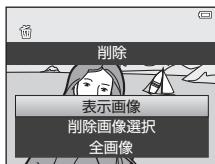
ステップ6 不要な画像を削除する


- 1 削除したい画像を表示し、 ボタンを押す




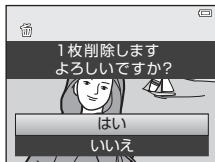
- 2 マルチセレクターの▲または▼で削除方法を選び、 ボタンを押す

- ・ [表示画像] : 表示している 1 コマを削除します。連写グループの代表画像を選んでいるときは、再生中の連写グループの画像をすべて削除します。
- ・ [削除画像選択] : 複数の画像を選んで削除します。→「削除画像選択画面の操作方法」(□32)
- ・ [全画像] : すべての画像を削除します。
- ・ 削除をやめるには、MENU ボタンを押します。






- 3 ▲または▼で [はい] を選び、 ボタンを押す


- ・ 削除した画像は、元に戻せません。
- ・ 削除をやめるときは、▲または▼で [いいえ] を選び、 ボタンを押します。



画像削除についてのご注意

- ・ 削除した画像は元に戻せません。残しておきたい画像はパソコンなどに保存することをおすすめします。
- ・ プロテクト設定 (□69) した画像は、削除されません。
- ・ 連写した画像は、撮影した一連の画像が 1 つのグループ (連写グループ) となり、初期設定ではグループ内の 1 コマ目の画像 (代表画像) のみを表示します。代表画像のみの表示中に  ボタンを押すと、代表画像を含む同じ連写グループの画像すべてが削除の対象になります。連写グループ内の画像を個別に削除するときは、 ボタンを押す前に  ボタンを押して、1 コマずつに展開表示してください。

撮影モードで画像を削除する

撮影モードで  ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。

ステップ6 不要な画像を削除する

削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセレクトターの◀または▶で削除したい画像を選び、▲で☑を表示する

- 選択を解除するときは、▼を押して☑を非表示にします。
- ズームレバー（□27）をT（Q）方向に操作すると1コマ表示に、W（☒）方向に操作すると一覧表示に切り換わります。



2 削除したい画像すべてに☑を表示し、Ⓚボタンを押して選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

✍ 削除する画像を絞り込むには

お気に入り再生モード、オート分類再生モードまたは撮影日一覧モードに切り換えると、お気に入りフォルダー、分類や撮影日ごとに画像を絞り込んで削除できます（□67）。

いろいろな撮影

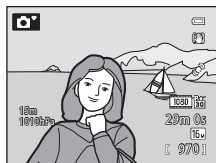
📷 (らくらくオート撮影) モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動で選ぶので、簡単にシーンに適した撮影ができます。

撮影画面にする → 📷 (撮影モード) ボタン → 📷 (らくらくオート撮影) (📖24, 25)

カメラを被写体に向けると、以下の撮影シーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。

- 📷¹ : ポートレート
- 📷² : クローズアップ
- 📷 : 風景
- 📷 : 逆光
- 📷 : 夜景ポートレート*¹
- 📷 : 水中*²
- 📷 : 夜景*¹
- 📷 : その他の撮影シーン



*¹ 撮影シーンが夜景や夜景ポートレートに切り換わると、遅いシャッタースピードで1コマ撮影します。

*² カメラを水の中に入れると、水中モードに切り換わります。

- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は📷になります。
- 自動判別した撮影シーンによってAFエリアが変わります。人物の顔を認識すると、顔にピントが合います(顔認識撮影について→📖62)。
- 「ピントと露出について」→📖29

✔️ らくらくオート撮影モードのご注意

撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、他の撮影モードに切り換えて撮影してください。

✔️ 水の中から出した後のご注意

カメラを水の中から出した後、まれに、水中モードから他のシーンに自動で切り換わらないことがあります。

カメラに付着した水滴などを、手で軽く払うか、柔らかい乾いた布でふき取ってください。お手入れの仕方は、「水中で使用後のクリーニング」(📖xv)をご覧ください。

📷 (らくらくオート撮影) モードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能 → 📖49
- MENU (メニュー) ボタンで設定できる機能
 - 画像モード → 📖58
 - セットアップメニュー → 📖94

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを以下から選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影できます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （上から2番目のアイコン*）
→ → シーンの選択（[□□24](#)、[25](#)）

*前回設定したアイコンが表示されます。初期設定は （ポートレート）です。

ポートレート（ □□35 ）	クローズアップ（ □□38 ）
風景（ □□35 ）	料理（ □□38 ）
スポーツ（ □□35 ）	ミュージアム（ □□38 ）
夜景ポートレート（ □□36 ）	打ち上げ花火（ □□39 ）
パーティー（ □□36 ）	モノクロコピー（ □□39 ）
ビーチ（ □□37 ）	逆光（ □□39 ）
雪（ □□37 ）	かんたんパノラマ（ □□40 ）
夕焼け（ □□37 ）	ペット（ □□41 ）
トワイライト（ □□37 ）	3D 3D撮影（ □□42 ）
夜景（ □□37 ）	水中（ □□43 ）

各シーンの説明を見る（ヘルプ表示）

シーンメニューでシーンの種類を選び、ズームレバー（[□□2](#)）を **T**（）方向に操作すると、そのシーンの説明を表示できます。元の画面に戻るには、もう一度ズームレバーを **T**（）方向に操作します。



関連ページ

メニューの基本操作 → [□□8](#)



シーンモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能 → [□□49](#)
- MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能
 - 画像モード → [□□58](#)
 - セットアップメニュー → [□□94](#)


シーンモードの種類と特徴

- ・  マークが記載されているシーンでは、シャッタースピードが遅くなるため、三脚などのご使用をおすすめします。
- ・ 三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（94）の [手ブレ補正] を [OFF] にしてください。


ポートレート

- ・ カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（62）。
- ・ 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにします（46）。
- ・ 顔を認識しないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- ・ 電子ズームは使えません。

風景

- ・ シャッターボタンを半押しすると、遠景にピントを合わせます。AF エリアまたは AF 表示（10）は常に緑色に点灯します。

スポーツ

- ・ ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- ・ シャッターボタンを全押し続けると、約 8 コマ / 秒の速さで最大約 6 コマまで連写できます（画像モードが  [4608 × 3456] のとき）。
- ・ シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- ・ 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
- ・ 画像モード、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなる場合があります。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

📷 夜景ポートレート

- 📷 [夜景ポートレート] を選ぶと表示される画面で、📷 [手持ち撮影] または 📷 [三脚撮影] を選びます。
- 📷 [手持ち撮影]（初期設定）：手持ちでも手ブレやノイズの少ない撮影ができます。
 - 背景が暗いシーンでは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
 - 望遠側のズーム位置では、背景が暗くても連続撮影しないことがあります。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
 - 連写している間、被写体が動くと画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
- 📷 [三脚撮影]：三脚などで固定して撮影するときに使います。
 - セットアップメニュー（📖94）の [手ブレ補正] を [ON] に設定していても、手ブレ補正を行いません。
 - シャッターボタンを全押しすると、遅いシャッタースピードで 1 コマ撮影します。
- フラッシュが常に発光します。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（📖62）。
- 美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにします（📖46）。
- 顔を認識しないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- 電子ズームは使えません。

📷 パーティー

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（📖94）の [手ブレ補正] を [OFF] にしてください。

ビーチ

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

雪

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。


夕焼け










- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

トワイライト







- シャッターボタンを半押しすると、遠景にピントを合わせます。AF エリアまたは AF 表示（10）は常に緑色に点灯します。

夜景






-  [夜景] を選ぶと表示される画面で、 [手持ち撮影] または  [三脚撮影] を選びます。
-  [手持ち撮影]（初期設定）：手持ちでも手ブレやノイズの少ない撮影ができます。
 - シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて 1 コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源を OFF にしないでください。
-  [三脚撮影]：三脚などで固定して撮影するときに使います。
 - セットアップメニューの [手ブレ補正]（95）を [ON] に設定していても、手ブレ補正を行いません。
 - シャッターボタンを全押しすると、遅いシャッタースピードで 1 コマ撮影します。
- シャッターボタンを半押しすると、遠景にピントを合わせます。AF エリアまたは AF 表示（10）は常に緑色に点灯します。
- 電子ズームは使えません。

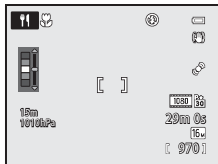
シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

📷 クローズアップ


- マクロモード（53）が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、 ボタンを押し、マルチセレクターの  を押します。以下の設定をするときは、 ボタンを押ししていったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
 - フラッシュモード
 - セルフタイマー
 - 露出補正
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

🍴 料理

- マクロモード（53）が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをマルチセレクターの  で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、 ボタンを押し、マルチセレクターの  を押します。以下の設定をするときは、 ボタンを押ししていったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
 - 色合い
 - セルフタイマー
 - 露出補正
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。



🎵 ミュージアム

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- シャッターボタンを全押しし続けると、最大 10 コマ連写し、最も鮮明に撮れている 1 コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセレクター）（58））。

☀ 打ち上げ花火




- シャッタースピードは、4 秒に固定されます。
- ピントは、遠景に固定されます。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示 (□10) が緑色に点灯します。

□ モノクロコピー

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 近くのを撮影するときは、マクロモード (□53) を併用してください。

☒ 逆光

-  **[逆光]** を選ぶと表示される画面で、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成の設定ができます。
- **[OFF]**（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
- **[ON]**：明暗差の大きい風景撮影に適しています。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

☑ HDRについてのご注意

- 三脚などのご使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー (□94) の **[手ブレ補正]** を **[OFF]** にしてください。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- シャッターボタンを全押しすると連写し、以下の2コマを記録します。
 - 撮影時にD-ライティング (□69) 処理した画像（暗い部分を明るく補正した画像）
 - HDR合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
 - 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時にD-ライティング処理した画像のみ記録します。
- シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
- 撮影状況によっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

☐ かんたんパノラマ

パノラマ写真をつくりたい方向にカメラを動かすだけで、パノラマ写真を撮影できます。

- ☐ [かんたんパノラマ] を選ぶと表示される画面で、撮影する範囲を [標準 (180°)] (初期設定)、または [ワイド (360°)] から選べます。
- シャッターボタンを全押しして指を離し、続けて、水平方向にカメラをゆっくり動かします。設定の範囲を撮影し終わると自動で撮影が終了します。
- ピントは、撮影開始時に画面中央のエリアで合わせます。
- ズーム位置は広角側に固定されます。
- かんたんパノラマで撮影した画像を、1 コマ再生して **OK** ボタンを押すと、表示範囲を自動で移動（スクロール）します。

→ 「かんたんパノラマの使い方（撮影と再生）」（**062**）

✔ パノラマ写真をプリントするときのご注意

パノラマ写真をプリントする場合、プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。詳しくは、お使いのプリンターの説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

🐾 ペット

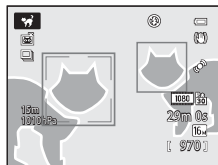
- ・犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、ペットにピントが合うと自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- ・🐾 [ペット] を選ぶと表示される画面で、[単写] または [連写] を選びます。
 - [単写]：1 コマずつ撮影します。
 - [連写]：検出した顔にピントが合うと、自動で約 2.1 コマ/秒の速さで 3 コマ連写します。手動でシャッターをきるときは、シャッターボタンを全押ししている間、約 2.1 コマ/秒の速さで約 37 コマ連写できます（画像モード **16** [4608 × 3456] のとき）。

✔️ ペット自動シャッターについて

- ・[ペット自動シャッター] の設定を変更するにはマルチセクターの◀ (📷) を押します。
 - [📷]：ペットの顔を検出するとピントを合わせ、自動でシャッターをきります。
 - [OFF]：ペットの顔を検出しても、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押して、シャッターをきります。人物の顔も認識します (📷62)。ペットと人物の顔を同時に検出したときは、ピントはペットの顔に合わせます。
- ・以下の場合には [ペット自動シャッター] が自動的に [OFF] になります。
 - 自動シャッターによる連写を 5 回繰り返したとき
 - 撮影中に内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなったとき
 [ペット自動シャッター] での撮影を続けるときは、マルチセクターの◀ (📷) を押し、再設定してください。

✔️ AF エリアについて

- ・検出した顔は、黄色い二重枠の AF エリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が緑色になります。
- ・犬や猫の顔を複数（最大 5 匹）検出したときは、画面内で最も大きい顔が二重枠の AF エリア表示で、それ以外の顔が一重枠で囲まれます。
- ・ペットや人物の顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。



✔️ [ペット] についてのご注意

- ・電子ズームは使えません。
- ・被写体との距離や動く速さ、顔の向きや明るさなど、撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。

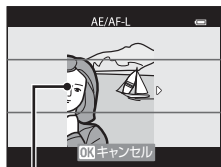
✔️ ペット検出撮影した画像の再生について

1 コマ表示でズームレバーを T (Q) 方向に操作すると、撮影時に検出したペットの顔を中心に拡大表示されます (📷65) (連写した画像を除く)。

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

3D 3D撮影

- 3D 対応のテレビまたはモニターで立体的に表示するため、左目用と右目用の 2 コマを撮影します。
- シャッターボタンを押して 1 コマ目を撮影したら、画面のガイドに被写体が重なるようにカメラを右に水平移動します。
被写体が重なったことをカメラが検知すると、自動的に 2 コマ目のシャッターがきれます。



ガイド

- ピントを合わせるエリア（AF エリア）を移動できます。移動するには、**OK** ボタンを押し、**▲▼◀▶** を押します。以下の設定をするときは、**OK** ボタンを押していったん AF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。
 - マクロモード
 - 露出補正
- ピントと露出およびホワイトバランスは、1 コマ目の撮影で固定され、画面に **AE/AF-L** が表示されます。
- 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 保存される画像モードは **[1920 × 1080]** になります。
- 撮影した 2 コマは、3D 画像（MPO ファイル）として保存されます。このとき、1 コマ目（左目用）の JPEG ファイルも同時に保存されます。

✓ 3D撮影についてのご注意

- 動く被写体は3D 撮影に適していません。
- カメラと被写体との距離が離れているほど、立体感が出にくくなります。
- 被写体が暗いときや、2 コマ目の撮影時に画像の重ね合わせが充分でない場合は、立体感が出にくいことがあります。
- 暗い場所で撮影すると、画像にノイズが現れることがあります。
- 望遠側のズーム位置は、35 mm 判換算で 140 mm 相当の撮影画角までに制限されます。
- 1 コマ目の撮影後に **OK** ボタンを押すか、被写体とガイドの重なりを 10 秒以内にカメラが検知できないときは、撮影がキャンセルされます。
- 2 コマ目の撮影で、ガイドに被写体を重ね合わせても自動撮影が作動せず、撮影がキャンセルされる場合は、シャッターボタンによる手動撮影をお試しください。
- 3D 動画は撮影できません。



3D画像の再生方法

- カメラのモニター画面では 3D（立体）で再生できません。左目用の画像のみで再生されます。
- 3D（立体）で見るには、3D 対応のテレビまたはモニターが必要です。カメラを 3D 対応の HDMI ケーブルで接続すると（□72）、3D で再生できます。
- カメラを HDMI ケーブルで接続するときは、セットアップメニュー（□94）→ **[TV出力設定]** を以下に設定してください。
 - **[HDMI]**：**[オート]**（初期設定）または **[1080i]**
 - **[HDMI 3D 出力]**：**[ON]**（初期設定）
- カメラを HDMI 接続して再生しているときは、3D 以外の画像との表示の切り換えに時間がかかることがあります。3D（立体）で再生している画像は拡大表示できません。
- テレビまたはモニターの設定は、お使いのテレビまたはモニターの説明書をご確認ください。



3D画像再生についてのご注意

3D画像を3D対応のテレビまたはモニターで長時間見続けると、眼の疲労や、気分が悪くなるなどの不快な症状が出る場合があります。お使いのテレビまたはモニターの説明書をよくご覧になり、適切に使用してください。

🌊 水中

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 電子ズームは使えません。
- 水中で撮影するときは、「<重要> 耐衝撃性能、防水 / 防じん、結露、GPS について」（□xii）をご覧ください。

スペシャルエフェクトモード(効果を付けて撮影する)

画像に効果を付けて撮影できます。撮影効果のいずれかを選んで撮影します。

撮影画面にする → (撮影モード) ボタン → S0 (上から3番目のアイコン*)
→ → 効果の選択 (□24、25)

*前回設定したアイコンが表示されます。初期設定はS0 (ソフト) です。

- ・ピントは、画面中央のエリアで合わせます。

項目	内容
S0 ソフト	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SE ノスタルジック セピア	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
硬調モノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。 ・残したい色をマルチセクターの ▲▼ でスライダーから選びます。 以下の設定をするときは、 ボタンを押していったん色を選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。 - フラッシュモード(□50) - マクロモード(□53) もう一度 ボタンを押すと、再び色を選べる状態になります。



スライダー

関連ページ

メニューの基本操作 → □8

スペシャルエフェクトモードの設定を変える

- ・マルチセクターで設定できる機能 → □49
- ・MENU (メニュー) ボタンで設定できる機能
 - 画像モード → □59
 - セットアップメニュー → □94

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の顔の肌をなめらかにできます。

撮影画面にする → 📷（撮影モード）ボタン → 😊 ベストフェイスモード（📖24、25）

1 構図を決め、シャッターボタンを押さずに笑顔待つつ

- カメラが人物の顔を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。
- [**笑顔自動シャッター**]（📖59）により、カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。



2 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を終了するには、📷ボタンを押して他の撮影モードに切り換えます。

✔ ベストフェイスモードについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識機能についてのご注意」 → 📖63

📎 セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

📎 手でシャッターをきるには

シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

ベストフェイスモードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能 → 〇〇49
- MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能
 - ベストフェイスメニュー → 〇〇59
 - セットアップメニュー → 〇〇94

美肌機能について

以下の撮影モードではシャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。

- 📷（らくらくオート撮影）モードのとき（〇〇33）
- シーンモードの[ポートレート]（〇〇35）または[夜景ポートレート]（〇〇36）
- ベストフェイスモード（〇〇45）

撮影後にも、記録した画像に[メイクアップ効果]（〇〇69）で美肌などの編集ができます。

✔ 美肌機能についてのご注意

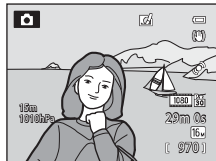
- 画像の記録に時間がかかることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。
- 📷（らくらくオート撮影）モード、シーンモードの[ポートレート]、[夜景ポートレート]では、美肌効果の度合いは設定できません。

📷 (オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。また、撮影メニュー (📖58) の項目を撮影状況や撮影意図に合わせて設定できます。

撮影画面にする → 📷 (撮影モード) ボタン → 📷 (オート撮影) モード (📖24、25)

- ピント合わせをするエリアは、MENU ボタン → 📷 メニューアイコン → [AF エリア選択] の設定によって異なります。
- [AF エリア選択] が [顔認識オート] (初期設定) のときは、以下のようにピントが合います。



- 人物の顔を認識すると、顔にピントが合います。
→ 「顔認識撮影について」 (📖62)
- 顔を認識しないときは、9 つある AF エリアのうち、最も手前の被写体をとらえている AF エリアにピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所の AF エリア表示が緑色に点灯します (最大 9 カ所)。

📷 (オート撮影) モードの設定を変える

- マルチセレクターで設定できる機能 → 📖49
- MENU (メニュー) ボタンで設定できる機能
 - 撮影メニュー → 📖58
 - セットアップメニュー → 📖94

クイックエフェクトを使う

📷 (オート撮影) モードでは、シャッターをきったすぐ後に、撮影した画像に効果を付けられます。

- 効果を付けた画像は、撮影した画像とは別に、異なるファイル名で保存されます (📷94)。

1 📷 (オート撮影) モードで静止画を撮影した後に表示される画面で、**OK** ボタンを押す

- MENU ボタンを押すか、無操作で約5秒経過すると撮影画面に戻ります。
- [クイックエフェクト] を [OFF] にすると、右の確認画面を表示しないようにできます (📷58)。



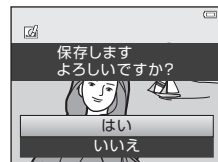
2 マルチセレクターの◀ ▶で効果を選び、**OK** ボタンを押す

- 効果の種類 → 「クイックエフェクト」 (📷15)
- ズームレバーを **T** 方向に操作すると、効果確認画面が表示されます。 **W** 方向に操作すると効果選択画面に戻ります。



3 [はい] を選び、**OK** ボタンを押す

- 効果を付けた画像が作成され、撮影画面に戻ります。
- クイックエフェクトで作成した画像は、再生画面で📷が表示されます (📷12)。



✔ クイックエフェクトについてのご注意

セットアップメニュー (📷96) の [目つぶり検出設定] が [ON] 時に、目つぶりを検出した場合は、クイックエフェクトは使えません。

マルチセレクターで設定できる機能

撮影時にマルチセレクターの▲ (⚡)、◀ (⌚)、▼ (🌱)、▶ (☒) を押すと、下記の機能を設定できます。

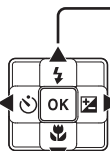
⌚ セルフタイマー → ㊦52

⚡ フラッシュモード → ㊦50



🌱 マクロモード → ㊦53

☒ 露出補正 → ㊦54



設定できる機能の種類

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。

・ 各撮影モードの初期設定は「初期設定一覧」(㊦55)をご覧ください。

機能	らくらく オート撮影	シーン	スペシャル エフェクト	ベスト フェイス	📷 (オート 撮影)
⚡ フラッシュモード (㊦50)	○	※1	○	○※2	○
⌚ セルフタイマー (㊦52)	○		○	○※2	○
🌱 マクロモード (㊦53)	×		○	×	○
☒ 露出補正 (㊦54)	○		○	○	○

※1 シーンによって異なります。→「初期設定一覧」(㊦55)

※2 ベストフェイスメニューの設定により異なります。→「初期設定一覧」(㊦55)

フラッシュを使う（フラッシュモード）

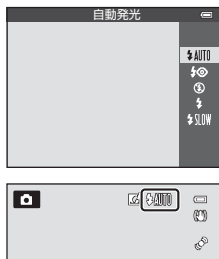
フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

- 1 マルチセレクターの▲（⚡フラッシュモード）を押す



- 2 マルチセレクターでモードを選び、OK ボタンを押す

- ・フラッシュモードの種類→[Q51](#)
- ・OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- ・⚡AUTO（自動発光）にすると [モニター表示設定]（[Q94](#)）にかかわらず、 は数秒間で消えます。



- 3 構図を決めて撮影する

- ・シャッターボタンを半押しすると、フラッシュランプでフラッシュの状態を確認できます。
 - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
 - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
 - 消灯：発光しません。
- ・バッテリー残量が少なくなると、フラッシュの充電中はモニターが消灯します。



フラッシュの光が届く距離

フラッシュの光が十分に届く距離は、広角側で約0.5～5.2 m、望遠側で約0.5～4.5 mです（[ISO感度設定] が [オート] 時）。

フラッシュモードの種類

⚡ AUTO 自動発光

暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。

👁️ 赤目軽減自動発光

人物撮影に適しており、フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します (□□51)。

🚫 発光禁止

フラッシュは発光しません。

⚡ 強制発光

被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。

🐢 SLOW スローシンクロ

自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせで撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写しませず。

📌 フラッシュモードの設定について

- 設定は、撮影モードによって異なります。
→「設定できる機能の種類」(□□49)
→「初期設定一覧」(□□55)
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」(□□60)
- 📷 (オート撮影) モードの場合、変更したフラッシュモードの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。

📌 赤目軽減自動発光について

このカメラは、「アドバンスド赤目軽減方式」を採用しています。フラッシュが本発光する前に、小光量で数回発光する「プリ発光」で赤目現象の発生を軽減します。さらに、画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。

撮影する際は、以下にご注意ください。

- プリ発光するため、シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。
- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

セルフタイマーを使う


記念撮影などで自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーが便利です。

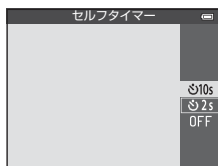
セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（□94）の[手ブレ補正]を[OFF]にしてください。

- 1 マルチセレクターの ◀ (☺セルフタイマー) を押す



- 2 マルチセレクターで [☺10s] (または [☺2s]) を選び、OKボタンを押す

- [☺10s] (10秒)：記念撮影などに適しています。
- [☺2s] (2秒)：手ブレの軽減に適しています。
- 撮影モードがシーンモードの[ペット]のときは、 (ペット自動シャッター) が表示されます (□41)。セルフタイマーは使えません。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

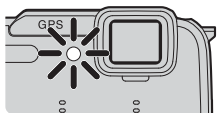
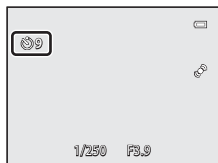


- 3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出を合わせます。

- 4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは[OFF]になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。



マクロ（接写）モードを使う

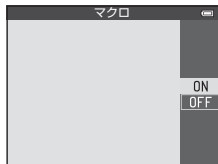
最短で、レンズ前約1 cmまでの被写体にピント合わせができます。
草花などの小さな被写体を大きく写したいときなどに便利です。

1 マルチセレクターの▼(マクロモード)を押す



2 マルチセレクターの▲または▼で [ON] を選び、 OK ボタンを押す

- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



3 ズームレバーを操作し、マークやズーム表示 が緑色になるズーム位置にする

- 被写体に近づいて撮影できる距離は、ズーム位置によって異なります。
マークやズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cm、△マークより広角側のズーム位置では、レンズ前約1 cmの被写体にピント合わせができます。



✓ フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

✍ オートフォーカスについて

[AFモード] (□□58) 設定の無いシーンモードなどでは、マクロモードにすると、シャッターボタンを半押ししなくてもピント合わせを行う [常時AF] に切り換わることがあります。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

✍ マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、マクロモードを使えません。
 - 「設定できる機能の種類」 (□□49)
 - 「初期設定一覧」 (□□55)
- (オート撮影) モードの場合、変更したマクロモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されません。

明るさを調整する（露出補正）

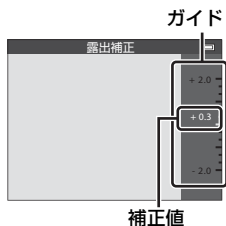
露出補正を設定して撮影すると、画像全体の明るさを明るく、または暗く調整できます。

1 マルチセレクターの▶（ 露出補正）を押す



2 マルチセレクターの▲または▼で補正値を選ぶ

設定	説明
「+」側	カメラが設定する露出よりも明るくします。
「-」側	カメラが設定する露出よりも暗くします。
[0.0]	露出補正を解除します。

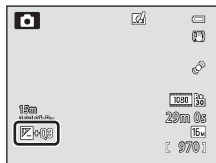


3 ボタンを押す



- ボタンを押さずに数秒経過すると、選択が決定されて設定メニューが消えます。
- ボタンを押さずにシャッターボタンを押しても、選択している補正値で撮影できます。
- [0.0] 以外に設定すると、モニター画面に マークと補正値が表示されます。

4 シャッターボタンを押して撮影する

- 露出補正を解除するときは、手順1に戻って補正値を [0.0] にします。



露出補正の設定について




- （オート撮影）モードの場合、変更した露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- 撮影モードが、シーンモードの[打ち上げ花火]（39）の場合、露出補正は使えません。
- フラッシュ使用時に露出補正を設定した場合は、背景露出とフラッシュの発光量の両方が補正されます。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

- ・シーンモードについては、次ページをご覧ください。


撮影モード	フラッシュモード (□□50)	セルフタイマー (□□52)	マクロモード (□□53)	露出補正 (□□54)
 (らくらくオート撮影) (□□33)	 AUTO ^{※1}	OFF	OFF ^{※2}	0.0
スペシャルエフェクト (□□44)		OFF	OFF	0.0
 (ベストフェイス) (□□45)	 AUTO ^{※3}	OFF ^{※4}	OFF ^{※2}	0.0
 (オート撮影) (□□47)	 AUTO	OFF	OFF	0.0

※1 AUTO (自動発光) か  (発光禁止) を選べます。AUTO (自動発光) では、自動判別したシーンに合わせて、カメラがフラッシュモードを設定します。

※2 変更できません。

※3 [目つぶり軽減] が [ON] のときは使えません。

※4 [笑顔自動シャッター] を [OFF] にすると設定できます。

- ・  (オート撮影) モードの場合、設定した内容は、電源を OFF にしても記憶されます (セルフタイマーを除く)。

組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります (□□60)。

マルチセレクターで設定できる機能



シーンモードの初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ モード (□□50)	セルフタイマー (□□52)	マクロモード (□□53)	露出補正 (□□54)
 (□□35)		OFF	OFF ^{*1}	0.0
 (□□35)	 ^{*1}	OFF	OFF ^{*1}	0.0
 (□□35)	 ^{*1}	OFF ^{*1}	OFF ^{*1}	0.0
 (□□36)	 ^{*2}	OFF	OFF ^{*1}	0.0
 (□□36)	 ^{*3}	OFF	OFF ^{*1}	0.0
 (□□37)	 AUTO	OFF	OFF ^{*1}	0.0
 (□□37)	 AUTO	OFF	OFF ^{*1}	0.0
 (□□37)	 ^{*1}	OFF	OFF ^{*1}	0.0
 (□□37)	 ^{*1}	OFF	OFF ^{*1}	0.0
 (□□37)	 ^{*1}	OFF	OFF ^{*1}	0.0
 (□□38)	 ^{*1}	OFF	ON ^{*1}	0.0
 (□□38)	 ^{*1}	OFF	ON ^{*1}	0.0
 (□□38)	 ^{*1}	OFF	OFF	0.0
 (□□39)	 ^{*1}	OFF ^{*1}	OFF ^{*1}	0.0 ^{*1}
 (□□39)	 ^{*1}	OFF	OFF	0.0
 (□□39)	 ^{*4}	OFF	OFF ^{*1}	0.0
 (□□40)	 ^{*1}	OFF ^{*1}	OFF ^{*1}	0.0
 (□□41)	 ^{*1}	 ^{*5}	OFF	0.0
3D (□□42)	 ^{*1}	OFF ^{*1}	OFF	0.0
 (□□43)	 ^{*1}	OFF	OFF	0.0

*1 変更できません。

*2 変更できません。赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。

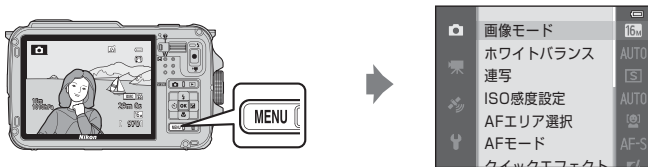
*3 赤目軽減スローシンクロに切り換わる場合があります。

*4 [HDR] が [OFF] のときは (強制発光) に固定されます。[HDR] が [ON] のときは (発光禁止) に固定されます。

*5 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター (□□41) の ON/OFF を設定できます。

MENU(メニュー)ボタンで設定できる機能(撮影モード)

撮影モードでMENUボタンを押すと、撮影メニューを設定できます。



設定できる機能は、撮影モードによって異なります。

機能	らくらく オート撮影	シーン	スペシャル エフェクト	ベスト フェイス	📷 (オート 撮影)
画像モード (📖58)	○	○	○	○	○
ホワイトバランス (📖58)	×	×	×	×	○
連写 (📖58)	×	×	×	×	○
ISO感度設定 (📖58)	×	×	×	×	○
AFエリア選択 (📖58)	×	×	×	×	○
AFモード (📖58)	×	×	×	×	○
クイックエフェクト (📖58)	×	×	×	×	○
美肌効果 (📖59)	×	×	×	○	×
笑顔自動シャッター (📖59)	×	×	×	○	×
目つぶり軽減 (📖59)	×	×	×	○	×





🔪 組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります (📖60)。


🔪 関連ページ

メニューの基本操作 → 📖8

撮影メニューの種類 (📷 (オート撮影) モード)

項目	内容	📖
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます。初期設定は  [4608 × 3456] です。	📷29
ホワイトバランス	画像の色合いを見た目に近づけたいときなどに設定します。[オート] (初期設定) で状況に対応できませんが、思い通りの色合いにならないときは、天候や光源に合わせて設定してください。	📷31
連写	連続撮影の設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> 初期設定は [単写] (1コマずつ撮影) です。 [連写 H]、[連写 L]、[先取り撮影] または [BSS] (38) の設定時は、シャッターボタンを全押しし続けて連写します。 [高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] または [マルチ連写] の設定時は、シャッターボタンを全押しすると、設定に応じたコマ数を一度に連写します。 	📷33
ISO感度設定	ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体ブレを軽減しやすくなります。[オート] (初期設定) では、カメラが自動でISO感度を設定します。	📷36
AFエリア選択	AF (オートフォーカス) でピント合わせをするエリアの決め方を [顔認識オート] ( 62) (初期設定)、[オート]、[マニュアル]、[中央]、または [ターゲット追尾] に設定します。	📷37
AFモード	シャッターボタンを半押ししたときのみピント合わせを行う [シングルAF] (初期設定)、または半押ししていないときもピント合わせを行う [常時AF] を選べます。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。	📷40
クイックエフェクト	クイックエフェクト機能 ( 48) のON/OFFを設定します。初期設定は [ON] です。	📷41

ベストフェイスメニューの種類

項目	内容	📖
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを選びます。初期設定は  [4608 × 3456] です。	🔑29
美肌効果	美肌の効果を設定します。人物の顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。初期設定は [標準] です。	🔑42
笑顔自動シャッター	[ON] (初期設定) にすると、顔認識した人物の笑顔を検出するたびに、カメラが自動でシャッターをきります。セルフタイマーは同時に使えません。	🔑42
目つぶり軽減	[ON] にすると、撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。フラッシュは使えません。初期設定は [OFF] です。	🔑43

組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写 (□□58) 目つぶり軽減 (□□59)	連写のときは、フラッシュは使えません。 [目つぶり軽減] を [ON] にすると、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	笑顔自動シャッター (□□59) AFエリア選択 (□□58)	[笑顔自動シャッター] にすると、セルフタイマーは使えません。 [ターゲット追尾] にすると、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	AFエリア選択 (□□58)	[ターゲット追尾] にすると、マクロモードは使えません。
画像モード	連写 (□□58)	連写の設定によって、[画像モード] は以下のように固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [先取り撮影] 時： 1M (画像サイズ：1280 × 960 ピクセル) • [高速連写 120 fps] 時： VGA (画像サイズ：640 × 480 ピクセル) • [高速連写 60 fps] 時： 1M (画像サイズ：1280 × 960 ピクセル) • [マルチ連写] 時： 5M (画像サイズ：2560 × 1920 ピクセル)
連写	セルフタイマー (□□52)	<ul style="list-style-type: none"> • [連写] が [連写 H]、[連写 L] または [BSS] のときは、シャッターボタンを離すと、[単写] で動作します。 • [連写] が [先取り撮影] のときに、セルフタイマーを設定すると、[単写] で動作します。
ISO 感度設定	連写 (□□58)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、[マルチ連写] にすると、[ISO 感度設定] は [オート] に固定されます。
クイックエフェクト	連写 (□□58)	連写のときは、撮影時のクイックエフェクト機能は使えません。
モニター設定	クイックエフェクト (□□58)	[クイックエフェクト] を [ON] にすると、[撮影後の画像表示] は [ON] に固定されます。

制限される機能	設定	内容
データ写し込み	連写 (□58)	[連写 H]、[連写 L]、[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、[BSS] にすると、日付を写し込めません。
	目つぶり軽減 (□59)	[目つぶり軽減] を [ON] にすると、日付を写し込めません。
モーション検知	フラッシュモード (□50)	フラッシュ発光すると、[モーション検知] は作動しません。
	連写 (□58)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、[マルチ連写] にすると、[モーション検知] は作動しません。
	ISO 感度設定 (□58)	[ISO 感度設定] を [オート] 以外にすると [モーション検知] は作動しません。
	AF エリア選択 (□58)	[ターゲット追尾] にすると、[モーション検知] は作動しません。
操作音	連写 (□58)	連写のときは、シャッター音は鳴りません。
目つぶり検出設定	連写 (□58)	連写のときは、目つぶり検出をしません。
電子ズーム	連写 (□58)	[マルチ連写] にすると、電子ズームは使えません。
	AF エリア選択 (□58)	[ターゲット追尾] にすると、電子ズームは使えません。

✔ 電子ズームについてのご注意

- ・ 撮影モードによっては、電子ズームは使えません。
- ・ 電子ズーム使用時は、画面中央の被写体にピントを合わせます。

ピント合わせについて

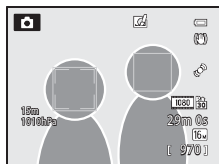
ピント合わせができるエリアや撮影距離は、撮影モードによって異なります。

- ・オート撮影モードでは、ピント合わせをするエリアを、撮影メニューの [AF エリア選択] (□58) で設定できます。

顔認識撮影について

以下の設定では、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。



設定	認識する顔の数	AFエリア (二重枠)
📷 (らくらくオート撮影) モード (□33)	最大12人	カメラに最も近い顔
📷 (オート撮影) モード [AFエリア選択] (□58) が [顔認識オート]		
シーンモード (□34) の [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[ペット] ※		
ベストフェイスモード (□45)	最大3人	画面中央に最も近い顔

※ [ペット] で [ペット自動シャッター] を [OFF] にしたときも、人物の顔を認識しません (□41)。

- ・ 📷 (らくらくオート撮影) モードでは、自動判別した撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- ・ [顔認識オート] では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。
- ・ [ポートレート]、[夜景ポートレート] またはベストフェイスモードでは、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央の被写体にピントを合わせます。

✓ 顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」(□□64)の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、「フォーカスロック撮影」(□□63)をお試しください。

📄 顔認識撮影した画像の再生について

1コマ表示でズームレバーをT(Q)方向に操作すると、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます(□□65)。

フォーカスロック撮影

AF(オートフォーカス)エリアが画面中央でも、ピントを固定(フォーカスロック)する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。

- フォーカスロックをしている間は被写体との距離を変えないでください。
- シャッターボタンを半押しすると、露出は固定されます。



オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

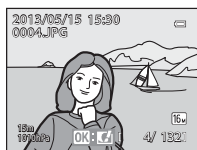
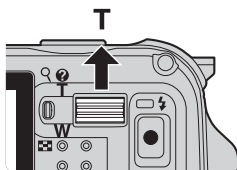
- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリのの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影をお試しください。

いろいろな再生

拡大表示する

再生モードで、拡大したい画像を1コマ選び、ズームレバーをT (Q) 方向に操作します。




1コマ表示



拡大表示

表示位置ガイド


拡大表示中の操作

機能	操作	内容
拡大率を調節する	W (Q) / T (Q)	最大10倍まで拡大できます。
表示位置を移動する		表示位置を移動します。
トリミングする	MENU	表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます (P.19)。
1コマ表示に戻す	OK	1コマ表示に戻ります。

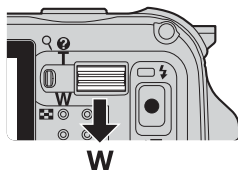
顔認識、ペット検出して撮影した画像の拡大表示について

顔認識 (P.62) またはペット検出 (P.41) して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します ([連写] (P.58) で撮影した画像を除く)。複数の顔を認識したときは、▲▼◀▶で、別の顔に移動できます。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀▶を押します。







一覧表示する（サムネイル/カレンダー）

再生モードで、ズームレバーを **W** () 方向に操作します。

複数の画像を同時に表示するので、目的の画像を探しやすくなります。



サムネイル表示/カレンダー表示中の操作

機能	操作	内容
表示コマ数を変更する	W () / T ()	<ul style="list-style-type: none"> 表示コマ数を変更します（4コマ/9コマ/16コマ/72コマ）。 72コマ表示でズームレバーを W () 方向に操作すると、カレンダー表示になります。 カレンダー表示で T () 方向に操作すると、72コマ表示になります。
画像を選ぶ/ 日付を選ぶ		<ul style="list-style-type: none"> サムネイル表示では画像を選びます。 カレンダー表示では日付を選びます。
1コマ表示に戻す	OK ()	<ul style="list-style-type: none"> サムネイル表示では、選択した画像を1コマ表示します。 カレンダー表示では、選択した日の最初に撮影した画像を1コマ表示します。

カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2013年1月1日」の画像として扱われます。

再生する画像を絞り込む

再生モードの種類を切り換えると、画像を絞り込んで再生できます。

再生モードの種類

項目	内容	📖
▶ 再生	画像を絞り込まず、撮影したすべての画像を再生します。撮影モードから再生モードに切り換えると、このモードになります。	30
★ お気に入り再生	お気に入りフォルダーに登録した画像のみを再生します。このモードに切り換える前に、お気に入りフォルダーへの画像登録が必要です (📁69、👓5)。	👓5
AUTO オート分類再生	撮影した画像は、人物、風景、動画などの項目に自動で分類されます。同じ分類の画像のみを再生します。	👓8
📅 撮影日一覧	同じ撮影日の画像のみを再生します。	👓10

再生モードの切り換え方法

1 再生時に▶ボタンを押す

- 再生モードの種類を選ぶ画面 (再生モードメニュー) が表示されます。



2 マルチセレクターの▲または▼でモードを選び OKボタンを押す

- [再生] を選んだときは、再生画面になります。
- [再生] 以外を選んだ場合 → 手順3



3 お気に入りフォルダー、分類、または撮影日を選び、OKボタンを押す

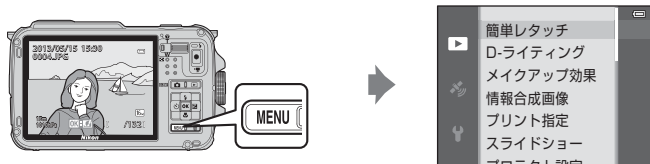
- ★ お気に入り再生 → 👓5
- AUTO オート分類再生 → 👓8
- 📅 撮影日一覧 → 👓10
- お気に入りフォルダー、分類、または撮影日を選び直すときは、手順1から繰り返してください。



オート分類再生モードのとき

MENU(メニュー)ボタンで設定できる機能(再生モード)

1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENUボタンを押すと、再生メニューを設定できます(□8)。



設定できる機能は、再生モードによって異なります。




機能	再生	お気に入り 再生	オート分類 再生	撮影日 一覧
簡単レタッチ (□69)	○	○	○	○
D-ライティング (□69)	○	○	○	○
メイクアップ効果 (□69)	○	○	○	○
情報合成画像 (□69)	○	○	○	○
プリント指定 (□69)	○	○	○	○※
スライドショー (□69)	○	○	○	○※
プロテクト設定 (□69)	○	○	○	○※
画像回転 (□69)	○	○	○	○
スモールピクチャー (□69)	○	○	○	○
音声メモ (□69)	○	○	○	○
画像コピー (□69)	○	×	×	×
連写グループ表示方法 (□69)	○	○	○	○
連写の代表画像選択 (□69)	○	○	○	○
お気に入り登録 (□69)	○	×	○	○
お気に入り解除 (□69)	×	○	×	×



※ 撮影日一覧モードのときは、撮影日の一覧画面(☞10)でMENUボタンを押すと、選んだ日付の画像をまとめて同じ設定にできます。

再生メニューの種類

項目	内容	📖
簡単レタッチ※1、2	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。	🔊16
D-ライティング※1、2	逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。	🔊16
メイクアップ効果※1、2	人物の顔の肌をなめらかにしたり、顔を小さく見せたり、目を大きく見せたりします。	🔊17
情報合成画像※1、2	撮影時に記録した高度計や電子コンパスなどの情報を画像に写し込みます。	🔊18
プリント指定※3、4	SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするとき、どの画像を何枚プリントするかを設定します。	🔊50
スライドショー	内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	🔊53
プロテクト設定※4	大切な画像や動画を誤って削除しないように、プロテクト (保護) します。	🔊54
画像回転※2、3、4、5	撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き (縦横位置) を設定します。	🔊54
スモールピクチャー※1、2	撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。	🔊18
音声メモ※2	撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモを付けられます。音声メモの再生または削除もできます。	🔊55
画像コピー※4	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。動画もコピーできます。	🔊56
連写グループ表示方法	連写した画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示にするかを設定します。	🔊57
連写の代表画像選択※4	連写した一連の画像 (連写グループ、🔊11) の代表画像を変更します。 ・設定時はメニューを表示する前に、変更したい連写グループを選びます。	🔊57
お気に入り登録※4	お気に入りの画像を選んで登録します。	🔊5
お気に入り解除※4	お気に入り登録を解除します。	🔊6

MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（再生モード）

- ※1 選択中の画像を編集し、元画像とは異なるファイル名で保存します。
ただし、「**かんたんパノラマ**」または「**3D撮影**」で撮影した画像は編集できません。
また、編集済みの画像は繰り返し編集できないなどの制限があります（14）。
- ※2 連写グループの画像は、代表画像だけを表示しているときは設定できません。メニューを表示する前に、ボタンを押して画像を1コマずつ表示すると設定できます。
- ※3 「**3D撮影**」で撮影した画像は設定できません。
- ※4 画像選択の画面で、画像を選びます。→「画像選択画面の使い方」（71）
- ※5 「**情報合成画像**」で編集した画像は設定できません。

各項目の詳細は、「詳細編 画像の編集（静止画）」（13）や「詳細編 再生メニュー」（50）をご覧ください。

画像選択画面の使い方

以下のメニューでは、画像選択画面が表示されます。

1画像のみ選べるメニュー項目と、複数の画像を選べるメニュー項目があります。

1画像だけ選べる機能	複数の画像を選べる機能
<ul style="list-style-type: none"> 再生メニュー： <ul style="list-style-type: none"> 画像回転 (☐69)、 連写の代表画像選択 (☐69) セットアップメニュー： <ul style="list-style-type: none"> オープニング画面の [撮影した画像] (☐94) PictBridge (プリンター接続中)： <ul style="list-style-type: none"> プリント画像選択 (☞22) 	<ul style="list-style-type: none"> 再生メニュー： <ul style="list-style-type: none"> プリント指定の [複数画像選択] (☐69)、 プロテクト設定 (☐69)、 画像コピーの [選択画像コピー] (☐69)、 お気に入り登録 (☞5)、 お気に入り解除 (☞6) PictBridge (プリンター接続中)： <ul style="list-style-type: none"> プリントメニューの [プリント選択] (☞24) 画像削除の [削除画像選択] (☐31)

以下の手順で画像を選びます。

1 マルチセレクターの◀▶を押して、画像を選ぶ

- ズームレバーをT (9) 方向に操作すると1コマ表示に、W (☒) 方向に操作すると6コマ表示に切り換わります。
- 1画像だけ選べる機能の場合→手順3へ



2 ▲▼を押してON/OFF (またはプリント枚数) を設定する

- ON にすると、選択画像にアイコンが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。



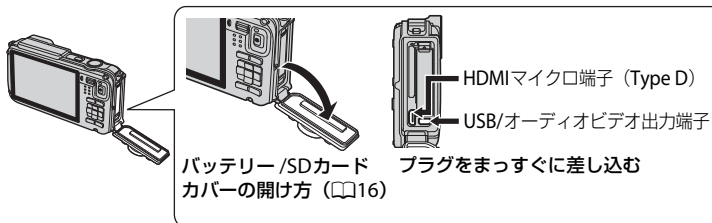
3 Ⓞボタンを押して画像選択を決定する

- 削除画像選択などでは、確認画面になります。画面の表示に従って操作してください。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。

- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。また、接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書も併せてお読みください。



テレビで鑑賞する

020



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。

接続方法：付属のオーディオビデオケーブル EG-CP16 (AVケーブル) の映像プラグと音声プラグ (ステレオ) をテレビの外部入力端子に接続します。または、市販のHDMIケーブル (Type D) を、テレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する

073



パソコンに転送すると、静止画や動画の再生だけではなく、簡易編集や画像データの管理ができます。

接続方法：付属のUSBケーブル UC-E16をパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に付属 CD-ROM「ViewNX 2」を使って、ViewNX 2をパソコンにインストールしてください。付属 CD-ROM「ViewNX 2」の使い方、パソコンへの簡単な転送手順については、75 ページをご覧ください。

パソコンを使わずにプリントする

022



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。

接続方法：付属のUSBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これら全てを可能とするオールインワンソフトです。

付属CD-ROM「ViewNX 2」を使ってインストールできます。

写真を楽しむ工具箱

ViewNX 2™



ViewNX 2をインストールする

- ・ インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。

対応OS

Windows

- ・ Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP

Macintosh

- ・ Mac OS X 10.6、10.7、10.8

対応OSに関する最新情報、動作環境の詳細は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動し、付属CD-ROM「ViewNX 2」をCD-ROMドライブに入れる

- ・ Windows：ディスク（CD-ROM）に対する操作の指示が画面に表示されたときは、画面の指示に従って [Welcome] を開きます。
- ・ Mac OS：[ViewNX 2] ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ内の [Welcome] アイコンをダブルクリックします。

2 [言語選択] ダイアログで言語を選択し、[Welcome] ウィンドウを開く

- [言語選択] ダイアログのメニューに選択したい言語がない場合は、[地域選択] をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。
- [次へ] をクリックすると、[Welcome] ウィンドウが開きます。



3 インストールを開始する

- インストールをする前に、[Welcome] ウィンドウの [インストールガイド] をクリックして、インストール方法のヘルプと動作環境を確認することをおすすめします。
- [Welcome] ウィンドウの [インストール (推奨)] をクリックします。

4 ソフトウェアをダウンロードする

- [ソフトウェアのダウンロード] 画面が表示されたら、[同意して、ダウンロード開始] をクリックします。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

5 インストール終了画面が表示されたら、インストールを終了する

- Windows : [はい] をクリックします。
- Mac OS : [OK] をクリックします。

以下のソフトウェアがインストールされます。

- ViewNX 2 (以下の3つのモジュールで構成されています)
 - Nikon Transfer 2 : 画像をパソコンに取り込みます
 - ViewNX 2 : 取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
 - Nikon Movie Editor : 取り込んだ動画の簡易編集ができます
- Panorama Maker (複数コマに分割して撮影した風景などを、1枚のパノラマ写真に合成できます)

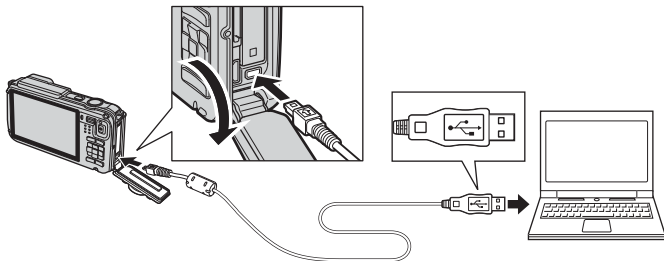
6 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

SDカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込みます。

- SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにします。
内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにSDカードを入れずにパソコンに接続します。



- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SDカードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SDカードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

・ Windows 7 をお使いの場合

右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。

- 1 「画像とビデオのインポート」の「プログラムの変更」をクリックすると表示される画面で、「画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用」を選んで、「OK」をクリックする

- 2 「画像ファイルを取り込む」をダブルクリックする



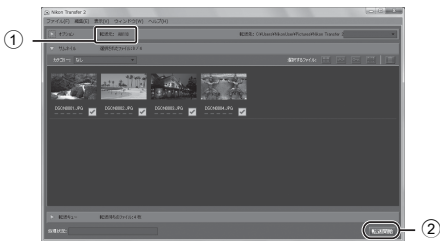
SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

☑ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 画像をパソコンに取り込む

- Nikon Transfer 2 の [オプション] の [転送元] に、接続したカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します (①)。
- [転送開始] ボタンをクリックします (②)。



- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます (ViewNX 2 の初期設定)。

3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにしてから、USB ケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

画像を見る

ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2 のヘルプを参照してください。



ViewNX 2 を手動で起動するには

- Windows : デスクトップの [ViewNX 2] のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS : Dock の [ViewNX 2] アイコンをクリックします。

動画を撮影、再生する

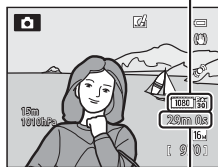
動画を撮影する

- (📷 動画撮影) ボタンを押すだけで、すぐに動画を撮影できます。色合いやホワイトバランスなどの静止画の設定は、動画にも引き継がれます。

1 電源をONにして、撮影画面を表示する

- 動画設定は、撮影する動画の種類を表します (□□80)。
- 動画は、画角 (写る範囲) が静止画に比べて狭くなります。[モニター表示設定] (□□94) を [動画枠+情報オート] にすると、撮影前に動画の写る範囲を確認できます。
※イラスト上の記録可能時間の数値は、実際とは異なります。

動画設定



動画の記録可能時間※

2 ● (📷 動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。
- 「動画撮影中のピントと露出について」 → □□78
- モニター画面に、記録できる残り時間の目安が表示されます。SDカードをカメラに入れていないときは [M] が表示され、内蔵メモリーに記録します。
- 記録可能な残り時間が無くなると、撮影が自動的に終了します。



動画を撮影、再生する

3 ● (📷 動画撮影) ボタンを押して撮影を終了する

📝 アクション操作について

- 📷 (アクション) ボタンを押すと、アクション操作 (□□7) で、動画撮影ができます。

動画を撮影する

動画撮影中のピントと露出について

- 動画撮影中のピントは、動画メニュー **[AFモード]** (□□80) の設定によって以下ようになります。
 - **AF-S [シングルAF]** (初期設定) : ● (▶ 動画撮影) ボタンで撮影を開始したときに、ピントは固定されます。
 - **AF-F [常時AF]** : 動画撮影中もピント合わせを繰り返します。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」 (□□64) では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を撮影するときは、動画メニューの **[AFモード]** を **AF-S [シングルAF]** (初期設定) にしてからフォーカスロック撮影 (□□63) をお試しください。

✓ 動画撮影中のズームについてのご注意

- 動画撮影中は、ズーム表示が表示されません。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- 電子ズームを使わずに動画撮影を開始したときは、ズームレバーを **T (Q)** 方向に操作し続けると、光学ズームの最大倍率でズームが止まります。いったんズームレバーから指をはなして、もう一度 **T (Q)** 方向に操作すると電子ズームが作動します。電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。

✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。バッテリー /SDカードカバーを開けたり、バッテリーやSDカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

✓ 動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします (□19)。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- ズームレバーなどの操作音、ズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中のモニター画面の表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する





✓ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合があります。
- 動画撮影中、カメラ内部が極端に高温になると、カメラ内部の損傷を防ぐため、撮影が自動終了する場合があります。画面に「カメラが高温です。電源をOFFにします」と、自動終了までの残りの秒数 (🕒10s) が表示され、自動終了後に電源もOFFになります。カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

📎 動画撮影で使える機能

- 露出補正、撮影メニュー (□58) の「ホワイトバランス」の設定も撮影する動画に反映します。
- マクロモードのときは、より被写体に近づいて動画を撮影できます。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー (□52) を使えます。セルフタイマーを設定し、● (📷 動画撮影) ボタンを押すと、10秒または2秒後に動画撮影を開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前に MENU ボタンを押して、📷 (動画) メニューアイコンに切り換えると動画メニューの設定ができます (□80)

📎 HS (ハイスピード) 動画を撮影する

動画メニュー「動画設定」(□80) を  [HS 240/8倍]、 [HS 480/4倍]、 [HS 720/2倍]、 [HS 1080/0.5倍] にすると、スローモーション動画や早送り動画を撮影できます。

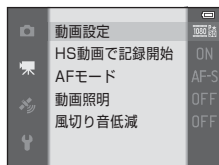
📎 関連ページ

- 動画の記録可能時間 → 📷46
- 記録データのファイル名とフォルダー名 → 📷94

MENU(メニュー)ボタンで設定できる機能(動画メニュー)

撮影画面にする → MENUボタン → 設定メニューアイコン (📷9)

撮影画面でMENUボタンを押してメニュー画面を表示し、設定メニューアイコンを選ぶと、動画メニューで以下の項目を設定できます。



動画メニューの種類

項目	内容	📖
動画設定	撮影する動画の種類を選びます。 通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS(ハイスピード)動画があります。 初期設定は [1080★/30p] です。	📖44
HS動画で記録開始	[動画設定]でHS動画を選択したときに、撮影開始からHS動画で記録するかどうかを選びます。初期設定は [ON] です。 [OFF]にすると、通常速度の動画で記録を開始します。撮影中に ボタンを押すと、HS動画での記録に切り換わります。	📖48
AFモード	通常速度の動画で撮影するときのオートフォーカスの方法を選びます。 動画撮影開始時のピントに固定する [シングルAF] (初期設定)、または動画撮影中もピント合わせを繰り返す [常時AF] を選べます。 [常時AF]にすると、ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF]での撮影をおすすめします。	📖48
動画照明	[ON]にすると、動画撮影時に、暗い場所などで撮影を補助する動画照明を点灯します。初期設定は [OFF] です。	📖49
風切り音低減	通常速度の動画で撮影するときのマイクに吹き付ける風の音を抑えて記録するか設定します。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなることがあります。初期設定は [OFF] です。	📖49

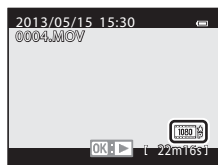
関連ページ

メニューの基本操作 → 📖8

動画を再生する

1 □ (再生) ボタンを押し、再生モードにする

- ・マルチセレクターで動画を選びます。
- ・動画設定 (□80) のアイコンが表示されている画像が動画です。



2 ○K ボタンを押し、再生する

動画再生中の操作

画面上部には操作パネルが表示されます。マルチセレクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、○K ボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀	○K ボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	▶	○K ボタンを押している間、早送りします。
一時停止	⏸	一時停止中に画面上部の操作パネルのアイコンで以下の操作ができます。
		◀ 1コマ戻ります。○K ボタンを押し続けると、連続してコマ戻しします。
		▶ 1コマ進みます。○K ボタンを押し続けると、連続してコマ送りします。
		🔍 動画の必要な部分だけを切り出して保存します (○27)。
▶	再生を再開します。	
再生終了	■	1コマ表示に戻ります。

動画を削除するには、1コマ表示 (□30) やサムネイル表示 (□66) で動画を選んで🗑️ボタンを押します (□31)。

音量の調節

再生中にズームレバー T/W (□2) を操作します。

動画を撮影、再生する

GPSを使う/地図を表示する

GPSの位置情報記録を開始する

カメラ内蔵のGPSを使うと、GPS衛星から電波を受信して、現在の時刻と位置を測位します。

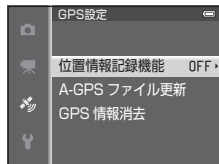
測位した位置情報（緯度と経度）は、撮影する画像に記録できます。

GPS機能をONにする

MENU ボタンを押す → (GPS設定) メニューアイコン (☰9) → GPS設定

カメラの [地域と日時] (☰94) は、GPS機能を使う前に、正しく設定してください。

- 1 マルチセレクターで [位置情報記録機能] を選び、**OK** ボタンを押す



- 2 [ON] を選び、**OK** ボタンを押す

- GPS衛星から電波を受信し、測位が始まります。
- 初期設定は、[OFF] です。



- 3 MENU ボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。
- GPS衛星からの電波の受信を開始するときは、空のひらけた屋外で操作してください。

✔ GPS についてのご注意






- GPS機能をお使いの前に、「<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露、GPSについて」の「GPS機能について」(□□xviii)をお読みください。
- はじめて測位したときや、測位できない状態が長時間経過したとき、バッテリーの交換をしたときは、測位情報を取得するまで数分かかります。
- GPS衛星の位置は常に変化しています。
お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できないこともあります。
GPSを使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。
GPSアンテナ部 (□□1) を空に向けてと受信しやすくなります。
- 以下のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかつたり、測位した位置が実際にいた場所と異なることがあります。
 - 建物の中や地下
 - 高層ビルの間
 - 高架の下
 - トンネルの中
 - 高圧電線などの近く
 - 密集した樹木の間
 - 水中
- 1.5 GHz帯を利用する携帯電話などを本機の近くで使うと、測位しにくくなる場合があります。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のカバンなどに入れないでください。
金属製のものでおおうと測位できません。
- GPS衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。
- 測位するときは、周りの状況や足もとにご注意ください。
- カメラでの再生時に表示する撮影日、撮影時刻には、撮影時のカメラの内蔵時計の日時が記録されます。
画像に記録した位置情報の取得時刻は、カメラでは表示できません。
- 連写した画像には、1コマ目の位置情報が記録されます。

✔ 位置情報記録、ログ取得時の電源とバッテリーの消耗について

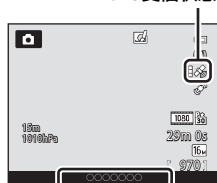
- [位置情報記録機能] を [ON] にしていると、カメラの電源をOFFにした後も、GPS機能が一定の間隔で約6時間作動します。また、ログ取得中 (□□89) は、カメラの電源をOFFにした後も、GPS機能やログ取得機能が作動します。
- [位置情報記録機能] が [ON] 時やログ取得時は、バッテリーを通常より消耗します。特に高度/水深ログの取得時は、バッテリー残量にご注意ください。

GPS の位置情報記録を開始する


GPS受信状態表示と地名情報（POI情報）について

- GPS受信状態は、撮影画面で確認できます。
 - ：4つ以上の衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
 - ：3つの衛星から受信して測位しています。画像に位置情報が記録されます。
 - ：衛星から受信していますが、測位できていません。画像に位置情報は記録されません。
 - ：衛星から受信ができず、測位できません。画像に位置情報は記録されません。
- ランドマーク名（施設名）などの地名情報をPOI情報といいます。
 - GPS設定メニュー（88）の[POI設定]の[POI表示設定]を[ON]にすると、撮影時には現在地に最も近い地名情報を表示します。
 - [POI記録]を[ON]にすると、撮影時に画像に地名情報を記録できます。
 - 地名情報を記録した画像の再生時は、[POI表示設定]を[ON]にすると、撮影時の地名情報を表示します。
- [POI設定]の[POI表示レベル設定]の設定したレベルによっては、地名情報が「---」と表示される場合があります。また、意図したランドマーク名が登録されていなかったり、ランドマーク名が異なる場合があります。

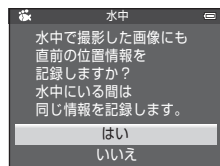
GPS受信状態







水中での位置情報記録について

測位しているときに、シーンモードを[水中]に設定する、または （らくらくオート撮影）モードにして水中に入ると、右図のような画面が表示されます。

[はい]を選んでOKボタンを押すと、水中に入る前、最後に測位した位置情報を、水中で撮影した画像にも記録します。




位置情報を記録した画像について

- 位置情報を記録した画像は、再生時に  が表示されます（12）。
- 位置情報を記録した画像はパソコンに転送後、ViewNX 2を使って位置情報を地図上で確認できます（73）。
- 画像ファイルに記録されているGPS情報は、取得した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。
- 画像に記録された位置情報とPOI情報は、[GPS設定]の[GPS情報消去]を使って消去できます（88）。消去した情報は、元に戻せません。


地図を表示する




カメラ内蔵の地図情報を使って、現在地や画像の撮影場所を画面上に表示できます。

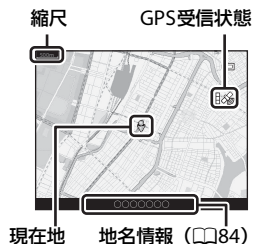
撮影モードまたは再生モードで  (地図) ボタンを押すと、地図が表示されます。



撮影モード時

GPS設定メニュー [GPS設定] の [位置情報記録機能] が [ON] のときに撮影モードで  (地図) ボタンを押すと、現在地を画面上に表示します。


- 現在地を表示するには、位置情報が取得できている必要があります。
- 地図の縮尺を調節するには、ズームレバー (W  / T ) を操作します。
- 地図表示を移動するには、マルチセレクターの  を押します。



✔ 地図表示についてのご注意

- 地図表示は回転できません。画面の上が北を指すノースアップ表示のみです。
- 地図を表示する国によって地図表示の縮尺が異なります。
- 撮影モードで、GPS設定メニュー [GPS設定] の [位置情報記録機能] が [OFF] のとき、または測位ができていないときは、セットアップメニュー (□□94) [地域と日時] の [タイムゾーン] で設定した地域を中心にした世界地図が表示されます。

✎ アクション操作について

 (アクション) ボタンを押すと、アクション操作 (□□7) で、現在地を表示できます。

再生モード時

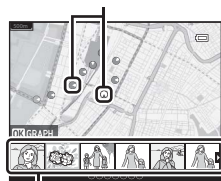
1コマ表示で📷が表示されている画像を選び、🗺️（地図）ボタンを押すと、画像の撮影場所を画面上に表示します。

- 地図と撮影場所を表示するには、再生する画像に位置情報が記録されている必要があります。
- 地図の縮尺を調節するには、ズームレバー（**W** (🗻) / **T** (📏)) を操作します。
- 地図表示を移動するには、マルチセクターの▲▼◀▶を押します。



- **OK** ボタンを押すと、他の画像を選べます。サムネイル表示には、位置情報を記録した画像のみ表示されます。
- **[ログ取得]** (89) で高度ログ/水深ログを記録している間に撮影した画像の場合は、さらに **OK** ボタンを押すと、高度ログ/水深ログのグラフ (67) が表示されます。
- 地図表示の📍は画像の撮影場所とおよその方位 (📍の場合は北向き) を示し、選択中の画像は黄色色で表示されます。
- マルチセクターの◀▶を押して、画像を選びます。
- ズームレバーを **T** (📏) 方向に操作すると、画像を拡大表示できます。**W** (🗻) 方向に操作すると、地図表示に戻ります。



画像の撮影場所・方位



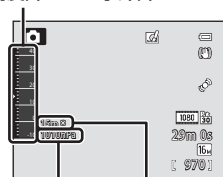
サムネイル表示

高度計/水深計を使う

現在地の高度や水深、気圧を画面上に表示したり、撮影した画像に記録したりできます。

- あらかじめGPS設定メニュー [高度/水深補正] を使って数値を補正してください。水中で使用する前には、必ず水上で0 mに補正をしてください。こまめに補正することで、より正確な高度/水深を表示できます。高度/水深を補正すると、高度表示/水深表示の横にが表示されます。
- 高度/水深、気圧は常に表示されます。
- 高度計/水深計は、GPS設定メニュー (□□88) [高度/水深設定] の [高度計/水深計表示] が [ON] (初期設定) のときに表示されます。
- 水深計、水深表示は、シーンモードを [水中] に設定したとき、または  (らくらくオート撮影) モードにして水中に入ったときに表示されます。
- 高度計、高度表示の表示範囲は、-300 m ~ +4500 mです。
- 水深計、水深表示の表示範囲は、0 m ~ 20 mです。

高度計または水深計



気圧表示

高度表示または水深表示

✓ 高度計/水深計についてのご注意

- このカメラの高度計/水深計を登山やダイビングなどの専門的な用途に使用しないでください。表示される内容はあくまでも目安です。
- 高度は気圧計を使って測定しているため、気象条件によっては正しく表示されないことがあります。
- [高度計/水深計表示] が [ON] のとき、高度計/水深計、気圧表示は、セットアップメニュー (□□94) [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報OFF] の場合でも、表示されます。
- シーンモードを [水中] にしているときに、カメラが水中に無い場合は、水深計の表示が0 mに固定されます。
- 水深15 mを超えると、水深計の表示はオレンジ色に変わります。水深18 mを超えると、水深計の表示は赤色に変わります。

📎 高度ログ/水深ログについて


GPS設定メニュー [ログ取得] を設定すると、一定の間隔で高度/水深の情報を記録します。記録した高度ログ/水深ログは、[ログデータ表示] で軌跡を確認できます。

📎 関連ページ

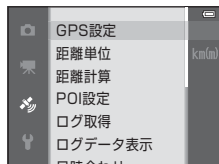
情報合成画像 (高度や電子コンパスなどの情報を画像に写し込む) → □□69、📷18

MENU（メニュー）ボタンで設定できる機能（GPS設定メニュー）






MENU ボタンを押す → （GPS設定）メニューアイコン（9）

メニュー画面で  メニューアイコンを選ぶと、GPS 設定メニューで以下の項目を設定できます。


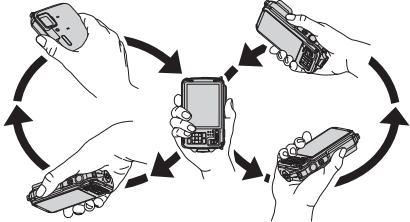


- 地図表示中に MENU ボタンを押しても、GPS 設定メニューを表示できます。



GPS設定メニューの種類

項目	内容	
GPS設定	<p>[位置情報記録機能]：[ON] にすると、GPS衛星から電波を受信し、測位が始まります（82）。初期設定は [OFF] です。</p> <p>[A-GPS ファイル更新]：SDカードを使ってA-GPS（アシストGPS）ファイルを更新します。最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を測位するまでの時間を短くできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 下記のホームページから最新の A-GPS ファイルをダウンロードして、更新してください。 http://nikonimglib.com/agps3/ <p>[GPS情報消去]：画像に記録された位置情報やPOI情報を消去します。</p>	 58
距離単位	地図表示の距離単位を [km(m)]（キロメートル、メートル）（初期設定）または [mi(yd)]（マイル、ヤード）から選べます。	 59
距離計算	現在地から画像の撮影場所（GPS設定メニュー [GPS設定] の [位置情報記録機能] が [ON] のときのみ）、または画像の撮影場所間の直線距離を計算します（再生モード時のみ）。	 60

項目	内容	📖
POI設定	<p>POI (Point of interest、地名情報) に関する設定をします。</p> <p>[POI記録]: [ON] にすると、撮影する画像に地名情報を記録します。初期設定は [OFF] です。</p> <p>[POI表示設定]: [ON] にすると、撮影画面や再生画面に地名情報を表示します。再生画面では、[POI記録] を [ON] にして撮影した画像に、撮影時の地名情報を表示します。初期設定は [OFF] です。</p> <p>[POI表示レベル設定]: 地名情報の表示レベルを設定します。レベルが大きいほど、詳細な地域情報になり、レベルが小さいほど広域な地域情報 (国名など) になります。</p> <p>[POI情報編集]: 画像に記録された地名情報のレベルを変更したり、地域情報を削除したりできます。</p>	🔗61
ログ取得	<p>ログ取得を開始すると、設定した時間が経過するまで、[ログ取得間隔] で設定した間隔で測位した位置情報、高度情報、水深情報を記録します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 位置情報を記録するには、GPS 設定メニュー [GPS 設定] → [位置情報記録機能] を [ON] にします。 取得したログデータは、[全ログ取得終了]、[GPS ログ取得終了] または [水深ログ取得終了] を選び、SD カードに保存します。 	🔗62
ログデータ表示	<p>[ログ取得] → [全ログ取得終了]、[GPS ログ取得終了] または [水深ログ取得終了] でSDカードに保存したログデータの確認や削除ができます。</p> <p>[GPSログ]: ログを選んで🔍 ボタンを押すと、取得した位置情報のログデータを地図上に表示し、移動した軌跡を確認できます。</p> <p>[高度/水深ログ]: ログを選んで🔍 ボタンを押すと、取得した高度情報または水深情報のログデータをグラフ上に表示し、軌跡を確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ログを削除するには、ログを選んで🗑️ ボタンを押します。 	🔗64
日時合わせ	<p>GPS衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します (GPS 設定メニュー [GPS設定] の [位置情報記録機能] が [ON] のときのみ)。</p>	🔗65

項目	内容	
電子コンパス設定	<p>[コンパス表示]: [ON] にすると、撮影画面にカメラを向けた方位を表示します。モニターを上に向けるとコンパス表示が円型 (方位磁石) に切り換わり、赤い指針が北を指します。初期設定は [OFF] です。</p> <p>[コンパス補正]: コンパスの方位が正しく表示されないときに、コンパスの補正をします。カメラが前後、左右、上下を向くように手首を回しながら、8の字を書くように振ってください。</p> 	 66
高度/水深設定	<p>[高度計/水深計表示]: 撮影画面に高度計または水深計が表示されます (10)。初期設定は [ON] です。</p> <p>[高度/水深補正]: 高度/水深を補正します。</p> <p>[高度/水深単位]: 高度/水深表示の距離単位を「m (メートル)」(初期設定) または「ft (フィート)」に設定します。</p>	 67

Wi-Fi（無線LAN）を使う

Wi-Fi機能でできること

Android OSまたはiOSのスマートデバイスに専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」をインストールしてカメラと接続すると、以下の操作ができます。

写真を撮る

スマートデバイスにカメラの撮影画面を表示し、カメラをリモートで操作できます*。

リモートで撮影した画像をスマートデバイスに取り込みます。

*リモート操作中は電源スイッチ以外は操作できません。

写真を見る

カメラのSDカードに保存されている画像をスマートデバイスに取り込みます。

スマートデバイスにソフトウェアをインストールする

1 スマートデバイスでGoogle PlayストアやApp Storeなどに接続して、「Wireless Mobile Utility」を検索する

・詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

2 説明や情報を確認し、インストールする

・ソフトウェアの詳しい操作方法は、下記のホームページから使用説明書をダウンロードしてください。

- Android OS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>

- iOS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>

カメラとスマートデバイスを接続する

MENU ボタンを押す → Y (セットアップ) メニューアイコン (☰9) → Wi-Fi設定
→ Wi-Fi接続設定

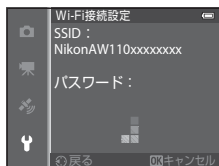
- 1 マルチセレクターで [Wi-Fi接続設定] を選び、
OK ボタンを押す



- 2 [ON] を選び、OK ボタンを押す



- SSIDとパスワードが表示されます。
- [認証/暗号] が [OPEN] (初期設定) のときは、パスワードは表示されません。
- スマートデバイスからの接続通信が 3 分以内ないと、設定は [OFF] になります。



- 3 スマートデバイスのWi-Fi設定をONにする

- 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。
- スマートデバイスに利用可能なネットワーク名 (SSID) が表示されたら、カメラに表示されているSSIDを選びます。
- パスワード (☰93) の入力を求められたら、カメラに表示されているパスワードを入力します。
- 接続が完了すると撮影画面になり、Wi-Fiアイコンが表示されます (☰10)。



- 4 スマートデバイスにインストール済みの専用ソフトウェアを起動する

- 「写真を撮る」または「写真を見る」を選ぶ画面が表示されます。
- 「カメラと接続できません。」が表示されたときは、[Wi-Fi接続設定] をやり直してください。

Wi-Fi接続を解除するには

- カメラの電源をOFFにする
- スマートデバイスのWi-Fi設定をOFFにする

Wi-Fi接続についてのご注意

- 電波の出力が禁止されている場所では、**[Wi-Fi接続設定]** を **[OFF]** にしてください。
- カメラのWi-Fi機能は、SDカードを挿入していないと使えません。Eye-Fiカード(●●84)が挿入されているときは、Wi-Fi機能が使えません。
- Wi-Fi接続中は、**[オートパワーオフ]** は無効になります。
- バッテリーは、**[Wi-Fi接続設定]** を **[ON]** にしていると、通常より消耗します。
- モニターのバッテリー残量表示がのときは、**[Wi-Fi接続設定]** を選べません。また、Wi-Fi接続中にバッテリー残量表示がになると、接続が解除されます。

セキュリティー設定について

Wi-Fi機能を搭載したカメラは、セキュリティー（暗号化やパスワード）を設定しないと、第三者に不正侵入される可能性があります。

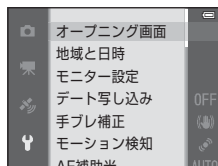
お客様の判断と責任で、必要なセキュリティーを設定してからお使いください。
セットアップメニューの**[Wi-Fi設定]** (□□96) で設定できます。

カメラに関する基本設定












セットアップメニュー










MENU ボタンを押す → **Y** (セットアップ) メニューアイコン (☰9)

メニュー画面で **Y** メニューアイコンを選ぶと、セットアップメニューで以下の項目を設定できます。



項目	内容	
オープニング画面	電源ON時にオープニング画面を表示するかどうかを設定します。表示する画像も選べます。初期設定は [なし] です。	🔗68
地域と日時	内蔵時計の日時を設定します。[タイムゾーン] では、ご使用の地域や夏時間 (サマータイム) を設定します。また、訪問先 (👉) のタイムゾーンを登録すると、自宅 (🏠) との時差を自動計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。	🔗69
モニター設定	撮影後の画像表示や画面の明るさを設定します。[モニター表示設定] では、撮影画面や再生画面に情報を表示するかどうかを選びます。構図を決める参考になる格子線を表示する [格子線+ 情報オート] も選べます。	🔗71
デート写し込み	撮影時に画像に撮影日時を写し込んで記録します。初期設定は [OFF] です。 以下の場合には日時を写し込めません。 - シーンモードが [スポーツ]、[夜景ポートレート] ([手持ち撮影] 時)、[夜景] ([手持ち撮影] 時)、[ミュージアム]、[逆光] ([HDR] ON 時)、[かんたんパノラマ]、[ペット] ([連写] 時) または [3D 撮影] のとき - [連写] (☰58) の設定が [連写 H]、[連写 L]、[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] または [BSS] のとき - 動画撮影のとき	🔗73

項目	内容	
手ブレ補正	撮影時に手ブレの影響を軽減します。初期設定は [ON] です。 ・三脚などでカメラを固定するときは、補正機能の誤動作を防ぐため [OFF] にしてください。	 74
モーション検知	撮影時にカメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。初期設定は [オート] です。 撮影画面の  表示は、ブレを検知してシャッタースピードが速くなると緑色に変わります。 ・撮影モードなどの設定によっては、検知しません。その場合は撮影画面に  は表示されません。	 75
AF補助光	[オート] (初期設定) 時は、暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光 (□□28) が点灯します。 ・AF補助光の設定に関わらず、AFエリアの位置やシーンモードによっては点灯しません。	 76
電子ズーム	[ON] (初期設定) 時は、光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを T (Q) 方向に操作すると、電子ズームが作動します (□□27)。 ・撮影モードなどの設定によっては、電子ズームは使えません。	 76
操作音	操作時に電子音を鳴らすかどうかを設定します。初期設定では電子音が鳴ります。 ・撮影モードなどの設定によっては、操作音は鳴りません。	 77
アクション操作の感度	カメラを振って操作 (アクション操作) するときの感度を設定します。 [高] では、小さな振りでも操作できます。[低] では、大きな振りで操作します。初期設定は [中] です。 ・アクション操作の [クイック再生] または再生モードの 1 コマ表示中の画像選択操作の感度は固定です。	 77
アクション画像送り	[ON] (初期設定) 時は、再生モードの1コマ表示中にカメラを振って画像を選べます。	 78
オートパワーオフ	節電のためにモニターが消灯するまでの時間を設定します。初期設定は [1分] です。	 78

項目	内容	
メモリーの初期化/ カードの初期化 (フォーマット)	SDカードを入れていないときは内蔵メモリーを、SDカードを入れているときはSDカードを初期化(フォーマット)します。 ・初期化すると内蔵メモリーまたはSDカード内のデータはすべて削除され、元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに保存してください。	 79
言語/Language	メニュー画面などに表示する言語を選びます。	 79
TV出力設定	テレビと接続するときの設定をします。 ・オーディオビデオケーブルでテレビと接続しても画像がテレビに映らないときは、テレビの方式に合わせて、[ビデオ出力]を[NTSC]または[PAL]に設定します。 ・HDMIの設定ができます。	 80
目つぶり検出設定	ベストフェイスモード以外で顔認識撮影(📖62)した直後、被写体の人物が目を閉じている可能性をカメラが検出すると[目つぶり確認]画面が表示され、撮影した画像を確認できます。初期設定は[OFF]です。	 81
Wi-Fi設定	カメラとスマートデバイスを接続するため、Wi-Fi(無線LAN)をONにします。また、カメラのSSIDやパスワードなどのネットワーク情報を変更できます。	 82
Eye-Fi送信機能	市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうか設定します。初期設定は[有効]です(Eye-Fiカード挿入時)。	 84
設定クリアー	カメラを初期設定にリセットします。 ・[地域と日時]、[言語/Language]など、一部の設定はリセットされません。	 85
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。	 88



詳細編

詳細編では、機能の詳細や使い方のヒントなどを記載しています。

撮影

かんたんパノラマの使い方（撮影と再生）.....	002
--------------------------	-----


再生

お気に入り再生モード.....	005
オート分類再生モード.....	008
撮影日一覧モード.....	010
連写グループの再生.....	011
画像の編集（静止画）.....	013
テレビとの接続（テレビ画面での再生）.....	020
プリンターとの接続（ダイレクトプリント）.....	022

動画

動画の編集.....	027
------------	-----

メニュー

撮影メニュー（  （オート撮影）モード）.....	029
ベストフェイスメニュー.....	042
動画メニュー.....	044
再生メニュー.....	050
GPS 設定メニュー.....	058
セットアップメニュー.....	068

資料

警告メッセージ.....	089
記録データのファイル名とフォルダー名.....	094
別売アクセサリ.....	096

かんたんパノラマの使い方（撮影と再生）

かんたんパノラマの撮影方法

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （上から2番目のアイコン※）
→ （かんたんパノラマ）

※ 前回設定したアイコンが表示されます。初期設定は （ポートレート）です。

1 撮影する範囲を [標準 (180°)] または [ワイド (360°)] から選び、 ボタンを押す

- カメラを横位置で構えたときの画像サイズ（ヨコ×タテ）は、以下のとおりです。

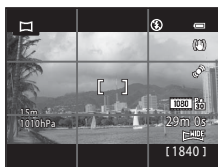
- [標準 (180°)] :
水平に移動時 4800 × 920、
垂直に移動時 1536 × 4800
- [ワイド (360°)] :
水平に移動時 9600 × 920、
垂直に移動時 1536 × 9600

- カメラを縦位置で構えたときの画像サイズは、移動方向とタテとヨコの組み合わせが入れ替わります。



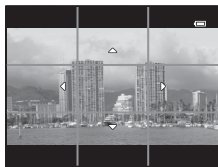
2 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- ズーム位置は、広角側に固定されます。
- 画面に格子のガイドが表示されます。
- 画面中央でピントを合わせます。
- 露出補正 (54) が設定できます。
- 主要被写体にピントや露出が合わないときは、フォーカスロック撮影 (63) をお試しください。



3 シャッターボタンを全押しし、シャッターボタンから指を離す

- カメラを動かす方向を示す マークが表示されます。



4 カメラを4方向のいずれかに、まっすぐ、ゆっくりと動かし、撮影を開始する

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 現在の撮影地点を示すガイドが表示されます。
- 撮影地点を示すガイドが端まで到達すると、撮影が終了します。



ガイド

カメラの動かし方の例

- 撮影者は移動せずに、カメラを水平方向、または垂直方向に円弧を描くように、ガイドの端から端まで動かしします。
- ガイドが端まで到達しないまま、撮影開始から約15秒（**STANDARD** [標準 (180°)] 時）、または約30秒（**WIDE** [ワイド (360°)] 時）が経過すると撮影は終了します。





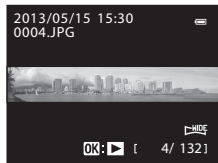
✓ かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいとき、または壁や暗闇など被写体に変化が少ないときなどはエラーになります。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。

かんたんパノラマの再生方法（スクロール再生）








再生モードにして（□30）、かんたんパノラマで撮影した画像を1コマ表示し、**OK**ボタンを押すと、画像の短辺を画面いっぱいに表示し、表示範囲を自動で移動（スクロール）します。

- ・ または  が表示されている画像がかんたんパノラマで撮影した画像です。



- ・撮影したときと同じ方向で、スクロールします。再生中は、画面上部に操作パネルが表示されます。マルチセクターの◀ ▶で操作パネルのアイコンを選び、**OK**ボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容
巻き戻し		OK ボタンを押している間、スクロールを早戻しします。
早送り		OK ボタンを押している間、スクロールを早送りします。
一時停止		一時停止中に画面上部の操作パネルのアイコンで以下の操作ができます。
		 OK ボタンを押している間、巻き戻しします。
		 OK ボタンを押している間、スクロールします。
		 自動スクロールを再開します。
再生終了		1コマ表示に戻ります。

かんたんパノラマ画像の再生についてのご注意

COOLPIX AW110のかんたんパノラマ撮影以外で記録したパノラマ画像は、スクロール再生や拡大表示ができないことがあります。

お気に入り再生モード

撮影した画像（動画を除く）を、9つあるお気に入りフォルダーに登録することで分類できます（登録した画像はコピーや移動はされません）。

登録後、お気に入り再生モードに切り換えると、登録した画像に絞り込んで再生できます。


- フォルダーをイベントや被写体の種類などで使い分けると、画像を探しやすくなります。
- 同じ画像を複数のフォルダーに登録できます。
- 1つのお気に入りフォルダーに登録できる画像は、最大200コマです。

お気に入りフォルダーに画像を登録する

▶ボタンを押す（再生モード*）→ MENUボタン → お気に入り登録

* お気に入り再生モードでは、登録できません。

1 マルチセクターの◀▶を押して、登録したい画像を選び、▲を押して★を表示する

- 同じお気に入りフォルダーに登録したい画像が複数あるときは、この手順を繰り返します。
- 選択を解除するときは、▼を押して★を非表示にします。
- ズームレバー（□□66）をT（Q）方向に操作すると1コマ表示に、W（）方向に操作すると一覧表示に切り換わります。



2 登録したい画像すべてに★を表示し、OKボタンを押す

3 マルチセクターで登録したいお気に入りフォルダーを選び、OKボタンを押す

- 登録が完了し、再生メニューに戻ります。
- 同じ画像を複数のフォルダーに登録するときは、[お気に入り登録]を選んで手順1から操作を繰り返します。



お気に入りフォルダーの画像を再生する

▶ボタンを押す（再生モード）→▶ボタン（📖67）→📌お気に入り再生

マルチセクターでお気に入りフォルダーを選び、
Ⓚボタンを押すと、選んだフォルダーに登録した画像のみを再生します。

- お気に入りフォルダーの選択画面では、以下の操作ができます。
 - 🗑️（削除）ボタン：選択中のフォルダーの画像を、すべて削除します。
 - MENUボタン：フォルダーのアイコン（色とデザイン）を変更します（📌67）。
- 1コマ表示またはサムネイル表示でMENUボタンを押し、メニュー画面で📌メニューアイコン（お気に入り再生メニュー）を選ぶと、再生メニュー（📖69）の機能が選べます。



📌 削除についてのご注意

お気に入り再生モードで画像を削除すると、お気に入りフォルダーから画像が消えるだけでなく、内蔵メモリまたはSDカードに記録されている元の画像も削除されますのでご注意ください。

お気に入りフォルダーの画像登録を解除する

お気に入り再生モードにする → 解除したいフォルダーを選ぶ（📌66）
→ Ⓚボタン → MENUボタン → お気に入り解除

1 マルチセクターの◀▶を押して、解除したい画像を選び、▼を押して📌を非表示にする

- 同じお気に入りフォルダーに解除したい画像が複数あるときは、この手順を繰り返します。
- ズームレバー（📖66）をT（Q）方向に操作すると1コマ表示に、W（R）方向に操作すると一覧表示に切り換わります。



2 [はい] を選んでⓀボタンを押す

お気に入りフォルダーのアイコンを変更する

▶ボタンを押す（再生モード）→▶ボタン（📁67）→🔖お気に入り再生
→アイコンを変更したいフォルダーを選ぶ→MENUボタン

- 1 マルチセクターの◀▶でアイコンの色を選び、Ⓚボタンを押す



- 2 ▲▼◀▶でアイコンを選び、Ⓚボタンを押す
- アイコンが変更され、お気に入りフォルダーの一覧画面に戻ります。



✔ お気に入りフォルダーのアイコン設定についてのご注意

お気に入りフォルダーのアイコンは、内蔵メモリーまたはSDカードごとに設定してください。

- 内蔵メモリーのお気に入りフォルダーアイコンを変更するときは、SDカードをカメラから取り出してください。
- アイコンの初期設定は数字アイコン（黒色）です。

オート分類再生モード

撮影した画像は、人物、風景、動画などの項目に自動で分類されます。












▶ボタンを押す（再生モード） → ▶ボタン（☐67） → **Auto** オート分類再生

マルチセクターで分類を選び、**OK** ボタンを押すと、同じ分類の画像のみを再生します。

- 分類項目の選択画面では、以下の操作ができません。
 - **🗑️**（削除）ボタン：選択中の項目に分類された画像を、すべて削除します。
- 1コマ表示またはサムネイル表示で**MENU** ボタンを押し、メニュー画面で **Auto** メニューアイコン（オート分類再生メニュー）を選ぶと、再生メニュー（☐69）の機能が選べます。



分類項目の種類と内容

項目	内容
 笑顔	ベストフェイスモード (□45) で笑顔自動シャッターを [ON] にして撮影した画像。
 人物	 (オート撮影) モード (□47) で顔認識撮影 (□62) した画像。 シーンモード (□34) の [ポートレート] *、[夜景ポートレート] *、[パーティー]、[逆光] * で撮影した画像。 ベストフェイスモード (□45) で笑顔自動シャッターを [OFF] にして撮影した画像。
 料理	シーンモード (□34) の [料理] で撮影した画像。
 風景	シーンモード (□34) の [風景] * で撮影した画像。
 夜景	シーンモード (□34) の [夜景] *、[夕焼け]、[トワイライト]、[打ち上げ花火] で撮影した画像。
 接写	 (オート撮影) モードでマクロモード (□53) を設定して撮影した画像。 シーンモード (□34) の [クローズアップ] * で撮影した画像。
 ペット	シーンモード (□34) の [ペット] で撮影した画像。
 動画	動画 (□77)。
 編集済み画像	画像編集 (●13) で作成した画像。
 その他の画像	他の分類項目に該当しない画像。

*  (らくらくオート撮影) モード (□33) で切り換わった場合も含まれます。

オート分類再生モードについてのご注意

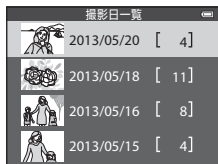
- ・1つの分類項目で表示できるのは、最大999コマです。撮影時にすでに999コマある分類項目に該当した画像/動画は、オート分類再生モードに登録できず、オート分類再生モードで表示できません。通常の再生モード (□30) または撮影日一覧モード (●10) で表示してください。
- ・内蔵メモリーまたはSDカードからコピーした画像や動画は、オート分類再生モードでは表示できません。
- ・COOLPIX AW110以外で記録した画像や動画は、オート分類再生モードで表示できません。

撮影日一覧モード

▶ ボタンを押す（再生モード）→▶ ボタン（□67）→▶ 撮影日一覧

マルチセレクトで日付を選び、OK ボタンを押すと、同じ撮影日の画像のみを再生します。

- 選んだ日の最初に撮影した画像から表示されます。
- 撮影日の一覧画面では、以下の操作ができます。
 - MENU ボタン：メニュー画面で MENU アイコン（撮影日一覧メニュー）を選ぶと、再生メニュー（□69）の内、以下の機能が選択でき、選択中の撮影日の画像をまとめて同じ設定にできます。
 - プリント指定、スライドショー、プロテクト設定
 - 削除 ボタン：選択中の撮影日の画像を、すべて削除します。
- 1コマ表示またはサムネイル表示でMENU ボタンを押し、メニュー画面で MENU アイコン（撮影日一覧メニュー）を選ぶと、再生メニュー（□69）の機能が選べます。
- 撮影日一覧モードでは、カレンダー表示（□66）はできません。



✓ 撮影日一覧モードについてのご注意

- 選べる撮影日は、最新の撮影日から過去29日分までです。それ以前の画像は、「過去画像」に分類されます。
- 撮影日一覧モードで表示できる画像は、最新の画像から9,000コマまでです。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、「2013年1月1日」の画像として扱われます。

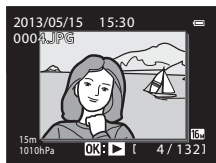
連写グループの再生

以下の設定で連続撮影した画像は、撮影ごとに「連写グループ」として保存されます。

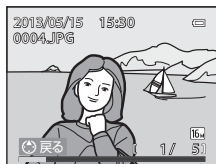
- 撮影メニュー [連写] (📷33) の [連写 H]、[連写 L]、[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]
- シーンモードの [スポーツ] (📷35)、[ペット] (📷41) の [連写]

再生モードの1コマ表示やサムネイル表示 (📷66) では、連写グループの1コマ目の画像が代表画像として表示されます。

連写グループ表示



代表画像の1コマ表示中にⓄ ボタンを押すと、連写グループ内の画像を1コマずつ展開して表示します。代表画像のみの表示に戻すには、マルチセレクターの▲を押します。



連写グループ内の画像を1コマずつ展開して表示しているときは、以下の操作ができます。

- 画像を選ぶ：マルチセレクターの◀ ▶を押します。
- 拡大表示する：ズームレバーをT (Q) 方向に操作します (📷65)。

✔ 連写グループについてのご注意

- COOLPIX AW110以外で連写した画像は、連写グループとして表示できません。
- 連写で撮影した画像が1コマの場合は、連写グループとして表示できません。

🔗 連写グループの表示方法について

再生メニューの [連写グループ表示方法] (📷57) で、すべての連写グループの表示方法を代表画像のみにするか、1コマずつ展開して表示にするかを設定できます。 [連写グループ表示方法] が [1枚ずつ] のときは、連写グループの画像を選ぶと、画面に📷アイコンが表示されます。

🔗 連写グループの代表画像を変更する

代表画像は、再生メニューの [連写の代表画像選択] (📷57) で変更できます。

連写グループを削除する

再生メニューで [連写グループ表示方法] (👁️57) を [代表画像のみ] にしている場合、🗑️ボタンを押して削除方法を選ぶと、以下の画像が削除の対象になります。

- ・ 代表画像のみで、まとめて表示している場合：
 - [表示画像]：連写グループを選択していたときは、同じ連写グループの画像をすべて削除します。
 - [削除画像選択]：削除画像の選択画面 (🗑️32) で代表画像を選ぶと、同じ連写グループの画像をすべて削除します。
 - [全画像]：表示中の連写グループを含む、すべての画像を削除します。
- ・ 🗑️ボタンを押す前に、代表画像を選び👁️ボタンを押して、同じ連写グループ内の画像を1コマずつ展開している場合：削除方法の項目が以下に変わります。
 - [表示画像]：表示している1コマを削除します。
 - [削除画像選択]：削除画像の選択画面 (🗑️32) で、同じ連写グループの画像を複数選択して削除します。
 - [表示グループ]：表示している1コマを含む、同じ連写グループの画像をすべて削除します。



連写グループで再生メニューを使う

連写グループの画像表示中にMENUボタンを押すと、以下のメニュー操作ができます。

- | | | | |
|--------------------------|--------|---------------------------|--------|
| ・ 簡単レタッチ※ ¹ | → 👁️16 | ・ 画像回転※ ¹ | → 👁️54 |
| ・ D-ライティング※ ¹ | → 👁️16 | ・ スモールピクチャー※ ¹ | → 👁️18 |
| ・ メイクアップ効果※ ¹ | → 👁️17 | ・ 音声メモ※ ¹ | → 👁️55 |
| ・ 情報合成画像※ ¹ | → 👁️18 | ・ 画像コピー※ ² | → 👁️56 |
| ・ プリント指定※ ² | → 👁️50 | ・ 連写グループ表示方法 | → 👁️57 |
| ・ スライドショー | → 👁️53 | ・ 連写の代表画像選択 | → 👁️57 |
| ・ プロテクト設定※ ² | → 👁️54 | ・ お気に入り登録※ ² | → 👁️5 |

※1 1コマずつに展開して表示してから、MENUボタンを押してください。画像ごとに設定できます。

※2 代表画像のみを表示中にMENUボタンを押すと、同じ連写グループの画像をまとめて同じ設定にできます。1コマずつ展開して表示してからMENUボタンを押すと、画像ごとに設定できます。

画像の編集（静止画）

画像編集の種類

このカメラでは以下の機能を使って画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別に、異なるファイル名で保存されます（0094）。

編集の種類	用途
クイックエフェクト (0041)	画像にいろいろな効果を付けます。
簡単レタッチ (0016)	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング (0016)	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
メイクアップ効果 (0017)	人物の顔の肌をなめらかにしたり、顔を小さく見せたり、目を大きく見せたりします。
情報合成画像 (0018)	撮影時に記録した高度や水深、電子コンパスなどの情報を画像に写し込みます。
スモールピクチャー (0018)	サイズの小さい画像を作成します。電子メールに添付して送信するときなどに使います。
トリミング (0019)	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。

元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また、編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- [プリント指定] (0050) や [プロテクト設定] (0054) した画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像に反映されません。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名 → 0094

画像の編集（静止画）

✔ 画像編集についてのご注意

- 以下の画像は編集できません。
 - [かんたんパノラマ] または [3D撮影] で撮影した画像
 - COOLPIX AW110以外で撮影した画像
- 画像から人物の顔を検出できないときは、メイクアップ効果の編集はできません。
- 高度/水深情報が記録されていない画像は、情報合成画像の編集はできません。
- COOLPIX AW110以外のデジタルカメラでは、このカメラで編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー/SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。
- 代表画像のみで表示している連写グループ (📷11) は、以下のいずれかの操作をしてから、編集してください。
 - Ⓜ ボタンを押して1コマずつに展開してから、グループ内の画像を選ぶ
 - [連写グループ表示方法] (📷57) を [1枚ずつ] に設定し、1コマずつに展開してから、画像を選ぶ

✂ 画像編集の制限

編集で作成した画像に別の編集を追加するときには、以下の制限があります。

編集に使った機能	追加できる編集機能
簡単レタッチ D-ライティング クイックエフェクト	メイクアップ効果、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
メイクアップ効果	クイックエフェクト、簡単レタッチ、D-ライティング、スモールピクチャーまたはトリミングができます。
情報合成画像 スモールピクチャー トリミング	追加編集できません。

- 編集で作成した画像に同じ種類の編集を繰り返すことはできません。
- スモールピクチャーまたはトリミングと別の編集機能を組み合わせるときは、スモールピクチャーまたはトリミングは最後に編集してください。
- 撮影時に美肌機能を使って撮影した画像にも、メイクアップ効果で美肌などの編集ができます。

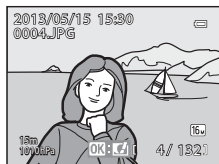
クイックエフェクト（効果を付ける）

1コマ表示中にOK: [] マークが表示されている画像は、以下の24種類から選んだ効果を付けられます。効果は手順2の画面で確認できます。

効果	内容
[絵画調] / [ハイキー] / [トイカメラ風] / [ローキー]	主に色合いを変化させ、雰囲気の異なる画像にします。
[ソフト] / [魚眼効果] / [クロススクリーン] / [ミニチュア効果]	画像を加工して、さまざまな効果を付けます。
[硬調モノクローム] / [セピア] / [クール] / [セレクトカラー] (12色)	カラーの画像を1色で表現します。セレクトカラーは、特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
[かすみ取り]	水中での撮影などで起こりがちな画像のかすみを軽減します。

1 効果を付けたい画像を1コマ表示して、OK ボタンを押す

- 効果の選択画面が表示されます。



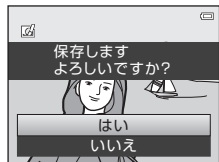
2 マルチセクターの◀▶で効果を選び、OK ボタンを押す

- ズームレバーをT方向に操作すると、効果確認画面が表示されます。W方向に操作すると効果選択画面に戻ります。



3 [はい] を選び、OK ボタンを押す

- クイックエフェクトで作成した画像は別画像として保存され、再生画面で [] が表示されます ([]12)。



簡単レタッチ（コントラストと鮮やかさを高める）

画像を選ぶ（□□30）→ MENU ボタン（□□8）→ 簡単レタッチ

マルチセクターの▲▼を押して効果の度合いを選び、Ⓚボタンを押す

- 左側に表示される画像は補正前、右側は補正後の見本です。
- 中止するときは、◀を押します。
- 簡単レタッチで作成した画像は別画像として保存され、再生画面で🖼が表示されます（□□12）。

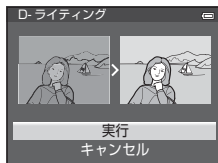


D-ライティング（画像の暗い部分を明るく補正する）

画像を選ぶ（□□30）→ MENU ボタン（□□8）→ D-ライティング

マルチセクターの▲▼を押して [実行] を選び、Ⓚボタンを押す

- 左側に表示される画像は補正前、右側は補正後の見本です。
- D-ライティングで作成した画像は別画像として保存され、再生画面で🖼が表示されます（□□12）。



メイクアップ効果 （肌をなめらかに、顔を小さく目を大きく見せる）

画像を選ぶ（□30）→ MENU ボタン（□8）→ メイクアップ効果

1 マルチセクターの ▲▼ を押して効果の種類を選び、OK ボタンを押す

- ・ [すべて]：美肌に加え、小顔効果、目を大きく見せる効果を追加します。
- ・ [美肌]：顔の肌をなめらかにします。
- ・ 確認画面になり、編集した顔が拡大表示されます。
- ・ 中止するときは、◀ を押します。



2 効果を確認する

- ・ 最も画面の中央に近い順に、最大12人の肌を編集します。
- ・ 編集した顔が複数あるときは、マルチセクターの◀ ▶を押すと顔の切り換えができます。
- ・ 効果を変えたいときは、MENU ボタンを押して、手順1に戻ります。
- ・ OK ボタンを押すと、編集した画像が作成されます。
- ・ メイクアップ効果で作成した画像は別画像として保存され、再生画面で再生が表示されます（□12）。



✔ メイクアップ効果についてのご注意

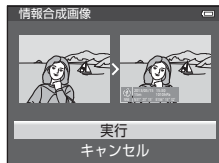
- ・ 顔の向きや明るさなど、画像によっては、適切に顔を検出できないことや望ましい効果が得られないことがあります。
- ・ 画像から人物の顔を検出できないときは、警告メッセージが表示され、再生メニューに戻ります。

情報合成画像 （高度や電子コンパスなどの情報を画像に写し込む）

画像を選ぶ（□30）→ MENU ボタン（□8）→ 情報合成画像

マルチセクターの▲▼を押して[実行]を選び、OK ボタンを押す

- 画像に写し込まれる情報は、画像に記録された高度/水深、気圧、電子コンパス、日時、緯度、経度です（□12）。
- 情報合成画像で作成した画像は別画像として保存されます。



☑ 情報合成画像についてのご注意

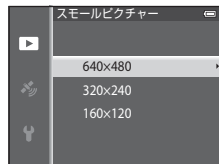
画像に記録されていない情報は写し込まれません。

スモールピクチャー（画像サイズを小さくする）

画像を選ぶ（□30）→ MENU ボタン（□8）→ スモールピクチャー

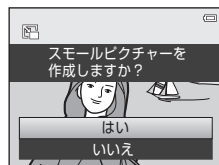
1 マルチセクターの▲▼を押してスモールピクチャーのサイズを選び、OK ボタンを押す

- 編集する画像のアスペクト比（□29）（画像モード）によって、選べるサイズが異なります。
 - 4:3 画像の場合：[640 × 480]、[320 × 240] または [160 × 120]
 - 16:9 画像の場合：[640 × 360]




2 [はい] を選び、OK ボタンを押す

- 作成した画像が別画像（圧縮率約1/16）として保存されます。
- スモールピクチャーで作成した画像は、再生画面で画像が小さく表示され、□が表示されます（□12）。





トリミング（画像の一部を切り抜く）

拡大表示（□□65）中にマークが表示されている画像は、モニター画面に表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。

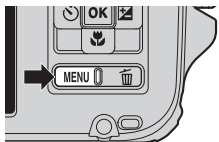
1 トリミングしたい画像を拡大表示する（□□65）

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する


- ・ズームレバーを**T**（）または**W**（）方向に操作して拡大率を調節します。
- ・マルチセレクターの**▲▼◀▶**を押して表示範囲を移動します。



3 MENU ボタンを押す



4 マルチセレクターで「はい」を選び、OK ボタンを押す


- ・トリミング画像が別画像として作成され、再生画面でが表示されます（□□12）。



画像サイズについて

切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。トリミングして画像サイズが 320×240 または 160×120 になった画像は、再生画面で画像が小さく表示されます。

縦位置の画像を縦位置のままトリミングするには

〔画像回転〕（54）で画像を横位置に回転してからトリミングし、もう一度回転して縦位置に戻します。縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、画像は横位置になります。

テレビとの接続（テレビ画面での再生）

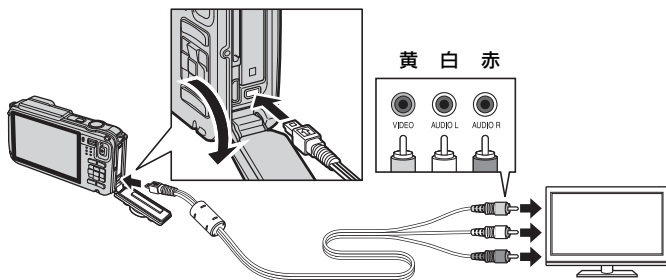
カメラをテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。HDMI端子が付いたテレビをお持ちの場合は、市販のHDMIケーブルで接続して再生できます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとテレビを接続する

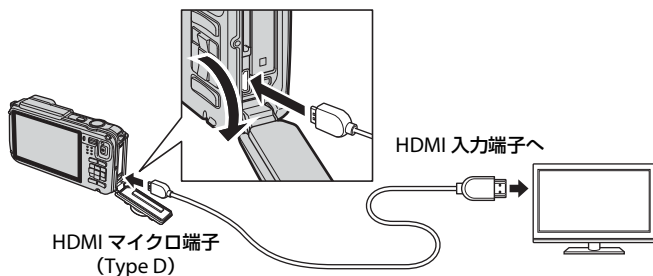
付属のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）で接続する場合

- AVケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、赤色と白色のプラグを音声入力端子に接続してください。



市販のHDMIケーブルで接続する場合

- テレビのHDMI入力端子に接続してください。

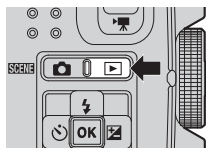


3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- ・詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 カメラの▶ ボタンを長押しして電源を ON にする

- ・カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- ・テレビとの接続中は、カメラのモニターは消灯したままになります。



✓ HDMI接続についてのご注意

HDMIケーブルは付属していません。市販のものをご用意ください。カメラのHDMI出力端子は、HDMIマイクロ端子（Type D）です。HDMIケーブルご購入時は、ケーブルの片方がHDMIマイクロ端子のものをお選びください。

✓ ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

✓ 画像がテレビに映らないときは

セットアップメニューの「TV出力設定」（80）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

🔗 テレビのリモコンを使う（HDMI 機器制御）

HDMI-CEC規格対応テレビのリモコンで、再生中の操作ができます。

カメラのマルチセレクターやズームレバーのかわりに、画像の選択や動画の再生/停止、1コマ表示と4コマのサムネイル表示の切り換えなどができます。

- ・カメラのセットアップメニュー「TV出力設定」の「HDMI 機器制御」（80）を「ON」（初期設定）にし、HDMIケーブルで接続してください。
- ・リモコンは、テレビに向けて操作してください。
- ・お使いのテレビがHDMI-CEC規格に対応しているかどうかは、テレビの使用説明書などでご確認ください。

🔗 HDMI、HDMI-CECとは

「HDMI」とは、High-Definition Multimedia Interfaceの略で、マルチメディアインターフェースのひとつです。

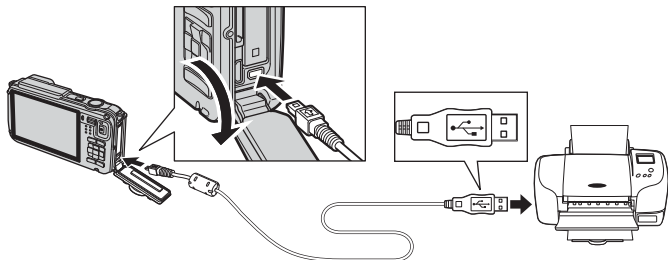
「HDMI-CEC」とは、HDMI-Consumer Electronics Controlの略で、対応機器間での連携動作を可能にします。

プリンターとの接続（ダイレクトプリント）

PictBridge（※27）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。

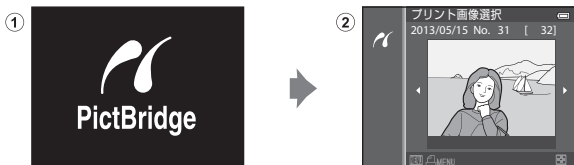
カメラとプリンターを接続する

- 1 カメラの電源をOFFにする
- 2 プリンターの電源をONにする
・プリンターの設定を確認してください。
- 3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する
・プラグの挿入方向を確認して、無理な力を加えずにまっすぐに差し込んでください。プラグを引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。



4 カメラの電源をONにする

- ・正しく接続されると、カメラのモニター画面に [PictBridge] 画面（①）が表示された後、[プリント画像選択] 画面（②）が表示されます。



☑ 電源についてのご注意

- ・プリンターと接続するときは、途中で電源が切れないように、十分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- ・別売のACアダプター EH-62F（※96）を使うと、家庭用コンセント（AC 100 V）から、このカメラへ電源を供給できます。EH-62F以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

1コマずつプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから (☞22)、以下の手順でプリントしてください。

1 マルチセクターでプリントする画像を選び、**OK**ボタンを押す

- ズームレバーを**W** (☞) 方向に操作すると6コマ表示に、**T** (☞) 方向に操作すると1コマ表示に切り換わります。



2 プリント枚数と用紙サイズを設定する

- 「**プリント枚数設定**」を選び、**OK**ボタンを押すと、プリント枚数 (9枚まで) を設定できます。
- 「**用紙設定**」を選び、**OK**ボタンを押すと、用紙サイズを設定できます (☞26)。プリンターの設定を優先したいときは、「**プリンターの設定**」を選びます。

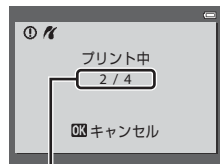


3 「**プリント実行**」を選び、**OK**ボタンを押す



4 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。
- プリントが終了したら、カメラの電源をOFFにしてUSBケーブルを抜いてください。



プリント中の枚数/ 総枚数

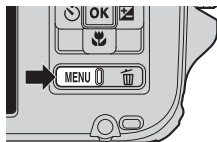
詳細編

複数の画像をプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（☞22）、以下の手順でプリントしてください。

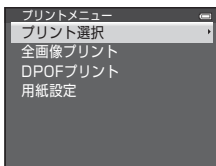
1 [プリント画像選択] 画面が表示されたら、MENU ボタンを押す

- プリントメニューを終了したいときは、MENU ボタンを押します。



2 [プリント選択]、[全画像プリント] または [DPOFプリント] を選んで、OK ボタンを押す

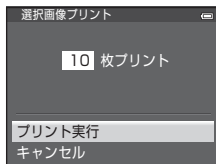
- [用紙設定] を選び、OK ボタンを押すと、用紙サイズを設定できます（☞26）。
プリンターの設定を優先したいときは、[プリンターの設定] を選びます。



プリント選択

プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定できます。

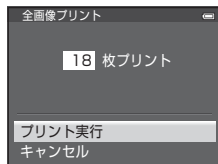
- マルチセレクターの◀▶を押して画像を選び、▲▼を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、☑ マークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーをT(Q)方向に操作すると1コマ表示に、W(☒)方向に操作すると6コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したらOK ボタンを押します。
- 右の画面が表示されたら、[プリント実行] を選び、OK ボタンを押すと画像のプリントが始まります。



全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、[**プリント実行**] を選び、**OK** ボタンを押すと画像のプリントが始まります。



DPOFプリント

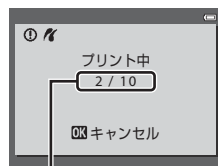
[**プリント指定**] (P.50) であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 右の画面が表示されたら、[**プリント実行**] を選び、**OK** ボタンを押すと画像のプリントが始まります。
- [**画像の確認**] を選んで **OK** ボタンを押すと、どの画像をプリント指定したか確認できます。もう一度 **OK** ボタンを押すと、画像のプリントが始まります。



3 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。



プリント中の枚数/総枚数

詳細編

プリンターとの接続（ダイレクトプリント）

用紙設定について

用紙設定画面では、[プリンターの設定] 以外に、[L サイズ]、[2L サイズ]、[はがき]、[100×150 mm]、[4×6 in.]、[8×10 in.]、[Letter]、[A3 サイズ]、[A4 サイズ] のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

画像のプリント方法について

SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に以下の方法でプリントできます。

- ・ カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- ・ プrintサービス店にプリントを依頼する。

これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、再生メニューの [プリント指定] を使って、あらかじめSDカードに設定できます (6650)。

動画の編集

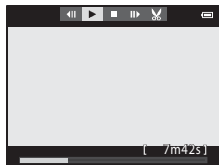
動画の必要な部分だけを切り出す

撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します (iFrame [iFrame 540/30p] で撮影した動画を除く)。

1 編集する動画を再生して、切り出したい先頭で一時停止する (□81)

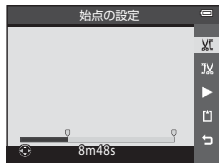
2 マルチセレクターの◀▶で操作パネルの🔍を選び、Ⓚ ボタンを押す

- ・ 動画編集画面が表示されます。



3 ▲▼を押して編集操作パネルの📍 (始点の設定) を選ぶ

- ・ ◀▶を押して、始点の位置を調整します。
- ・ 編集を中止するには、▲▼で↶ (戻る) を選び、Ⓚ ボタンを押します。



4 ▲▼を押して📍 (終点の設定) を選ぶ

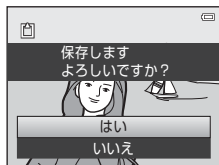
- ・ ◀▶を押して、右端にある終点を必要な部分の終了位置まで移動します。
- ・ ▶ (プレビュー) を選び、Ⓚ ボタンを押すと、保存する前に指定した範囲の動画を再生して確認できます。プレビュー再生中は、ズームレバー T/W で音量を調節できます。プレビュー再生を停止するときは、もう一度Ⓚ ボタンを押します。



5 設定が完了したら、▲▼を押して📁 (保存) を選び、Ⓚ ボタンを押す


6 [はい] を選び、Ⓚ ボタンを押す

- ・ 編集した動画が保存されます。




動画の編集

動画編集についてのご注意

- 編集中に電源が切れないように、十分に残量のあるバッテリーをお使いください。バッテリー残量表示がのときは、動画編集の操作はできません。
- 編集で作成した動画から、もう一度動画を切り出すことはできません。他の範囲を切り出すときは、元の動画を選んで編集してください。
- 秒単位で動画を切り出すため、設定した始点/終点のフレームと、実際の切り出し範囲は、多少ずれることがあります。再生時間が2秒未満になる動画の切り出しはできません。
- 内蔵メモリー/SDカードに十分な空き容量がないときは、編集できません。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名 →  94

撮影メニュー（📷（オート撮影）モード）

画像モード（画像サイズ/画質）

撮影画面にする → MENU ボタン → 📷メニューアイコン（□□8） → 画像モード

記録する画像サイズ（画像の大きさ）と画質（画像の圧縮率）の組み合わせを選びます。

画像サイズの大きい画像モードほど大きくプリントするのに適し、圧縮率が低いほど高画質になりますが、記録可能なコマ数（📷30）は少なくなります。

項目※ ¹	圧縮率	アスペクト比 (横:縦)	プリント時の大きさ※ ²
16M* 4608×3456★	約1/4	4:3	約39×29 cm
16M 4608×3456 (初期設定)	約1/8	4:3	約39×29 cm
8M 3264×2448	約1/8	4:3	約28×21 cm
4M 2272×1704	約1/8	4:3	約19×14 cm
2M 1600×1200	約1/8	4:3	約13×10 cm
VGA 640×480	約1/8	4:3	約5×4 cm
16:9 12M 4608×2592	約1/8	16:9	約39×22 cm

※1 記録データの総画素数（ピクセル）と横×縦の画素数を表しています。

例：16M* 4608×3456：約16メガピクセル＝4608×3456ピクセル

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。

ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）×2.54 cmで計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

画像モードの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（□□10、12）。

📝 画像モードの設定について

- 設定は、他の撮影モードにも適用されます。
- シーンモードの[かたんぱノラマ]（□□40）または[3D撮影]（□□42）設定時は画像モードを選べません。
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」（□□60）

記録可能コマ数

4 GBのSDカードに記録可能なコマ数の目安は以下のとおりです。





実際に記録可能なコマ数は、同じメモリー容量と画像モードでも、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって大きく異なります。

SDカードの種類によっても、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像モード	記録可能コマ数 (4 GB)
16M* 4608×3456★	約490コマ
16M 4608×3456	約970コマ
8M 3264×2448	約1910コマ
4M 2272×1704	約3770コマ
2M 1600×1200	約7100コマ
VGA 640×480	約24100コマ
12M 4608×2592	約1290コマ







- 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。
- 内蔵メモリー (約21 MB) 使用時の記録可能コマ数の目安は、SDカードを抜いて、撮影時の画面でご確認ください。

ホワイトバランス (色合いの調整)

 (オート撮影) モードの撮影画面にする (47) → MENU ボタン
→ メニューアイコン (8) → ホワイトバランス




人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整が必要です。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

初期設定の【オート】でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

項目	内容
AUTO オート (初期設定)	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、初期設定のまま撮影できます。
PRE プリセットマニュアル	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは「プリセットマニュアルの使い方」( 32) をご覧ください。
 晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
 電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
 蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
 曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
 フラッシュ	フラッシュを使う撮影に適しています。

【オート】以外のときは、撮影時の画面にアイコンが表示されます (10)。

ホワイトバランスについてのご注意

- ・【オート】、【フラッシュ】以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを  (発光禁止) に設定してください (50)。
- ・他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」(60)

プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明下 (赤みがかかった照明など) で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せたいときなどに使います。

以下の手順で、撮影する照明下のホワイトバランス値を測定して、撮影します。

1 白またはグレーの被写体を用意し、撮影する照明下に置く

2 撮影メニューを表示し (📖58)、マルチセクターで [ホワイトバランス] のPRE [プリセットマニュアル] を選び、**OK** ボタンを押す

- ・レンズが測定用のズーム位置になります。



3 [新規設定] を選ぶ

- ・前回測定したホワイトバランス値を使いたいときは、[前回の設定] を選んで**OK** ボタンを押します。再測定せずに、ホワイトバランスが前回の値に設定されます。



4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収め、**OK** ボタンを押す

- ・シャッターがきかれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます (画像は記録されません)。



測定窓

✔ プリセットマニュアルについてのご注意

フラッシュ発光時のホワイトバランス値は測定できません。フラッシュ撮影時は、[ホワイトバランス] を [オート] または [フラッシュ] に設定してください。

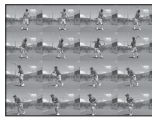
連写

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする (📄47) → MENU ボタン
→ 📷メニューアイコン (📄8) → 連写

連写 (連続撮影) やBSS (ベストショットセレクター) などを設定できます。

項目	内容
📄 単写 (初期設定)	1コマずつ撮影します。
📄 連写 H	シャッターボタンを全押しし続けると、連写できます。シャッターボタンから指をはなすか、最大連写コマ数まで連写すると、撮影を終了します。
📄 連写 L	<ul style="list-style-type: none"> ・ [連写 H] : 約 8 コマ / 秒の速さで、最大 6 コマ連写 ・ [連写 L] : 約 2.1 コマ / 秒の速さで、約 37 コマ連写 (画像モードが 📄 [4608 × 3456] のとき)
📄 先取り撮影	<p>先取り撮影を使うと、シャッターボタンを全押しする直前の画像も記録し、シャッターチャンスを見逃しにくくなります。シャッターボタンの半押しで先取りを開始し、そのまま全押しを続けると連写します (📄35)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連写速度 : 最大 15 コマ / 秒 ・ 連続撮影コマ数 : 最大 25 コマ (先取り撮影の最大 5 コマを含む) シャッターボタンから指をはなすか、最大コマ数連写すると、撮影を終了します。 <p>記録される画像モードは 📄 (1280 × 960 ピクセル) に固定されます。</p>
📄120 高速連写 120 fps	<p>シャッターボタンを1回全押しすると、高速シャッタースピードで連写します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [高速連写 120 fps] : 約 1/120 秒以上の速さで、50 コマ連写 記録される画像モードは 📄 (640 × 480 ピクセル) に固定されます。 ・ [高速連写 60 fps] : 約 1/60 秒以上の速さで、25 コマ連写 記録される画像モードは 📄 (1280 × 960 ピクセル) に固定されます。
📄60 高速連写 60 fps	
BSS (ベストショット セレクター)	<p>暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。シャッターボタンを全押しし続けると、最大10コマ連写し、最も鮮明に撮れている1コマだけをカメラが自動で選んで記録します。</p>

項目	内容
📷 マルチ連写	<p>シャッターボタンを1回全押しすると約30コマ/秒の速さで16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像として記録します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録される画像モードは 📷 (2560 × 1920 ピクセル) に固定されます。 電子ズームは使えません。



[単写] 以外のときは、撮影時の画面にアイコンが表示されます (📷10)。

✔ 連写についてのご注意

- ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。
- 画質や画像サイズ、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなる場合があります。
- 撮影メニューの [ISO感度設定] (📷36) が [1600] または [3200] のときは、連写速度が遅くなる場合があります。
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」(📷60)

✔ 高速連写についてのご注意

- 撮影後の画像の記録に時間がかかります。記録が終了するまでの時間は、撮影コマ数、SDカードへの書き込み速度などによって異なります。
- ISO感度が上がって、撮影した画像がざらつくことがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、明るさや色合いにばらつきが発生したりすることがあります。

✔ BSSについてのご注意

[BSS] は静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

✔ マルチ連写についてのご注意

蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で明滅する照明下では、画像に横帯が発生したり、明るさや色合いにばらつきが発生したりすることがあります。

📷 連写とセルフタイマーを組み合わせるには

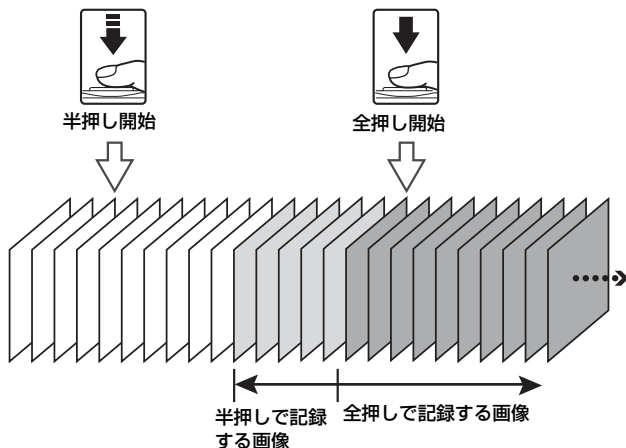
[連写] とセルフタイマー (📷52) の [🕒2s] (2秒) を組み合わせると、手ブレを軽減して連写できます。

[連写] を [連写H]、[連写L] または [BSS] にして、セルフタイマー (📷52) を使う場合は、シャッターボタンを全押しし続けてください。シャッターボタンを離すと、[単写] で動作 (1コマ撮影) します。

 先取り撮影について

[先取り撮影] を設定しているときに、シャッターボタンを0.5秒以上半押しすると撮影を開始し、全押しする直前の画像も連続撮影コマ数の一部として記録できます。先取り撮影できるコマ数は、5コマまでです。

先取り撮影の設定は、撮影時の画面で確認できます (📷10)。シャッターボタンの半押し中は、先取り撮影アイコンが緑色に変わります。



- 記録可能コマ数が5コマ未満のときは、先取り撮影部分の画像は記録されません。撮影前に記録可能コマ数が5コマ以上残っていることをご確認ください。

ISO感度設定

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする (📄47) → MENU ボタン
→ 📷メニューアイコン (📄8) → ISO感度設定

ISO感度を高くすると、より少ない光量で撮影できます。

ISO感度を高くするほど、より暗い被写体を撮影できます。また、同じ明るさの被写体でも、より速いシャッタースピードで撮影でき、手ブレや被写体の動きによるブレを軽減しやすくなります。

- ISO感度を高くすると、暗い被写体の撮影やフラッシュを使わない撮影、望遠側での撮影などに効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつくことがあります。

項目	内容
オート (初期設定)	明るい場所ではISO 125になり、暗い場所では自動的にISO 1600までISO感度が高くなります。
感度制限オート	カメラが自動的にISO 感度を変更するときの範囲を [ISO 125-400] (初期設定)、[ISO 125-800] から選べます。選んだ範囲の上限値以上にISO 感度は上がりません。ISO 感度の上限値を設定することで、画像のざらつきを抑える効果があります。
125、200、400、800、1600、3200	ISO感度を選んだ値に固定します。

ISO感度の設定は、撮影時の画面で確認できます (📄10)。

- [オート] に設定した場合、ISO 125で撮影できるときは何も表示されず、ISO感度が自動的に上がったときにISOマークが表示されます。
- [感度制限オート] に設定したときはISOマークとISO感度の上限値が表示されます。

📌 ISO感度設定についてのご注意

他のメニュー設定と組み合わせで使えない機能があります。→「組み合わせで使えない機能」(📄60)

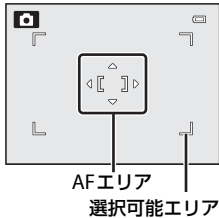
AFエリア選択

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする (📷47) → MENU ボタン
 → 📷メニューアイコン (📷8) → AFエリア選択

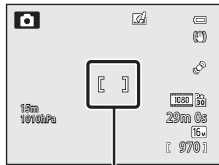
オートフォーカスでピント合わせをするエリアの決め方を設定します。

項目	内容
<p>📷 顔認識オート (初期設定)</p>	<p>カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います (顔認識撮影について→ 📷62)。複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。</p> <p>人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AFエリア選択が [オート] になり、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。</p> <div data-bbox="687 320 933 501" data-label="Image"> </div>
<p>📷 オート</p>	<p>9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。シャッターボタンを半押しするまで、AFエリアは表示されません。</p> <p>半押しすると、ピントが合ったAFエリアが画面に表示されます (最大9カ所)。</p> <div data-bbox="687 624 933 805" data-label="Image"> </div>

項目	内容
<p>[☑] マニュアル</p>	<p>画面内の99カ所から、ピントを合わせたいエリアを自分で選びます。比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合に適しています。</p> <p>マルチセレクターの▲▼◀▶を押して、画面に表示されているAFエリアを、ピントを合わせたい位置に動かしてから撮影します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 以下の設定をするときは、OK ボタンを押していったんAF エリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> - フラッシュモード、マクロモード、セルフタイマーまたは露出補正 もう一度OK ボタンを押すと、再びAF エリアを選べる状態になります。
<p>[▪] 中央</p>	<p>画面中央のエリアでピントを合わせます。</p> <p>AF エリアが画面中央に常に表示されます。</p>
<p>🎯 ターゲット追尾</p>	<p>ピントを合わせたい被写体を登録するとターゲット追尾が始まり、AF エリアが被写体を追いかけて移動します。→「ターゲット追尾の使い方」(📖39)。</p>



AFエリア
選択可能エリア



AFエリア



✔ AFエリア選択についてのご注意

- 電子ズーム使用時は、[AFエリア選択] の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」(📖64) の撮影では、ピントが合わないことがあります。
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」(📖60)

ターゲット追尾の使い方

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする (□47) → MENU ボタン
→ 📷メニューアイコン (□8) → AFエリア選択

動きのある被写体の撮影をするときに使います。ピントを合わせたい被写体を登録するとターゲット追尾が始まり、AFエリアが被写体を追いかけて移動します。

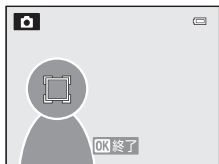
1 マルチセレクターで📷 [ターゲット追尾] を選び、OK ボタンを押す

- 設定したらMENU ボタンを押して、撮影画面に戻ります。



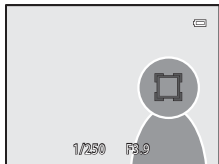
2 被写体を画面の中央の枠に合わせて、OK ボタンを押す

- 被写体が登録されます。
- 枠が赤色で表示されたときは、被写体にピントを合わせられません。構図を変えて、もう一度被写体を登録してください。
- 被写体が登録されると、黄色いAFエリア表示で囲まれ、ターゲット追尾が始まります。
- 登録を解除したいときは、OK ボタンを押します。
- カメラが被写体を見失って AF エリア表示が消えたときは、もう一度被写体を登録してください。



3 シャッターボタンを全押しして撮影する

- シャッターボタンを半押しして、AFエリアでピントが合うと、AFエリア表示が緑色になり、ピントが固定されます。
- AF エリアが表示されていない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央の被写体にピントが合います。



撮影メニュー (📷 (オート撮影) モード)

✔ ターゲット追尾についてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- ズーム位置、フラッシュモードまたはメニューは、被写体を登録する前に設定してください。被写体を登録した後に設定を変更すると、被写体の登録が解除されます。
- 被写体の動きが速いときや手ブレが大きいとき、類似した被写体がある場合など、撮影条件によっては、被写体をターゲットに登録できないことや追尾できないこと、または別の被写体を追尾することがあります。被写体の大きさや明るさなどによっても、適切にターゲット追尾できないことがあります。
- カメラが待機状態 (🔋21) になると、被写体の登録は解除されます。オートパワーオフ (🔋78) の時間を長めに設定しておくことをおすすめします。
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」(🔋60)

AFモード (オートフォーカスモード)

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする (🔋47) → MENU ボタン
→ 📷メニューアイコン (🔋8) → AFモード

ピントの合わせ方を設定します。

	項目	内容
AF-S	シングルAF (初期設定)	シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。
AF-F	常時AF	シャッターボタンを半押しするまで、常にピント合わせを繰り返します。動きのある被写体の撮影に適しています。常にピントを合わせる動作音がします。

✔ AFモードについてのご注意

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」(🔋60)

📷 動画のAFモードについて

動画撮影時のAFモードは、動画メニューの [AFモード] (🔋48) で設定します。

クイックエフェクト

📷 (オート撮影) モードの撮影画面にする (☞47) → MENU ボタン
→ 📷メニューアイコン (☞8) → クイックエフェクト

クイックエフェクト機能のON/OFFを設定します。



項目	内容
<input checked="" type="checkbox"/> ON (初期設定)	📷 (オート撮影) モードでは、シャッターをきったすぐ後に、撮影した画像に効果を付けられます。 ・「クイックエフェクトを使う」→ ☞48
OFF OFF	クイックエフェクト機能 (撮影モード時) をOFFにします。

クイックエフェクトについてのご注意




他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」(☞60)

ベストフェイスメニュー

画像モード（画像サイズ/画質）


[画像モード]については、「（オート撮影）モードの [画像モード]」（29）をご覧ください。

美肌効果




ベストフェイスモードの撮影画面にする（45）→ MENU ボタン
→ メニューアイコン（8）→ 美肌効果

美肌の効果を設定します。


項目	内容
◆ 強め	シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で顔の肌をなめらかにしてから画像を記録します。効果の度合いを選べます。
◆ 標準（初期設定）	
◆ 弱め	
OFF OFF	美肌機能をOFFにします。


美肌効果の設定は、撮影画面のアイコン表示で確認できます（10）。[OFF]のときは、何も表示されません。また、撮影画面の被写体では、効果の度合いは確認できません。撮影後に画像を再生して確認してください。

笑顔自動シャッター

ベストフェイスモードの撮影画面にする（45）→ MENU ボタン
→ メニューアイコン（8）→ 笑顔自動シャッター

カメラが顔認識した人物の笑顔を検出するたびにシャッターをきります。


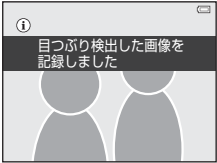
項目	内容
 ON（初期設定）	笑顔自動シャッターを設定します。
OFF OFF	笑顔自動シャッターをOFFにします。

笑顔自動シャッターの設定は、撮影時の画面で確認できます（10）。[OFF]のときは、何も表示されません。

目つぶり軽減

ベストフェイスモードの撮影画面にする (□45) → MENU ボタン
→ 目つぶり軽減アイコン (□8) → 目つぶり軽減


撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。

項目	内容	
 ON	<p>目つぶり軽減を設定します。 [ON] にすると、フラッシュは使えません。 目をつぶっている可能性のある画像を記録したときは、右のメッセージが数秒間表示されます。</p>	
OFF OFF(初期設定)	目つぶり軽減機能をOFFにします。	


目つぶり軽減の設定は、撮影時の画面で確認できます (□10)。[OFF] のときは、何も表示されません。

動画メニュー

動画設定






撮影画面にする → MENU ボタン →  (動画) メニューアイコン (📺8) → 動画設定

撮影する動画の種類を選びます。


動画には、通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS (ハイスピード) 動画 (45) があります。

画像サイズが大きく、ビットレートが大きいほど高画質になりますが、ファイルサイズが大きくなります。

通常速度の動画

項目	画像サイズ (記録画素数) アスペクト比 (横:縦)	ビットレート
 1080★/30p (初期設定)	1920×1080 16:9	約15 Mbps
 1080/30p	1920×1080 16:9	約12 Mbps
 720/30p	1280×720 16:9	約9 Mbps
 iFrame 540/30p※	960×540 16:9	約24 Mbps
 480/30p	640×480 4:3	約6 Mbps

・撮影フレーム数は、いずれの設定も約30フレーム/秒です。

※ iFrameは、Apple Inc.がサポートするフォーマットのひとつです。動画の編集 (27) はできません。内蔵メモリーで撮影するときは、絵柄によっては撮影が途中で終了することがあります。大切な撮影ではSDカード (Class 6以上) の使用をおすすめします。





ビットレートについて

ビットレートとは、1秒間あたりの動画のデータ量です。撮影する被写体によって、ビットレートが自動的に変わる「VBR記録方式」を採用しています。動きの多い被写体を記録すると、ファイルサイズが大きくなります。

HS動画

撮影した動画を再生すると、スローモーションや早送りになります。

→「スローモーション動画または早送り動画を撮影する（HS動画）」(046)

項目	画像サイズ (記録画素数) アスペクト比 (横：縦)	内容
 HS 240/8 倍	320×240 4:3	通常の8倍速で撮影します。再生時は、1/8倍速のスローモーション動画になります。 ・最長撮影時間※：10 秒（再生時間：1 分 20 秒）
 HS 480/4 倍	640×480 4:3	通常の4倍速で撮影します。再生時は、1/4倍速のスローモーション動画になります。 ・最長撮影時間※：15 秒（再生時間：1 分）
 HS 720/2 倍	1280×720 16:9	通常の2倍速で撮影します。再生時は、1/2倍速のスローモーション動画になります。 ・最長撮影時間※：30 秒（再生時間：1 分）
 HS 1080/0.5 倍	1920×1080 16:9	通常の0.5倍速で撮影します。再生時は、2倍速の早送り動画になります。 ・最長撮影時間※：2 分（再生時間：1 分）






※ 撮影中にスローモーション/早送りと通常速度の切り換えができます。表中の最長撮影時間は、スローモーションまたは早送り再生になる部分だけの撮影時間です。

動画の記録可能時間

4 GBのSDカードに記録可能な総時間の目安は以下のとおりです。

実際に記録可能な時間やファイルサイズは、同じメモリー容量と動画設定でも、画像の絵柄や被写体の動きによって異なります。

SDカードの種類によっても、記録可能時間が異なることがあります。

動画設定 (0044)	記録可能時間※ (4 GB)
 1080★/30p	約30分
 1080/30p	約40分
 720/30p	約55分
 iFrame 540/30p	約20分
 480/30p	約2時間45分

※ 動画の連続撮影可能時間（1回の撮影で記録可能な時間）は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

- 内蔵メモリー（約21 MB）使用時の記録可能時間の目安は、SDカードを抜いて、撮影時の画面でご確認ください。

関連ページ

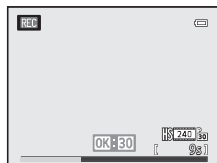
記録データのファイル名とフォルダー名 → 0094

スローモーション動画または早送り動画を撮影する（HS動画）

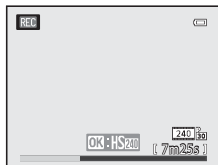
動画メニューの[動画設定]をHS動画(0045)に設定すると、HS（ハイスピード）動画を撮影できます。HS動画で撮影した動画は、通常再生の1/8～1/2の速度のスローモーションや2倍の早送りで再生されます。

1 ● (📹動画撮影) ボタンを押して、撮影を開始する

- 動画メニューの[HS動画で記録開始]が[ON]の場合、HS動画の撮影が始まります。



- 動画メニューの [HS 動画で記録開始] が [OFF] の場合、通常速度の動画撮影が始まります。スローモーションまたは早送りにしたい場面で **OK** ボタンを押して、HS動画に切り換えます。



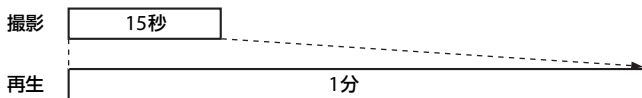
- HS動画の最長撮影時間 (0:45) が経過するか、**OK** ボタンを押すと通常速度の動画撮影に切り換わります。**OK** ボタンを押すたびに、通常速度とHS動画の切り換えができます。
- 記録可能時間の表示は、HS動画の速度のときは、HS動画の最長撮影時間に切り換わります。
- 動画設定アイコンの表示は、HS動画の速度のときと、通常速度のときで切り換わります。

2 ● (📷動画撮影) ボタンを押して、撮影を終了する

[HS 480/4倍] で撮影した場合：

通常速度の4倍速のフレームレートで動画撮影します (最長15秒間)。

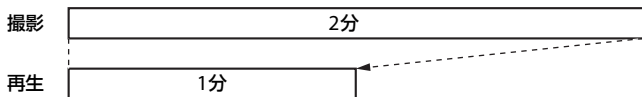
再生時は、4倍の時間をかけてスローモーションで再生します。



[HS 1080/0.5倍] で撮影した場合：

通常速度の半分 (0.5倍速) のフレームレートで撮影します (最長2分間)。

再生時は、2倍の速さで早送り再生します。




HS動画についてのご注意

- 音声は記録されません。
- ズーム位置、ピント、露出、ホワイトバランスは、動画撮影を開始したときに固定されます。

HS動画で記録開始


撮影画面にする → MENU ボタン →  (動画) メニューアイコン (📖8)
→ HS動画で記録開始


HS動画を撮影するとき、撮影開始からスローモーションまたは早送りの動画で撮影するかどうかを選びます。

項目	内容
ON (初期設定)	HS動画で撮影を開始します。
OFF	通常速度の動画で撮影を開始します。スローモーションまたは早送りにしたい場面で  ボタンを押して、HS動画撮影に切り換えます。

AFモード

撮影画面にする → MENU ボタン →  (動画) メニューアイコン (📖8) → AFモード

通常速度の動画 ( 44) を撮影するときのピントの合わせ方を選びます。

項目	内容
AF-S シングルAF (初期設定)	● ( 動画撮影) ボタンで撮影を開始したときのピントに固定します。撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、[シングルAF]での撮影をおすすめします。

・ [動画設定] をHS動画に設定したときは、[シングルAF] に固定されます。

動画照明


撮影画面にする → MENU ボタン → ㉫ (動画) メニューアイコン (📖8) → 動画照明

動画撮影時に、暗い場所などで撮影を補助する動画照明の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
ON	動画撮影中に動画照明が点灯します。
OFF (初期設定)	動画照明は点灯しません。

風切り音低減


撮影画面にする → MENU ボタン → ㉫ (動画) メニューアイコン (📖8)
→ 風切り音低減

項目	内容
 ON	マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録します。強風時の撮影に適しています。再生時に風切り音以外の音が聞こえにくくなる場合があります。
OFF OFF (初期設定)	風切り音を低減しません。

[ON] のときは、撮影時の画面にアイコンが表示されます (📖10)。

- ・ [動画設定] をHS動画に設定したときは、[OFF] に固定されます。




再生メニュー

画像編集機能 [簡単レタッチ]、[D-ライティング]、[メイクアップ効果]、[情報合成画像]、[スモールピクチャー] については、「画像の編集（静止画）」（13）をご覧ください。

プリント指定（プリントする画像や枚数の設定）

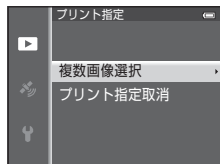
 ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン (8) → プリント指定

SDカードに記録した画像を以下の方法でプリントする場合、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめSDカードに設定できます。




- カードスロットが付いたDPOF対応（27）のプリンターでプリントする。
- DPOF対応のプリントサービス店にプリントを依頼する。
- カメラを PictBridge 対応（27）のプリンターに接続してプリントする（22）（カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます）。

1 マルチセレクターで [複数画像選択] を選び、 ボタンを押す

- お気に入り再生モード、オート分類再生モードまたは撮影日一覧モードのときは、右の画面は表示されません。手順2へ進んでください。




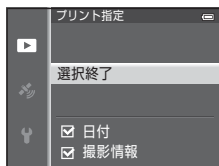
2 プリントする画像（最大99コマまで）と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- マルチセレクターの◀▶を押して画像を選び、▲▼を押してプリント枚数を設定します。
- プリントされる画像には、マークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T** (Q) 方向に操作すると1コマ表示に、**W** () 方向に操作すると6コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したら ボタンを押します。



3 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- **【日付】** を選んで **OK** ボタンを押すと、すべての画像に撮影日を印字します。
- **【撮影情報】** を選んで **OK** ボタンを押すと、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- **【選択終了】** を選んで **OK** ボタンを押し、設定を有効にします。
- プリント指定を行った画像は、再生時の画面で  が表示されます（[図12](#)）。



日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した**【日付】**と**【撮影情報】**は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター（[図27](#)）で印字できます。

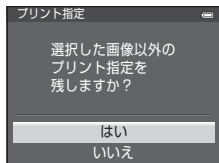
- 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOFプリント」（[図25](#)）するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント指定を行った後、再び**【プリント指定】**を表示すると、**【日付】**と**【撮影情報】**の設定はリセットされますのでご注意ください。
- プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの**【地域と日時】**を変更してもプリントされる日付には反映されません。



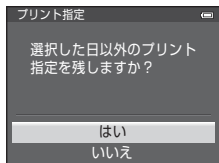
✔ 【プリント指定】 についてのご注意

お気に入り再生、オート分類再生または撮影日一覧モードでプリント指定するときに、選んだ分類または撮影日以外の画像がすでにプリント指定されていると、以下の画面が表示されます。

- ・【はい】を選ぶと、他の画像のプリント指定に今回の設定内容を追加します。
- ・【いいえ】を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。



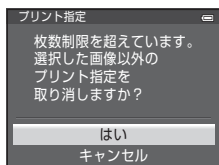
お気に入り再生または
オート分類再生モードのとき



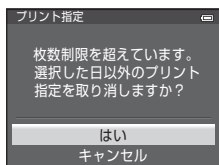
撮影日一覧モードのとき

また、今回の設定内容を追加することで設定コマ数が99コマを超える場合は、以下の画面が表示されます。

- ・【はい】を選ぶと、他の画像のプリント指定をすべて解除して、今回の設定だけを残します。
- ・【キャンセル】を選ぶと、他の画像のプリント指定を残して、今回の設定を取り消します。



お気に入り再生または
オート分類再生モードのとき



撮影日一覧モードのとき

🔗 プリント指定をすべて取り消すには

プリント指定の手順1 (🔗50) で【プリント指定取消】を選んでⓧボタンを押すと、すべての画像に対するプリント指定を取り消すことができます。

🔗 【デート写し込み】 について

セットアップメニューの【デート写し込み】 (🔗73) を使うと、撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。デート写し込みした画像は、【プリント指定】で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

スライドショー

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENU ボタン (□8) → スライドショー

内蔵メモリー / SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 マルチセクターで [開始] を選び、OK ボタンを押す

- [開始] を選ぶ前に以下を選んで OK ボタンを押すと、設定を変更できます。
 - [効果] : スライドショーの効果を [クラシック] (初期設定) または [ズーム] から選びます。
 - [BGM] : BGM の [ON] / [OFF] (初期設定) を選びます。
 - [インターバル設定] : [手動送り] または画像の表示時間を選びます。
- 繰り返し再生するには、[開始] を選ぶ前に [エンドレス] を選んで OK ボタンを押し、チェックボックスをオン [✓] にします。



2 スライドショーが始まる

- 再生中にマルチセクターの ▶ を押すと次の画像、◀ を押すと前の画像を表示します (ボタンを押し続けると早送り/早戻しになります)。
- [BGM] を設定している場合は、ズームレバーの T/W で音量を調節できます。
- 途中で終了または一時停止したいときは、OK ボタンを押します。



3 終了または再開する

- 最終コマの再生終了後や一時停止中は、右の画面になります。▶ を選び、OK ボタンを押すと手順 1に戻ります。▶ を選ぶとスライドショーを再開します。



✓ スライドショーについてのご注意

- 動画 (□81) は 1 フレーム目だけを表示します。
- 連写グループ (657) の表示方法が [代表画像のみ] の場合は、代表画像だけを表示します。
- かんたんパノラマで撮影した画像は、スライドショーでは 1 コマ表示になります。スクロール再生はできません。
- スライドショーを連続再生できる時間は、最大約 30 分です (678)。

プロテクト設定

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENUボタン (📖8) → プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように、画像にプロテクト(保護)を設定できます。

画像選択の画面で、画像を選んでプロテクトの設定または解除をします。→「画像選択画面の使い方」(📖71)

ただし、内蔵メモリー/SDカードを初期化(フォーマット、🔧79)すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

プロテクト設定した画像は、カメラでの再生時に🔒マーク(📖12)が表示されます。

画像回転

▶ ボタンを押す (再生モード) → MENUボタン (📖8) → 画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き(縦横位置)を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。

撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方に180度まで回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶと(📖71)、画像回転の画面が表示されます。マルチセクターの◀または▶を押すと90度回転します。



反時計方向に
90度回転



時計方向に
90度回転



Ⓚ ボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

🔍 画像回転についてのご注意

- 3D撮影で撮影した画像、または【情報合成画像】で編集した画像は、回転できません。
- 連写グループの画像を代表画像のみの表示にしているときは、画像回転はできません。1コマずつ展開して表示してから設定してください(🔧11、🔧57)。

音声メモ

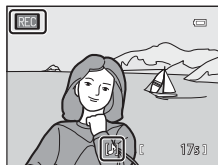
▶ ボタンを押す (再生モード) → 画像を選ぶ → MENU ボタン (📖8) → 音声メモ

撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。

- 音声メモが付いていない画像では録音画面になり、音声メモが付いた画像 (1コマ表示で🔍が表示されている画像) では音声メモの再生画面になります。

音声メモを録音する

- OK ボタンを押している間、約20秒まで音声メモを録音できます。
- 録音中はカメラのマイクに触れないようご注意ください。
- 録音中はRECと🔍が点滅します。
- 録音が終了すると、音声メモ再生画面になります。



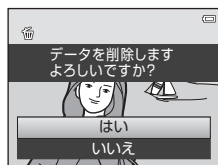
音声メモを再生する

- 再生するには、OK ボタンを押します。もう一度押すと、再生が止まります。
- 再生中は、ズームレバーT/Wで音量を調節できます。
- 再生前または再生終了後にマルチセクターの◀を押すと、再生メニューに戻ります。MENU ボタンを押すと、再生メニューを終了します。



音声メモを削除する

音声メモの再生画面で🗑️ ボタンを押します。マルチセクターの▲▼を押して [はい] を選び、OK ボタンを押すと、音声メモだけを削除します。



✓ 音声メモについてのご注意

- 音声メモが付いた画像を削除すると、その画像に付けた音声メモも削除されます。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。録音内容を変更するときは、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX AW110以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。
- [プロテクト設定] (🔍54) された画像の音声メモは削除できません。

📄 関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名 → 🔍94

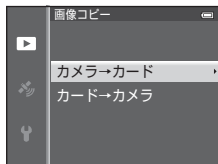
画像コピー（内蔵メモリーとSDカード間のコピー）

▶ ボタンを押す（再生モード）→ MENU ボタン (□8) → 画像コピー

内蔵メモリーからSDカードへ、またはSDカードから内蔵メモリーへ、画像や動画をコピーできます。

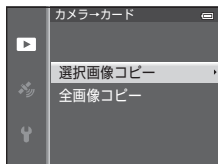
1 マルチセレクトでコピーする方向を選び、OK ボタンを押す

- ・ [カメラ→カード] : 内蔵メモリーからSDカードへコピーします。
- ・ [カード→カメラ] : SDカードから内蔵メモリーへコピーします。



2 コピーの方法を選び、OK ボタンを押す

- ・ [選択画像コピー] : 画像選択の画面 (□71) で、画像を選んでコピーします。代表画像のみで表示している連写グループ (●11) を選ぶと、表示中の連写グループの画像をすべてコピーします。
- ・ [全画像コピー] : すべての画像をコピーします。連写グループの画像を選んだときは、表示されません。
- ・ [表示グループコピー] : 再生メニューを表示する前に、連写グループの画像を選んでいると、表示されます。再生中の連写グループの画像をすべてコピーします。



✓ 画像コピーについてのご注意

- ・ コピーできるファイルの形式は、JPEG、MOV、WAV、MPO です。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- ・ 画像に付けた [音声メモ] (●55) や、[プロテクト設定] (●54) の設定も、画像と同時にコピーします。
- ・ 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- ・ [プリント指定] (●50) の設定内容や、お気に入り登録 (●5) の登録内容は、コピーされません。
- ・ 内蔵メモリーまたは SD カードからコピーした画像や動画は、オート分類再生モード (●8) では表示できません。
- ・ [連写グループ表示方法] (●57) を [代表画像のみ] に設定し、連写グループの画像を選んでOK ボタンを押して、1コマずつ展開して表示しているとき (●11) は、[カード→カメラ] 方向のみ画像コピーできます。

📎 【撮影画像がありません】のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、**【撮影画像がありません】**と表示されます。MENU ボタンを押して再生メニューの**【画像コピー】**を選ぶと、内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーできます。

📎 関連ページ

記録データのファイル名とフォルダー名 → 📎94

連写グループ表示方法

▶ ボタンを押す（再生モード） → MENU ボタン (📎8) → 連写グループ表示方法

連写した一連の画像（連写グループ、📎11）を再生モードの1コマ表示 (📎30) またはサムネイル表示 (📎66) で表示する方法を設定します。

設定内容は、すべての連写グループに反映され、電源をOFFにしても記憶されます。

項目	内容
1枚ずつ	連写した画像を、1コマずつに展開して表示します。
代表画像のみ（初期設定）	1コマずつに展開した連写グループを、代表画像のみの表示に戻します。

連写の代表画像選択



▶ ボタンを押す（再生モード） → 設定したい連写グループを選ぶ
→ MENU ボタン (📎8) → 連写の代表画像選択



【連写グループ表示方法】を**【代表画像のみ】**にしたときに、再生モードの1コマ表示 (📎30) やサムネイル表示 (📎66) で表示する代表画像を、連写グループごとに変更します。

- 設定するときはMENU ボタンを押す前に、1コマ表示またはサムネイル表示で、設定したい連写グループを選びます。
- 代表画像の選択画面が表示されたら、画像を選びます。→ 「画像選択画面の使い方」 (📎71)

GPS設定メニュー

GPS設定

MENU ボタンを押す →  (GPS設定) メニューアイコン (8) → GPS設定

項目	内容
位置情報記録機能	[ON] にすると、GPS衛星から電波を受信し、測位が始まります ( 82)。 • 初期設定は [OFF] です。
A-GPSファイル更新	SDカードを使ってA-GPS (アシストGPS) ファイルを更新します。最新のA-GPSファイルを使うと、位置情報を測位するまでの時間を短くできます。 • A-GPS ファイルの更新方法 →  59
GPS情報消去	画像に記録された位置情報やPOI情報を消去します。 • 削除した位置情報や POI 情報は元に戻せません。

GPS情報消去についてのご注意

このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。

A-GPSファイルの更新方法

下記のホームページから最新のA-GPSファイルをダウンロードして、更新してください。

<http://nikonimglib.com/agps3/>

- COOLPIX AW110用のA-GPSファイルは、上記ホームページ以外では、入手できません。
- A-GPS ファイルを更新するときは、[位置情報記録機能] を [OFF] にしてください。[ON] に設定されていると、更新できません。

- 1 ホームページから最新のA-GPSファイルをパソコンにダウンロードする
- 2 ダウンロードしたファイルをカードリーダーなどを使って、SD カードの「NCFL」フォルダーにコピーする
 - 「NCFL」フォルダーはSDカードの直下にあります。SDカード内に「NCFL」フォルダーがない場合は、フォルダーを新規作成してください。
- 3 ファイルをコピーしたSDカードをカメラに入れる
- 4 カメラの電源を入れる
- 5 MENU ボタンを押してGPS設定メニューを表示し、マルチセレクターで [GPS 設定] を選ぶ
- 6 [A-GPSファイル更新] を選び、ファイルを更新する
 - ファイルの更新終了まで、約2分かかります。

A-GPSファイル更新についてのご注意

- A-GPSファイルは、ご購入後はじめての測位では無効です。2回目の測位から有効になります。
- A-GPS ファイルの有効期限は、更新画面で確認できます。有効期限が切れている場合は、有効期限がグレーで表示されます。
- A-GPSファイルの有効期限が切れている場合は、位置情報の測位は早くなりません。A-GPSファイルはGPSを使う前に更新することをおすすめします。

距離単位

MENU ボタンを押す →  (GPS設定) メニューアイコン (📖8) → 距離単位

地図表示の距離単位を [km(m)] (キロメートル、メートル) (初期設定) または [mi(yd)] (マイル、ヤード) から選べます。

距離計算

▶ ボタンを押す (再生モード) → 地図を表示する (85) → MENU ボタン
→ (GPS設定) メニューアイコン (8) → 距離計算

現在地から画像の撮影場所、または画像と画像の撮影場所間の直線距離を計算します。

1 マルチセクターで距離計算する対象を選び、OK ボタンを押す

- ・ [現在地⇄画像] : 現在地と画像の撮影場所の距離を計算します。現在地の確認が始まります。手順3に進みます。
- ・ [画像⇄画像] : 画像と画像の撮影場所間の距離を計算します。



2 ◀▶ を押して起点となる画像を選び、OK ボタンを押す

- ・ 地図の縮尺を調節するには、ズームレバー (W) (8) / T (9) を操作します。



3 ◀▶ を押して終点となる画像を選ぶ

- ・ 画像を選ぶごとに、画面に距離が表示されます。
- ・ OK ボタンを押すと、距離計算を終了します。



距離


☑ 距離計算についてのご注意

- ・ 画像に位置情報が記録されていない場合は、距離計算はできません。
- ・ [現在地⇄画像] で距離計算をするには、GPS 設定メニュー [GPS 設定] の [位置情報記録機能] が [ON] で測位できている必要があります。

POI設定（地名情報を記録、表示する）

MENU ボタンを押す → （GPS設定）メニューアイコン（8） → POI設定



POI（Point of interest、地名情報）に関する設定をします。

項目	内容
POI記録	<p>[ON] にすると、撮影する画像に地名情報を記録します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定は [OFF] です。 地名情報は、静止画にも、動画にも記録できます。
POI表示設定	<p>[ON] にすると、撮影画面や再生画面に地名情報を表示します（10、12）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生画面では、[POI 記録] を [ON] にして撮影した画像に、撮影時の地名情報を表示します。 初期設定は [OFF] です。
POI表示レベル設定	<p>地名情報の表示レベルを設定します。高レベルを選ぶほど、地域情報が詳細になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> レベル1：国名を表示します。 レベル2～5：表示内容は、国によって異なります。 レベル6：ランドマーク名（施設名）を表示します。
POI情報編集	<p>再生モード時に [POI変更] を選ぶと、画像に記録された地名情報を変更できます。MENU ボタンを押す前に、編集したい画像を選んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> レベル6 を選んでいるときに、マルチセクターの ◀▶ を押すと、ランドマーク名を変更できます。 マルチセクターの ▲▼ を押すと、POI 情報のレベルを変更できます。 <p>[POI削除] を選ぶと、画像に記録されている地名情報を削除します。</p>

POI表示について

- 設定した表示レベルに地名情報がない場合は、「---」と表示されます。
- 地名情報（POI）機能は、中国と大韓民国で販売する COOLPIX AW110 には搭載していません。

ログ取得（移動情報のログを記録する）

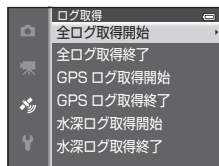
MENU ボタンを押す → （GPS設定）メニューアイコン（8） → ログ取得

ログ取得を開始すると、設定した時間が経過するまで、[ログ取得間隔] で設定した間隔で測位した移動情報を記録します。

- ログデータは、取得しただけでは使いません。ログ取得を終了して、SDカードに保存します。

1 マルチセクターで取得開始するログを選び、 ボタンを押す

- 取得するログは以下から選べます。
 - [全ログ取得開始]：位置情報、高度情報、水深情報のログを取得します。
 - [GPS ログ取得開始]：位置情報のログを取得します。
 - [水深ログ取得開始]：水深情報のログを取得します。




2 ログ取得する間隔を選び、 を押す

- 取得するログによって、設定できるログ取得間隔は異なります。

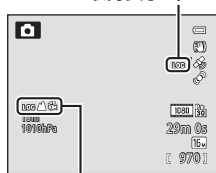


3 ログ取得する時間を選び、 ボタンを押す

- ログの取得が始まります。
- ログデータは、設定した時間が過ぎるまで [ログ取得間隔] で設定した時間毎に記録されます。
- [水深ログ取得開始] の場合、ログ取得する時間は選べません。1時間に固定されます。
- ログ取得中は、画面に  が表示されます。

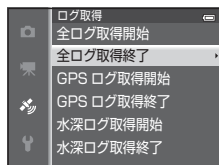


ログ取得表示（GPS）



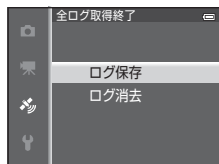
ログ取得表示（高度/水深）

- 4 ログの取得が終わったら、マルチセクターでGPS設定メニューの[ログ取得]から手順1で選んだログのログ取得終了を選び、**OK** ボタンを押す



- 5 [ログ保存] を選び、**OK** ボタンを押す

- ・ SDカードにログデータを保存します。



✓ ログ取得についてのご注意

- ・ 日時が設定されていない場合は、ログ取得はできません。
- ・ ログ取得時間内に電源が切れないよう、十分に残量のあるバッテリーをお使いください。バッテリー残量がなくなると、ログ取得が終了します。高度ログ、または水深ログ取得中は、バッテリーを特に早く消耗しますので、バッテリーの残量にご注意ください。
- ・ ログ取得時間内でも、以下の操作をすると、ログ取得が終了します。
 - バッテリーを取り外す
 - GPSログ記録時、[GPS設定] → [位置情報記録機能] を [OFF] にする
 - セットアップメニューの [設定クリア] をする
 - 内蔵時計の設定 (地域や日時) を変更する
- ・ 以下の操作中は、ログ取得が一時中断されます。
 - 連写撮影中
 - 動画撮影中
 - USBケーブルまたはHDMIケーブル接続中
- ・ カメラの電源をOFFにしても、ログ取得時間が残っている場合は、設定した時間が過ぎるまでログ取得します。
- ・ ログデータは一時的にカメラに記録されます。カメラにログデータが残っていると、新しくログ取得ができません。ログ取得後は、SDカードにログデータを保存してください。
- ・ SDカードに保存したログデータについて → 095

✍ ログデータを消去するには

- ・ カメラに一時的に記録されたログデータを消去するには、手順5で [ログ消去] を選びます。
- ・ SDカードに保存されたログデータを削除するには、[ログデータ表示] (064) で **OK** ボタンを押します。

ログデータ表示

MENU ボタンを押す → (GPS設定) メニューアイコン (☰8) → ログデータ表示

[ログ取得] (📶62) でSDカードに保存したログデータを確認または削除します。

1 マルチセクターで表示したいログを選び、OK ボタンを押す

- ・ [GPSログ] : 位置情報のログを表示します。
- ・ [高度/水深ログ] : 高度情報または水深情報のログを表示します。



2 マルチセクターで表示したいログデータを選び、OK ボタンを押す

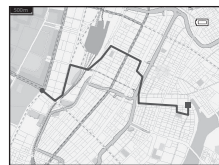
- ・ 高度ログデータには▲が、水深ログデータには📶が表示されます。
- ・ SDカードに保存したログデータについて → 📶95
- ・ ログデータを削除するには → 📶65



3 移動した軌跡を確認する

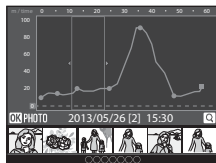
[GPSログ] の場合

- ・ 地図上に軌跡が表示されます。
- ・ 地図の縮尺を調節するには、ズームレバー (W (📶) / T (Q)) を操作します。
- ・ 地図表示を移動するには、マルチセクターの ▲▼◀▶ を押します。
- ・ 🗑️ ボタンを押すと、表示しているログデータを消去できます。
- ・ OK ボタンを押すと、手順2の画面に戻ります。



【高度/水深ログ】の場合

- 高度情報または水深情報のグラフが表示されます。
- ズームレバーを **T** (Q) 方向に操作すると、グラフを拡大表示できます。**W** (☒) 方向に操作すると、グラフ全体を表示します。
- グラフ表示を移動するには、マルチセクターの◀▶を押します。
- **OK** ボタンを押すと、他の画像を選べます。
 - マルチセクターの◀▶を押して、画像を選びます。
 - ズームレバーを **T** (Q) 方向に操作すると、画像を拡大表示できます。**W** (☒) 方向に操作すると、グラフ表示に戻ります。
- **ESC** ボタンを押すと、表示しているログデータを消去できます。
- **MENU** ボタンを押すと、手順2の画面に戻ります。

**ログデータを削除するには**

手順2で **ESC** ボタンを押し、以下のどちらかを選びます。

- **【選択したログデータ】**：選んでいるログデータを削除します。
- **【すべてのログデータ】**：SD カードに記録されているログデータをすべて削除します。

📎 GPSログデータについて

NMEAフォーマットに準拠しています。ただし、すべてのソフトウェアやカメラでの表示を保証するものではありません。

日時合わせ

MENU ボタンを押す → **GPS** (GPS設定) メニューアイコン (☑8) → 日時合わせ


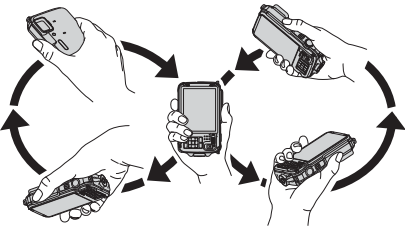
GPS衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します (GPS設定メニュー **【GPS設定】** の **【位置情報記録機能】** が **【ON】** のときのみ)。測位状態を確認してから、日時合わせをしてください。

✔ 日時合わせについてのご注意

- **【日時合わせ】** は、セットアップメニューの **【地域と日時】** (☑22、📶69) で設定したタイムゾーンに合わせて日時を設定します。**【日時合わせ】** をする前にタイムゾーンの設定をご確認ください。
- **【日時合わせ】** で設定した日時は、電波時計ほどには正確ではありません。**【日時合わせ】** で時刻が合わないときは、セットアップメニューの **【地域と日時】** で設定してください。

電子コンパス設定


MENU ボタンを押す → 設定 (GPS設定) メニューアイコン (📖8) → 電子コンパス設定




項目	内容
コンパス表示	<p>[ON] にすると、撮影画面にコンパス（方位計）を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期設定は [OFF] です。 計測した方位情報をもとに、カメラを向けた方位を表示します。 コンパス表示は、モニターを上に向けると円型（方位磁石）の表示に切り換わり、赤い指針が北を指します。 <ul style="list-style-type: none"> - 表示方法：北、東、南、西 - 表示範囲：16方位 再生メニューの [情報合成画像] で画像に電子コンパスの表示を写し込みできます (📖18)。
コンパス補正	<p>コンパスの方位が正しく表示されないときに、コンパスの補正をします。</p> <p>右の画面が表示しているときに、カメラが前後、左右、上下を向くように手首を回しながら、8の字を書くように振ってください。</p> <div data-bbox="686 641 933 823" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>コンパス補正</p> <p>カメラを8の字に振ってください</p>  </div> 

✔ 電子コンパスについてのご注意

- ・カメラのレンズが上を向いているときは、電子コンパスは表示されません。
- ・このカメラの電子コンパスを登山などの専門的な用途に使用しないでください。表示される内容はあくまでも目安です。
- ・以下のような物の近くでは、方位を正確に計測できないことがあります。
磁石、金属、電動機、家庭電化製品、送電線など
- ・以下のような場所では、方位を正確に計測できないことがあります。
自動車、電車、船舶、航空機、建物や地下街などの中
- ・GPSの位置情報を取得できないと、方位を正確に計測できないことがあります。

高度/水深設定

MENU ボタンを押す →  (GPS設定) メニューアイコン (□8) → 高度/水深設定

項目	内容
高度計/水深計表示	<p>[ON] (初期設定) : 撮影画面に高度計または水深計が表示されます。</p> <p>[OFF] : 高度計または水深計は、表示されません。</p>
高度/水深補正	<p>高度または水深の補正を行います。</p> <p>[GPS情報で補正] : GPSを使って高度を補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度が表示された確認画面で [はい] を選び  ボタンを押すと、表示されている値で高度が補正されます。 ・水中では、補正できません。 <p>[手動補正] : 高度または水深を入力して補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチセクターの ▲▼ で数値を変更、◀▶ で入力する桁数を変更します。 ・一番右の数値にカーソルがあるときに  ボタンを押すと、数値を決定します。 <p>[補正解除] : [GPS情報で補正] または [手動補正] で設定した補正を解除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補正解除画面で [はい] を選び  ボタンを押すと、補正が解除されます。
高度/水深単位	<p>高度/水深表示の距離単位を「m (メートル)」(初期設定) または「ft (フィート)」に設定します。</p>


詳細編

✔ 高度/水深設定についてのご注意




[高度/水深補正] の [GPS情報で補正] で補正するには、GPS設定メニュー [GPS設定] の [位置情報記録機能] が [ON] で、4つ以上の衛星から受信して測位できている必要があります (□84)。

セットアップメニュー

オープニング画面

MENU ボタンを押す → メニューアイコン (□8) → オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに、モニター画面にオープニング画面を表示するかどうかを設定します。

項目	内容
なし (初期設定)	オープニング画面を表示しないで、撮影または再生画面を表示します。
COOLPIX	オープニング画面を表示してから、撮影または再生画面を表示します。
撮影した画像	撮影した画像をオープニング画面として表示します。画像選択の画面が表示されたら画像を選び (□71)、  ボタンを押して登録します。 <ul style="list-style-type: none">登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。以下の画像は、登録できません。<ul style="list-style-type: none">- スモールピクチャー () やトリミング () で作成した画像サイズ 320 × 240 以下の画像- かんたんパノラマで撮影した画像- 3D 撮影で撮影した画像

地域と日時

MENU ボタンを押す → ヲメニューアイコン (☰8) → 地域と日時

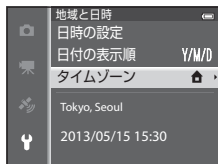
項目	内容
日時の設定	<p>内蔵時計の日付と時刻を設定します。表示される設定画面で、マルチセレクターを使って設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 項目を選ぶ：▶ または ◀ を押しします ([年]、[月]、[日]、[時]、[分] に切り換わります)。 項目の内容を合わせる：▲ または ▼ を押しします。 設定を完了する：[分] を選び、OK ボタンまたは ▶ を押しします。
日付の表示順	<p>日付の表示順を、[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] から選べます。</p>
タイムゾーン	<p>自宅 (🏠) のタイムゾーン (地域) や夏時間 (サマータイム) を設定します。</p> <p>また、訪問先 (📍) のタイムゾーンを登録すると、自宅 (🏠) との時差を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。</p>



時差のある地域で使うには

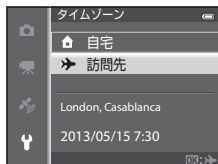
- 1** マルチセレクターで [タイムゾーン] を選び、**OK** ボタンを押す

・ [タイムゾーン] 画面が表示されます。



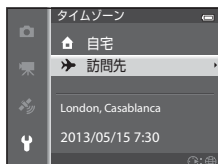
- 2** ➔ [訪問先] を選び、**OK** ボタンを押す

・ 訪問先の時計に切り換わります。



- 3** ▶を押す

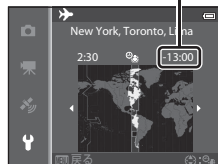
・ 地域の設定画面が表示されます。



- 4** ◀または▶を押して訪問先の地域（タイムゾーン）を選ぶ

- ・ 自宅と訪問先の時差が表示されます。
- ・ 夏時間（サマータイム）を実施している地域では、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部に☀️マークが表示され、時計が1時間進みます。オフにするには、▼を押します。
- ・ 選択できない時差は、正しい時刻を [日時の設定] で設定してください。
- ・ **OK** ボタンを押して、訪問先を決定します。
- ・ 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面に🕒マークが表示されます。

時差



📎 自宅（自宅）の設定について

- ・ 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で🏠 [自宅] を選び、**OK** ボタンを押してください。
- ・ 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で🏠 [自宅] を選び、➔ [訪問先] と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

モニター設定

MENU ボタンを押す → Y メニューアイコン () → モニター設定

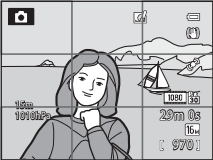
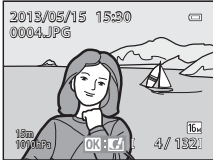
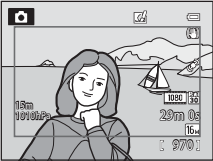
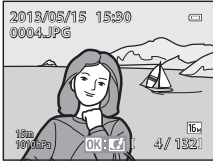
項目	内容
モニター表示設定	撮影、再生時の画面に表示される情報について設定します。
撮影後の画像表示	[ON] (初期設定) : 撮影直後に、撮影した画像を表示してから撮影画面に戻ります。 [OFF] : 撮影直後に、撮影した画像を表示しません。
画面の明るさ	画面の明るさを5段階で調節できます。初期設定は [3] です。

【モニター表示設定】について

画面に情報を表示するかどうかを設定します。

モニター画面の表示内容 → 10

	撮影時	再生時
情報ON		
情報オート (初期設定)	【情報ON】と同じ情報を表示した後、操作しない状態が数秒経過すると【情報OFF】と同じ表示になります。操作すると、再び情報を表示します。	
情報OFF		

	撮影時	再生時
格子線+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、構図を決める際の参考となる格子線を表示します。 動画撮影中は表示しません。</p>	 <p>【情報オート】と同じです。</p>
動画枠+ 情報オート	 <p>【情報オート】の表示内容に加えて、動画撮影開始前に動画撮影範囲の枠を画面に表示します。</p>	 <p>【情報オート】と同じです。</p>

デート写し込み（日付を画像に入れる）

MENU ボタンを押す → メニューアイコン (□8) → デート写し込み

撮影時に日時を画像に写し込んで記録できます。日付の印字 (📷51) に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。



項目	内容
DATE 年・月・日	画像に日付を写し込みます。
DATE 📷 年・月・日・時刻	画像に日付と時刻を写し込みます。
OFF OFF (初期設定)	日付、時刻のどちらも写し込みません。

[OFF] 以外のときは、撮影時の画面にアイコンが表示されます (□10)。


✔ デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 以下の場合は日時を写し込みません。
 - シーンモードが [スポーツ]、[夜景ポートレート] ([手持ち撮影] 時)、[夜景] ([手持ち撮影] 時)、[ミュージアム]、[逆光] ([HDR] が [ON] 時)、[かんたんパノラマ]、[ペット] ([連写] 時) または [3D 撮影] のとき
 - [連写] (📷33) の設定が [連写H]、[連写L]、[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] または [BSS] のとき
 - 動画撮影のとき
- 他のメニュー設定と組み合わせると使えない機能があります。→「組み合わせると使えない機能」(□60)
- [画像モード] (📷29) が **VGA** [640×480] の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像モードは **2M** [1600×1200] 以上に設定してください。
- 年月日の並びは、[地域と日時] (□22、📷69) での設定と同じになります。



📎 「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、[デート写し込み] で日時を写し込んでいない画像でも、[プリント指定] (📷50) で撮影日や撮影情報をプリントするように設定できます。

手ブレ補正

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン (□□8) → 手ブレ補正

静止画および動画を撮影するときの手ブレ補正を設定します。望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時に起こりがちな手ブレを補正します。

項目	内容
 ON (ハイブリッド)	<p>レンズシフト方式で静止画撮影時の手ブレを光学的に補正し、さらに、以下の条件がそろると、画像処理による電子式手ブレ補正を加えて記録します。</p> <ul style="list-style-type: none"> シャッタースピードが 1/30 秒 (広角側)、1/60 秒 (望遠側) より低速 フラッシュが発光なし [連写] の設定が [単写] セルフタイマーが OFF
 ON (初期設定)	<p>レンズシフト方式で手ブレを補正します。また、流し撮りでは、カメラが流し撮りの方向を自動的に検出し、手ブレによる揺れのみを補正します。</p> <p>たとえば、横方向に流し撮りするときには縦方向の手ブレだけが、縦方向に流し撮りするときには横方向の手ブレだけが補正されます。</p>
OFF OFF	手ブレ補正をしません。


[OFF] 以外のときは、撮影時の画面にアイコンが表示されます (□□10)。

- 三脚などでカメラを固定して静止画を撮影するときには、手ブレ補正を [OFF] にしてください。




手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をONにした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、モニター画面の画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正の原理上、撮影直後にモニター画面の画像がずれて見えることがあります。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- ブレが極端に小さいときや大きいときは、[ON (ハイブリッド)] に設定しても電子式手ブレ補正で画像補正できないことがあります。
- シャッタースピードが速いとき、または極端に遅いときは、[ON (ハイブリッド)] に設定しても電子式手ブレ補正は作動しません。
- [ON (ハイブリッド)] で電子式手ブレ補正が作動するときには、撮影すると自動的にシャッターを2回きって画像補正をするため、通常よりも画像の記録に時間がかかります。[シャッター音] (🔊77) が鳴るのは1回目のみです。記録する画像は1コマです。

モーション検知

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン (□□8) → モーション検知

静止画を撮影するときに被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。

項目	内容
 オート (初期設定)	<p>カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度を上げてシャッタースピードを速くします。</p> <p>ただし、以下の場合はモーション検知は作動しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フラッシュ発光時 • 以下のシーンモードのとき <ul style="list-style-type: none"> - [スポーツ] - [夜景ポートレート] - [トワイライト] - [夜景] - [ミュージアム] - [打ち上げ花火] - [逆光] - [かんたんパノラマ] - [ペット] - [3D 撮影] - [水中] • [連写] () が [先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、[マルチ連写] のとき • [ISO 感度設定] () が [オート] 以外のとき
OFF OFF	モーション検知をしません。

[オート] のときは、撮影時の画面にアイコンが表示されます (□□10)。カメラがブレを検知してシャッタースピードを速くしたときは、モーション検知表示は緑色に変わります。

モーション検知についてのご注意

- モーション検知を設定しても、撮影状況によっては手ブレや被写体ブレを完全に軽減できないことがあります。
- 極端にブレているときや暗すぎるときは、モーション検知が作動しないことがあります。
- 撮影した画像が多少ざらつくことがあります。
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」(□□60)

AF補助光

MENU ボタンを押す → メニューアイコン (□8) → AF補助光

暗い場所などでオートフォーカスによるピント合わせを補助するAF補助光の点灯/非点灯を設定します。

項目	内容
オート (初期設定)	暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約3.0 m、望遠側で約3.0 mです。 ・ [オート] に設定していても、AF エリアの位置や、[ミュージアム] (□38)、[ペット] (□41) などのシーンモードによっては点灯しない場合があります。
OFF	AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがあります。

電子ズーム

MENU ボタンを押す → メニューアイコン (□8) → 電子ズーム


電子ズームの動作を設定します。

項目	内容
ON (初期設定)	光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを T (Q) 方向に操作すると、電子ズーム (□27) が作動します。
OFF	電子ズームは作動しません。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。
- 以下の撮影モードでは、電子ズームは使えません。
 - シーンモードが [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[夜景]、[逆光] のHDRが [ON]、[かんたんパノラマ]、[ペット]、[3D撮影]、[水中] のとき
 - ベストフェイスモードのとき
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」(□60)

操作音

MENU ボタンを押す → メニューアイコン (□8) → 操作音


操作音について設定します。

項目	内容
設定音	以下の音の [ON] (初期設定) / [OFF] をまとめて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定音 (電子音 1 回: 設定完了時など) 合焦音 (電子音 2 回: ピントが合ったとき) 警告音 (電子音 3 回: 禁止動作を行ったときなど) 電源 ON 時のオープニング音
シャッター音	シャッターをきったときのシャッター音の [ON] (初期設定) / [OFF] を設定します。

操作音についてのご注意

- シーンモードの [ペット] では、[ON] に設定しても、設定音およびシャッター音は鳴りません。
- 動画撮影のときは、[ON] に設定しても、シャッター音は鳴りません。
- 他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→ 「組み合わせて使えない機能」(□60)

アクション操作の感度



MENU ボタンを押す → メニューアイコン (□8) → アクション操作の感度

カメラを振って操作 (アクション操作) (□7) するときの感度を設定します。
[高] では、小さな振りでも操作できます。[低] では、大きな振りで操作します。初期設定は [中] です。

アクション操作の感度についてのご注意

アクション操作の [クイック再生] または再生モードの1コマ表示中の画像選択操作の感度は固定です。

アクション画像送り



MENU ボタンを押す →  アイコン ( 8) → アクション画像送り


項目	内容
ON (初期設定)	再生モードの1コマ表示中にカメラを振って画像を選べます。
OFF	カメラを振っても画像は選べません。

アクション画像送りについてのご注意

[アクション画像送り] が [ON] のときは、カメラの向きを回転させても、画像は自動的に回転しません。

オートパワーオフ

MENU ボタンを押す →  アイコン ( 8) → オートパワーオフ

電源をONにしたまま、カメラを操作しない状態が続くと、節電のためにモニターが消灯して待機状態になります ( 21)。


このメニューでは、待機状態になるまでの時間を設定します。

[30 秒]、[1 分] (初期設定)、[5 分]、[30 分] から選べます。

オートパワーオフの設定について

- 以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。
 - メニュー表示中：3分 (オートパワーオフを [30 秒] または [1 分] に設定した場合)
 - スライドショー再生中：最大30分
 - ACアダプター EH-62F接続中：30分
- Eye-Fiカードを使用した画像の転送中は、待機状態になりません。

メモリー / カードの初期化 (フォーマット)

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン (📖8)
→ メモリーの初期化/カードの初期化

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化 (フォーマット) します。

初期化すると、内蔵メモリーまたはSDカード内のデータはすべて削除されます。削除したデータは元に戻せません。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出してください。セットアップメニューの項目に [メモリーの初期化] が表示されます。


SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に [カードの初期化] が表示されます。

初期化についてのご注意


- 内蔵メモリー/SDカードを初期化すると、お気に入りフォルダーのアイコン設定 (📷7) は初期設定 (数字アイコン) に戻ります。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

言語/Language

MENU ボタンを押す →  メニューアイコン (📖8) → 言語/Language

画面に表示する言語を、日本語 (初期設定) または英語に設定します。

TV出力設定

MENU ボタンを押す → メニューアイコン (008) → TV出力設定

テレビとの接続に必要な設定を行います。

項目	内容
ビデオ出力	アナログビデオ出力の方式を [NTSC] と [PAL] から選べます。お使いのテレビに合わせて設定してください。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。
HDMI	HDMI出力時の画像の解像度を [オート] (初期設定)、[480p]、[720p] または [1080i] から選べます。[オート] にすると、接続するテレビに対応した解像度を [480p]、[720p] または [1080i] から自動で選んで出力します。
HDMI 機器制御	HDMI-CEC 規格対応テレビにHDMIケーブルで接続したときに、テレビからの信号を受信するかどうかを設定します。[ON] (初期設定) にすると、テレビのリモコンを使って再生中の操作ができます。 → 「テレビのリモコンを使う (HDMI 機器制御)」 (0021)
HDMI 3D出力	撮影した3D画像のHDMI機器への出力方法を設定します。3D (立体) で再生するには、[ON] (初期設定) にします。

目つぶり検出設定

MENU ボタンを押す → Yメニューアイコン (□8) → 目つぶり検出設定

以下の撮影モードで顔認識撮影 (□62) したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。

- (らくらくオート撮影) モード
- 以下のシーンモードのとき
 - [ポートレート] (□35)
 - [夜景ポートレート] ([三脚撮影] 時) (□36)
- (オート撮影) モード ([AFエリア選択] が [顔認識オート]) (○37) のとき

項目	内容
ON	顔認識して撮影した直後に、被写体の人物が目を閉じて写っている可能性があるときカメラが検出したときは、モニター画面に [目つぶり確認] 画面を表示します。目を閉じて写っている可能性のある人物の顔が黄色い枠で囲まれます。撮影した画像を見て、撮り直すかどうかを確認できます。
OFF (初期設定)	目つぶり検出をしません。

目つぶり確認画面の操作方法

- 目つぶり検出した顔を拡大表示するには、ズームレバーを **T** (Q) 方向に操作します。1コマ表示に戻るには、**W** (□) 方向に操作します。
- 複数の人物の目つぶりを検出した場合、拡大表示中に ◀ ▶ を押すと、拡大表示する顔が切り換わります。
- ボタンを押すと、画像を削除します。
- 撮影画面に戻るには、 ボタンまたはシャッターボタンを押します。
- 何も操作しないまま数秒経過すると、自動的に撮影画面に戻ります。



目つぶり検出設定についてのご注意

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。→「組み合わせて使えない機能」(□60)

Wi-Fi設定

MENU ボタンを押す → Yメニューアイコン (□8) → Wi-Fi設定

カメラとスマートデバイスを接続するためのWi-Fi（無線LAN）ネットワーク情報を設定します。

項目	内容
Wi-Fi接続設定	カメラとスマートデバイスを無線接続するときは、 [Wi-Fi接続設定] を [ON] にします。初期設定は [OFF] です。→ [Wi-Fi（無線LAN）を使う] (□91)
SSID	SSIDを任意に変更できます。ここで設定したSSIDが、スマートデバイスに表示されます。英数字の1～24桁で設定します。
認証/暗号	スマートデバイスと接続するときに、通信信号を暗号化するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [OPEN]（初期設定）のときは、暗号化しません。
パスワード	パスワードを設定します。英数字の8～16桁で設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [認証 / 暗号] が [OPEN] のときは、パスワードは設定できません。
チャンネル	無線接続で使用するチャンネルを変更します。 他の機器や無線局との電波干渉で接続しにくいときは、チャンネル番号の変更をお試しください。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 初期設定は [255.255.255.0] です。通常は初期設定でお使いください。
DHCPサーバー IP アドレス	DHCPサーバー IPアドレスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 初期設定は [192.168.0.10] です。通常は初期設定でお使いください。
現在の設定	現在の設定を一覧表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • [認証 / 暗号] が [OPEN] の場合は、パスワードが空欄で表示されます。
工場出荷時設定	Wi-Fiの設定を初期設定に戻します。

文字入力画面の操作方法

[SSID]、[パスワード] の文字入力

- マルチセクターの▲▼◀▶を押して、キーボードの英数字を選択します。OK ボタンを押すと、選択した英数字が文字列に追加されカーソルが次の桁に移動します。
- 文字列のカーソル位置を移動するには、キーボードの←または→を選んでOK ボタンを押します。
- 1文字削除するには、⌫ ボタンを押します。
- 設定を確定するには、キーボードの↵を選んでOK ボタンを押します。



[チャンネル]、[サブネットマスク]、[DHCPサーバーIPアドレス] の文字入力

- マルチセクターの▲▼を押して、数値を設定します。▶またはOK ボタンを押すと、次の桁に移動します。◀を押すと、前の桁に戻ります。
- 設定を確定するには、一番最後の桁を選んでOK ボタンを押します。






✔ Wi-Fi接続設定についてのご注意

以下の場合、[Wi-Fi接続設定] は選べません。

- HDMIケーブル、USBケーブルまたはオーディオビデオケーブルをカメラに接続しているとき
- カメラにSDカードを挿入していないとき
- カメラにEye-Fiカードを挿入しているとき
- モニターのバッテリー残量表示が🔋のとき

Eye-Fi送信機能

MENU ボタンを押す → メニューアイコン (📖8) → Eye-Fi送信機能





項目	内容
 有効 (初期設定)	Eye-Fiカード挿入時、カメラで作成した画像を、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
 無効	画像を送信しません。

Eye-Fiカード使用時のご注意


- 電波の状態が悪い場合、**【有効】** に設定していても送信できないことがあります。
- 電波の出力が禁止されている場所では、**Eye-Fiカード**はカメラから取り出してください。設定を**【無効】**にしただけでは、電波が発信されることがあります。
- **Eye-Fiカード**の使用方法は**Eye-Fiカード**の使用説明書をご覧ください。**Eye-Fiカード**に関する不具合や質問は、カードメーカーにお問い合わせください。
- このカメラには**Eye-Fiカード**の通信機能をON/OFFする機能がありますが、**Eye-Fiカード**の全ての機能を保証するものではありません。
- エンドレスメモリー機能には対応していません。パソコンで設定をしている場合は、OFFにしてください。エンドレスメモリー機能を設定していると、撮影した画像枚数表示が正常に表示されなくなることがあります。
- **Eye-Fiカード**の送信機能の使用は、ご購入された国でのみ使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。
- **【有効】** にしていると、バッテリーの消耗は通常より早くなります。

Eye-Fiカード使用時の表示について

カメラ内の**Eye-Fiカード**の通信状態は、画面で確認できます (📖10)。

- : **【Eye-Fi送信機能】** が**【無効】** に設定されています。
-  (点灯): 画像の送信を待っています。
-  (点滅): 画像の送信中です。
- : エラーが発生しました。**Eye-Fiカード**をコントロールできません。

設定クリアー

MENU ボタンを押す → メニューアイコン (□8) → 設定クリアー

[はい] を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード (□50)	自動発光
セルフタイマー (□52)	OFF
マクロモード (□53)	OFF
露出補正 (□54)	0.0

シーンモード

項目	初期設定
シーンメニュー (□34)	ポートレート
夜景ポートレートの撮影方法 (□36)	手持ち撮影
夜景の撮影方法 (□37)	手持ち撮影
料理モードの色合い (□38)	中央
逆光のHDR (□39)	OFF
かんたんパノラマ (□40)	標準 (180°)
ペット (□41)	ペット自動シャッター：ON 連写：連写


スペシャルエフェクトメニュー

項目	初期設定
スペシャルエフェクト (□44)	ソフト

ベストフェイスメニュー

項目	初期設定
美肌効果 (⦿42)	標準
笑顔自動シャッター (⦿42)	ON
目つぶり軽減 (⦿43)	OFF

撮影メニュー

項目	初期設定
画像モード (⦿29)	 4608 × 3456
ホワイトバランス (⦿31)	オート
連写 (⦿33)	単写
ISO感度設定 (⦿36)	オート

項目	初期設定
設定音 (🔊77)	ON
シャッター音 (🔊77)	ON
アクション操作の感度 (🔊77)	中
アクション画像送り (🔊78)	ON
オートパワーオフ (🔊78)	1分
HDMI (🔊80)	オート
HDMI 機器制御 (🔊80)	ON
HDMI 3D出力 (🔊80)	ON
目つぶり検出設定 (🔊81)	OFF
Wi-Fi接続設定 (🔊82)	OFF
SSID (🔊82)	NikonAW110xxxxxxxxx (シリアル番号8桁)
認証/暗号 (🔊82)	OPEN
パスワード (🔊82)	NikonCoolpix
チャンネル (🔊82)	6
サブネットマスク (🔊82)	255.255.255.0
DHCPサーバー IPアドレス (🔊82)	192.168.0.10
Eye-Fi送信機能 (🔊84)	有効

その他

項目	初期設定
用紙設定 (🔊23、🔊24)	プリンターの設定
スライドショー (🔊53)	効果：クラシック BGM：OFF インターバル設定：3秒
連写グループ表示方法 (🔊57)	代表画像のみ

- ・ [設定クリア] を行うと、ファイル番号の連番 (🔊94) もクリアされます。クリア後に撮影した画像には、内蔵メモリー/SDカード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。内蔵メモリー/SDカード内の画像をすべて削除 (🔊31) してから、[設定クリア] をすると、次に撮影する画像の連番は「0001」から始まります。
- ・ 以下の項目は、[設定クリア] を行っても初期設定には戻りません。
 - 撮影メニュー：[ホワイトバランス] のプリセットマニュアルデータ (🔊32)
 - 再生メニュー：[お気に入り登録] の内容 (🔊5)、[連写の代表画像選択] (🔊57)
 - セットアップメニュー：[地域と日時] (🔊69)、[言語/Language] (🔊79)、[TV出力設定] の [ビデオ出力] (🔊80)
 - お気に入りフォルダーのアイコンと色 (🔊7)

バージョン情報





MENU ボタンを押す → Y メニューアイコン (📖8) → バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。



警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	考えられる原因や対処法	
 (点滅)	カメラの時計が設定されていません。 日付と時刻を設定してください。	 69
電池残量がありません	バッテリーの残量がありません。 バッテリーを充電または交換してください。	14、16
電池が高温です。 電源をOFFにします	バッテリーの温度が高温になっています。 電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。このメッセージが出ると5秒後にモニターが消灯し、電源ランプが高速点滅を開始します。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできません。	21
カメラが高温です。 電源をOFFにします	カメラの内部が高温になっています。自動的にカメラの電源がOFFになります。 カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。	—
 (赤色点滅)	ピントを合わせることができません。 ・ピントを合わせ直してください。 ・フォーカスロック撮影をお試しください。	28 63
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。 記録が終了して警告表示が消えるまでお待ちください。	—
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。 「Lock」を解除してください。	—
Eye-Fiカードは書き込み禁止の状態では使用できません。	Eye-Fiカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。 「Lock」を解除してください。	—
	Eye-Fiカードへのアクセス異常です。 ・カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 ・カードが正しく挿入されているか確認してください。	18 18
このカードは使えません	SDカードへのアクセス異常です。 ・動作確認済みのカードを使ってください。 ・カードの端子部分が汚れていないか確認してください。	19 18
カードに異常があります	・カードが正しく挿入されているか確認してください。	18

詳細編

表示	考えられる原因や対処法	📖
このカードは初期化されていません。初期化しますか？ はい いいえ	SDカードが、このカメラ用に初期化されていません。初期化するとカード内のデータはすべて削除されるため、カード内に必要なデータが残っているときは、 【いいえ】 を選び、初期化する前にパソコンなどに保存してください。 【はい】 を選んで OK ボタンを押すと、SDカードを初期化できます。	18
メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。 <ul style="list-style-type: none"> 画像モードを変更してください。 不要な画像、動画を削除してください。 SDカードを交換してください。 SDカードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。 	🔗29 31、81 18 19
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。 内蔵メモリー /SDカードを初期化してください。	🔗79
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。 SDカードを交換するか、内蔵メモリー /SDカードを初期化してください。	18、 🔗79
	オープニング画面に登録できない画像です。	🔗68
	画像コピー先の容量不足です。 コピー先の不要な画像を削除してください。	31
これ以上、お気に入り登録できません	すでに 200 コマの画像がお気に入りフォルダーに登録されています。 <ul style="list-style-type: none"> 画像のお気に入り登録を解除してください。 別のお気に入りフォルダーに登録してください。 	🔗6 🔗5
目つぶり検出した画像を記録しました	記録した画像に目を閉じた人がいるかもしれません。 画像を再生して確認してください。	🔗43
パノラマ撮影に失敗しました	かんたんパノラマ撮影ができませんでした。 以下の場合、かんたんパノラマ撮影ができないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> 一定時間経っても撮影が終わらないとき カメラを動かす速度が速すぎるとき パノラマ方向に対してまっすぐになっていないとき 	🔗2
パノラマ撮影に失敗しました まっすぐに動かしてください		
パノラマ撮影に失敗しました ゆっくりと動かしてください		
撮影に失敗しました	3D撮影で、1コマ目の撮影ができませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> 撮影をやり直してください。 被写体が動く、暗い、コントラストが低いなど、撮影条件によっては撮影できないことがあります。 	42 —

表示	考えられる原因や対処法	📖
2枚目の撮影に失敗しました	3D画像の撮影で、1コマ撮影後に2コマ目の撮影ができませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> • 撮影をやり直してください。1 コマ目の撮影後は被写体がガイドに合うようにカメラを水平移動してください。 • 被写体が動く、暗い、コントラストが低いなど、撮影条件によっては 2 コマ目を撮影できないことがあります。 	42 —
3D画像の保存に失敗しました	3D 画像が記録できませんでした。 <ul style="list-style-type: none"> • 撮影をやり直してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 被写体が動く、暗い、コントラストが低いなど、撮影条件によっては、3D 画像を作成できず、画像を保存できないことがあります。 	42 31 —
音声を登録できません	音声メモを付けられない画像ファイルです。 <ul style="list-style-type: none"> • 動画には音声メモを付けられません。 • このカメラで撮影した画像を選んでください。 	— 🔊55
この画像は編集できません	編集できない画像を画像編集しようとしてしました。 <ul style="list-style-type: none"> • 編集可能な条件を確認してください。 • 動画は画像編集できません。 	🔊14 —
動画記録できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	19
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。 <ul style="list-style-type: none"> • 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SD カードをカメラから取り出してください。 • 内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーするときは、MENU ボタンを押して再生メニューの [画像コピー] を選んでください。 	18 🔊56
このファイルは表示できません	COOLPIX AW110以外で作成されたファイルです。このカメラでは再生できません。	—
このデータは再生できません	ファイルを作成または編集したパソコンなどで再生してください。	—
表示できる画像がありません	スライドショーで表示できる画像がありません。	—
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。プロテクトを解除してください。	🔊54
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	—

警告メッセージ

表示	考えられる原因や対処法	📖
レンズエラー	レンズの作動不良です。 電源を入れ直してください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	21
通信エラー	プリンターとの通信中にエラーが発生しました。 カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	🔊22
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。 電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	21
ピントが合いません レンズを初期化中です	ピントが合いません。 自動復帰するまでお待ちください。	—
GPS情報の取得に失敗しました	時計合わせが正しく行われませんでした。 お使いになる場所や時間を変えて、もう一度測位してください。	—
カード内にA-GPS ファイルが見つかりません	SDカードに更新可能なA-GPSファイルがありません。 以下のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • SDカードが入っているか • SDカード内にA-GPSファイルが入っているか • SDカード内のA-GPSファイルがカメラ内のA-GPSファイルより新しいか • 有効期限が切れていないか 	—
更新に失敗しました	A-GPSファイルの更新ができませんでした。 A-GPSファイルが壊れている可能性があります。ホームページからダウンロードし直してください。	88、 🔊59
現在地が確認できません	距離計算時に現在地の測位ができませんでした。 お使いになる場所や時間を変えて、もう一度測位してください。	—
詳細編 カードに保存できません	SDカードが挿入されていません。 SDカードを挿入してください。	18
	1日に記録できるログデータの件数を超えています。 <ul style="list-style-type: none"> • GPSログ：1日に36件まで • 高度ログ、水深ログ：それぞれ1日に34件まで 	—
	1枚のSDカードに保存できるログデータの件数を超えています。 <ul style="list-style-type: none"> • GPSログ：最大で100件まで • 高度ログ、水深ログ：合わせて最大で100件まで 新しいSDカードに交換するか、不要なログデータをSDカードから削除してください。	🔊64

表示	考えられる原因や対処法	📖
電子コンパスの補正に失敗しました	電子コンパスの補正が正しくできませんでした。 屋外で、カメラが前後、左右、上下を向くように手首を回しながら、8の字を書くように振ってください。	🔊66
カードが取り出されました。 Wi-Fiの接続設定がOFFになります。	カメラとスマートデバイスを無線接続中に、スマートデバイスの記憶媒体またはカメラのSDカードが取り出されました。無線接続が解除されます。記憶媒体またはSDカードを挿入して、接続をやり直してください。	92
アクセスありませんでした	スマートデバイスからの通信信号を受信できません。スマートデバイスで、カメラと無線接続する操作を行ってください。	92
接続できませんでした	スマートデバイスからの通信信号を受信中、接続に失敗しました。セットアップメニュー [Wi-Fi設定] で [チャンネル] を別の番号に変更し、無線接続の操作をやり直してください。	92、 🔊82
プリンターエラー： プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。 プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、 [継続] を選んで🔊ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙を確認してください	指定したサイズ用の紙がセットされていません。 指定したサイズ用の紙をセットした後、 [継続] を選んで🔊ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 紙詰まりです	用紙が詰まりました。 詰まった用紙を取り除いた後、 [継続] を選んで🔊ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： 用紙がありません	用紙がセットされていません。 指定したサイズ用の紙をセットした後、 [継続] を選んで🔊ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクを確認してください	インクに異常があります。 インクを確認した後、 [継続] を選んで🔊ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： インクがありません	インクがなくなりました。 インクを交換した後、 [継続] を選んで🔊ボタンを押し、プリントを再開してください。*	—
プリンターエラー： ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。 [キャンセル] を選んで🔊ボタンを押し、プリントを中止してください。	—

* プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

記録データのファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声メモには、以下のようにファイル名が付けられます。

ファイル名: **DSCN0001.JPG**

① ② ③

① 識別子	カメラの画面には表示されません。	
	DSCN	編集していない静止画、動画
	SSCN	スモールピクチャー画像
	RSCN	トリミング画像
② ファイル番号	0001から9999までの連番で付けられます。 ・ 9999 に達すると、フォルダーを作成して 0001 に戻ります。	
	③ 拡張子	
③ 拡張子	ファイルの種類を示します。	
	.JPG	JPEG静止画
	.MOV	動画
	.WAV	音声メモ ・ 識別子とファイル番号は、音声メモを付けた画像と同じ
	.MPO	3D画像

※  (オート撮影) モードのクイックエフェクト (📖48) を含む

フォルダー名: **100NIKON**

① ②

① フォルダー番号	100から999までの連番で付けられます。 ・ 以下のときは、新しいフォルダーが作成されます。 - フォルダー内のファイル数が 200 に達したとき - フォルダー内のファイル番号が 9999 に達したとき
	② フォルダー名

▼ ご注意

- 内蔵メモリーとSDカードの間で記録データをコピーする場合 (P.56)、ファイル名は以下のようになります。
 - 「選択画像コピー」:
使用中のフォルダー (または次回の撮影で使われるフォルダー) に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号+1」から連番で付けられます。
 - 「全画像コピー」:
データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号+1」から連番で付けられます。ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が999のときにファイル数が200個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化 (P.79) してください。

✍ SDカードに保存したログデータについて

ログデータはSDカードの「NCFL」フォルダーに保存されます。

ファイル名: N130515 0 .log

① ② ③

① 日付	ログ取得開始した日付 (西暦の下二桁と月日: YYMMDD) が付けられます。	
② 識別番号	同じ日付のログデータを取得順で管理するために、0から順に付けられます。 ・ GPS ログ: 0 ~ 9、A ~ Z の合計 36 文字 ・ 高度/水深ログ: 0 ~ 9、A ~ H、J ~ N、P ~ Z の合計 34 文字	
③ 拡張子	ファイルの種類を示します。	
	.log	GPSログ
	.lga	高度ログ
	.lgb	水深ログ

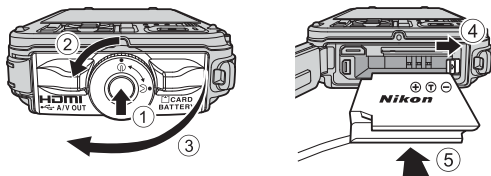
- GPSログ: 1日に36ファイル、1枚のSDカードに100ファイルまで記録できます。
- 高度ログ/水深ログ: 1日に各34ファイル、1枚のSDカードに計100ファイルまで記録できます。

別売アクセサリー

ACアダプター

ACアダプター EH-62F※

<EH-62Fの取り付け方>



ACアダプターのコードをACアダプターの溝に奥まで入れてからバッテリー室に入れてください。

- ACアダプターの使用中はバッテリー/SDカードカバーを閉められないため、ACアダプターのコードを引っ張らないようにご注意ください。

コードが引っ張られると電源の接続状態が不良になり、電源がOFFしてしまいます。

※ 日本国内専用電源コード（AC 100 V 対応）付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）<http://shop.nikon-image.com/>でもお求めいただけます。

COOLPIX AW110に使用できる別売アクセサリーの最新情報は、最新のカタログや当社ホームページなどでご確認ください。

アクセサリーは、防水仕様ではありません。



付録、索引

取り扱い上のご注意	☀:2
カメラについて.....	☀:2
バッテリーについて.....	☀:4
バッテリーチャージャーについて.....	☀:5
メモリーカードについて.....	☀:6
お手入れ方法	☀:7
クリーニングについて.....	☀:7
保管について.....	☀:8
故障かな？と思ったら	☀:9
地図・地名情報データ使用許諾契約書	☀:18
主な仕様	☀:23
このカメラの準拠規格.....	☀:27
索引	☀:30
アフターサービスについて	☀:35

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□□vi～viii)や「<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露、GPSについて」(□□xii～xviii)をお守りください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 内部を水で濡らさないでください

COOLPIX AW110は、JIS/IEC保護等級 8 (IPX8) 相当の防水機能を備えていますが、カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

海辺や水中で使った後は、バッテリー/SDカードカバーをしっかりと閉じていることを確認し、浅い容器に溜めた真水の中で10分以内で浸け置きしてください。

水中でのご使用後は、60分以上放置しないでください。防水性能の劣化の原因になります。

● 浸水の防止について

カメラの内部が水に濡れると、故障の原因となり、修理不能となります。浸水（水没）事故を防ぐために、以下の注意を守ってご使用ください。

- ・ バッテリー/SDカードカバーを密閉するときは、防水パッキンと防水パッキンに接する部分に、ストラップや髪の毛、繊維、ほこりや砂粒などの異物や汚れが付着していないかお確かめください。また、防水パッキンが外れたりしていないかもお確かめください。
- ・ バッテリー/SDカードカバーの開閉は、水しぶきのかかる場所や、風の当たる場所、ほこりや砂の多い場所でしないでください。
- ・ カメラに外部から力を加えると、変形して気密性を失い、浸水の原因となります。重いものを載せたり、落としたり、強く押ししたりしないでください。
- ・ 万一、カメラ内部へ浸水した場合は、ただちに使用を中止し、カメラの水分を拭き取り、大至急ニコンサービス機関にお持ちください。

● 衝撃・振動について

落としたり、岩など硬いものにぶつけたり、水面に投げたりしないでください。また、振動のある場所に置かないでください。衝撃を加えると、故障や破損の原因になります。

● 最大深度などについて

COOLPIX AW110は水深18 m以内での水圧に、約60分間耐えうる設計です。18 mを超える水深では、カメラ内部の浸水などが起こり、故障の原因となるおそれがあります。

● 寒冷地での使用について

- ・このカメラは、 -10°C での動作確認をしています。寒冷地で、雪や水滴が付着したまま放置すると、ズームレバーや電源スイッチなどのすき間に入った雪や水滴が凍り、カメラの各部が動きにくくなる場合がありますので、ご注意ください。
- ・ $-10^{\circ}\text{C}\sim 0^{\circ}\text{C}$ では、一時的にバッテリーの性能（撮影可能コマ数、撮影可能時間）が低下します。
- ・寒冷地などで本機が冷えきっていると、電源をONにした直後はモニターが通常よりも少し暗かったり、残像が出たりするなど、一時的に性能が低下する場合があります。
- ・寒冷地や標高の高い山では、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。

● 急激な温度変化を与えないでください

- ・温度差が極端な場所（寒いところから急に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。
- ・水中に入れる前に、砂浜や直射日光が当たる場所など温度の高い場所に放置しないでください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● バッテリーやACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● モニター画面について

- ・モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- ・有機ELモニターの特性上、同じ表示を長時間続けたり、くり返したりすると焼き付きが発生し、部分的に明るさが落ちたり、色ムラが現れたりすることがあります。また、長期間使い続けると焼き付きが戻らなくなることがあります。モニターの焼き付きは、記録される画像には影響はありません。焼き付きを抑えるには、モニターの明るさを必要以上に上げたままにしたり、同じ表示を極端に長く続けたりしないようおすすめします。
- ・屋外ではモニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- ・モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。

バッテリーについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□ix~x)をお守りください。

● 使用上のご注意

- ・ 使用後のバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- ・ 周囲の温度が -10°C ~ $+40^{\circ}\text{C}$ の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- ・ 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- ・ カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりません。

- ・ バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。
- ・ カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。

バッテリーの温度が 0°C 以下、 60°C 以上のときは、充電をしません。

バッテリーの温度が 0°C ~ 10°C 、 45°C ~ 60°C のときは、充電できる容量が減ることがあります。

- ・ 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- ・ 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影環境に応じて、予備バッテリーをご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーも用意する

バッテリーは一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかったバッテリーも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなったバッテリーは充電する

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- ・バッテリーを使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- ・バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- ・バッテリーは、付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

バッテリーを十分に充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて



充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

数字の有無と数値は電池によって異なります。

バッテリーチャージャーについて

- ・お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□x～xi)をお守りください。
- ・付属のバッテリーチャージャーは、ニコンLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL12 以外には使えません。
- ・このバッテリーチャージャーは、家庭用電源のAC 100～240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめの上、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- ・メモリーカードは、SDカード以外は使えません。
推奨メモリーカード → □□19
- ・お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ・ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- ・SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- ・他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- ・SDカードを初期化すると、カード内のデータはすべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- ・SDカードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか？」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、**[いいえ]**を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、**[はい]**を選んで **OK** ボタンを押してください。
- ・初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
 - バッテリー /SDカードカバーを開けて、カードやバッテリーを脱着する
 - カメラの電源を OFFにする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の有機溶剤や化学洗剤、防錆剤、曇り止めは使わないでください。

レンズ

- ・ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。
- ・ゴミやホコリはブローアード吹き払ってください。ブローアード落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。
- ・強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。
- ・汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

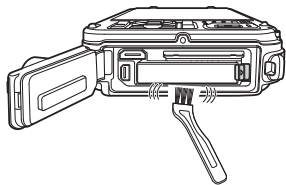
モニター

- ・ゴミやホコリはブローアード吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。
- ・強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ・ゴミやホコリはブローアード吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- ・バッテリー /SD カードカバー内側の防水パッキンに異物が付着しているときは付属のブラシで取り除いてください。
- ・水中や海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
- ・日焼け止めが付着した手でカメラを使うと、カメラ外装の劣化の原因になることがあります。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。



カメラのお手入れについて

「防水/防じん性能について」(□□xii)、「水中で使用後のクリーニング」(□□xv) もお読みください。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。


カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所









バッテリーの保管は、「取り扱い上のご注意」の「バッテリーについて」の「●保管について」(p.5)をお守りください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

- ・ 警告メッセージを確認するには →  89

電源・表示・設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
電源 ON の状態で、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。 ・ 操作できない状態が続くときは、電源を OFF にする操作をしてください。電源が OFF にならない場合は、バッテリーを入れ直してください。 AC アダプター使用時は付け直してください。 - 記録中であったデータは保存されません。 - 保存済みのデータはバッテリーや AC アダプターの取り外しでは失われません。 	<p>—</p> <p>21</p>
電源をONにできない	バッテリー残量がありません。	20
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリー残量がありません。 ・ 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 ・ カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 ・ 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。 	<p>20</p> <p>21</p> <p>—</p> <p> 4</p>
モニターに何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源が入っていません。 ・ バッテリー残量がありません。 ・ 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、 ボタン、 ボタン、または  (●) (★ 動画撮影) ボタンを押してください。 ・ フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 ・ カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されています。 ・ カメラとテレビが AV ケーブルまたは HDMI ケーブルで接続されています。 ・ カメラとスマートデバイスを Wi-Fi 接続して、カメラをリモート操作中です。 	<p>21</p> <p>20</p> <p>21</p> <p>50</p> <p>72、75</p> <p>72、 20</p> <p>91</p>
モニター画面がよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニター画面の明るさを調整してください。 ・ モニター画面が汚れています。 	<p>94、 71</p> <p> 7</p>

故障かな？と思ったら

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影日時が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2013/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー [地域と日時] で日時を正しく設定してください。 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	22、94、 🔧69 94、 🔧69
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報OFF] になっています。	🔧71
[デート写し込み] が選べない	セットアップメニュー [地域と日時] が設定されていません。	22、94、 🔧69
[デート写し込み] を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> 日付を写し込めない撮影モードになっています。 デート写し込みが制限される他の機能の設定がされています。 動画には写し込みできません。 	94、 🔧73 60 —
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される 設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	23
モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできません。	21
カメラの温度が高くなる	動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	79

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。	72、75、 🔌20、 🔌22
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> 再生モードになっているときは、📷 ボタン、シャッターボタン、または🔴(🔴 動画撮影) ボタンを押してください。 メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 バッテリー残量がありません。 フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。 カメラとスマートデバイスを Wi-Fi 接続して、カメラをリモート操作中です。 	30 8 20 50 91
3D画像を撮影できない	被写体が動く、暗い、コントラストが低いなど、撮影条件によっては、2コマ目を撮影できないことや、撮影した画像を保存できないことがあります。	—
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> 被写体との距離が近すぎます。マクロモード、📷 (らくらくオート撮影) モード、またはシーンモードの [クローズアップ] での撮影をお試しください。 オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 セットアップメニュー [AF 補助光] を [オート] にしてください。 シャッターボタンを半押ししたときに、被写体が AF エリア内に入っていません。 電源を入れ直してください。 	33、38、 53 64 95、 🔌76 28、58 21
撮影時の画面に色の着いた縞模様が発生する	同じパターンを繰り返す被写体 (窓のブラインドなど) に色の着いた縞模様 (干渉縞、モアレ) が現れることがありますが、故障ではありません。 記録される画像、動画にこの現象は残りません。ただし、[高速連写 120 fps]、[HS 240/8 倍]、[HS 480/4 倍] では、記録される画像、動画にこの現象が残ることがあります。	—
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュを使ってください。 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 BSS (ベストショットセレクター) を使ってください。 三脚などでカメラを安定させてください (セルフタイマーを併用すると、より効果的です)。 	50 95 58 52
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が入り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを🔴 (発光禁止) にしてください。	51
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> フラッシュモードが🔴 (発光禁止) になっています。 フラッシュが発光しない撮影モードです。 フラッシュが制限される他の機能の設定がされています。 	51 55 60

故障かな？と思ったら

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> ・ セットアップメニュー [電子ズーム] が [OFF] になっています。 ・ 以下の撮影モードでは、電子ズームは使えません。 <ul style="list-style-type: none"> - シーンモードが [ポートレート]、[夜景ポートレート]、[夜景]、[逆光] の [HDR] が [ON]、[かんたんパノラマ]、[ペット]、[3D 撮影]、[水中] のとき - ベストフェイスモードのとき ・ 電子ズームが制限される他の機能の設定がされています。 	95 35、36、37、39、40、41、42、43、45、60
[画像モード] が選べない	<ul style="list-style-type: none"> ・ [画像モード] が制限される他の機能の設定がされています。 ・ シーンモードが [かんたんパノラマ] または [3D 撮影] のときは、画像サイズが固定されます。 	60 40、42
シャッター音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ セットアップメニュー [操作音] の [シャッター音] が [OFF] になっています。 ・ シーンモードが [スポーツ]、[ミュージアム] または [ペット] になっています。 ・ シャッター音が制限される他の機能の設定がされています。 ・ スピーカーをふさがないでください。 	95 35、38、41、60、2
AF 補助光が点灯しない	<p>セットアップメニュー [AF 補助光] が [OFF] になっています。[オート] に設定していても、AF エリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。</p>	95
画像が鮮明でない	<p>レンズが汚れています。</p>	🔍7
画像の色合いが不自然になる	<p>適切なホワイトバランスが選ばれていません。</p>	58、🔍31
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	<p>逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様（ゴースト）などが写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。</p>	—
画像がざらつく	<p>被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO 感度が高くなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュを使ってください。 ・ 低い ISO 感度にしてください。 	50 58、🔍36
画像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュモードが 🔍 (発光禁止) になっています。 ・ フラッシュが指などでさえぎられています。 ・ 被写体にフラッシュの光が届いていません。 ・ 露出を補正してください。 ・ ISO 感度を上げてください。 <p>・ 逆光で撮影しています。シーンモードの [逆光] の HDR を [OFF] にするか、フラッシュモードを 🔍 (強制発光) にしてください。</p>	51 26 50 54 58、🔍36 39、50

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	54
赤目以外の部分が補正された	👁️ (赤目軽減自動発光) やシーンモードの [夜景ポートレート] の赤目軽減強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。 [夜景ポートレート] 以外の撮影モードで、フラッシュモードを👁️ (赤目軽減自動発光) 以外にして撮影してください。	36、50
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニューの [メイクアップ効果] をお試しください。 	46 69、 👁️17
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノイズ低減機能が作動したとき フラッシュを👁️ (赤目軽減自動発光) にして撮影したとき 以下のシーンモードで撮影したとき <ul style="list-style-type: none"> - [夜景ポートレート] の [手持ち撮影] - [夜景] の [手持ち撮影] - [逆光] の [HDR] が [ON] - [かんたんパノラマ] 撮影メニュー [連写] が [先取り撮影]、[高速連写 120 fps] または [高速連写 60 fps] のとき 笑顔自動シャッターで撮影したとき 	— 51 36 37 39 40 58、 👁️33 59
[連写] の設定ができない、または使えない	[連写] が制限される他の機能の設定がされています。	60

再生関連







こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 COOLPIX AW110 以外で撮影した動画は再生できません。 	— 81
連写グループが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> COOLPIX AW110 以外で連写した画像は、連写グループとして再生できません。 【連写グループ表示方法】の設定を確認してください。 	— 69、 🔍57
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画や情報合成画像、スモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。 COOLPIX AW110 以外で撮影した画像は、拡大表示できないことがあります。 カメラを HDMI 接続して、3D 画像を 3D (立体) で再生しているときは、拡大表示できません。 	— — 42
音声メモの録音や再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画には音声メモを付けられません。 COOLPIX AW110 以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。 	81 69
画像や動画を編集できない	<ul style="list-style-type: none"> 画像や動画の編集が可能な条件を確認してください。 COOLPIX AW110 以外で撮影した画像や動画は編集できません。 	70、 🔍14、 🔍27 —
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [TV 出力設定] の [ビデオ出力] または [HDMI] が正しく設定されていません。 パソコンまたはプリンターと USB ケーブルで接続しているときは、HDMI 出力できません。 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときはSDカードを取り出してください。 	96、 🔍80 72 18
お気に入りフォルダーのアイコン設定が初期設定に戻っていたり、お気に入り登録した画像がお気に入り再生モードで再生できない	内蔵メモリー /SDカード内のデータがパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。	—

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影した画像がオート分類再生モードで再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 表示したい画像が、参照している項目とは別の項目に分類されています。 COOLPIX AW110 以外で撮影した画像または[画像コピー]でコピーした画像は、オート分類再生モードで表示できません。 内蔵メモリー/SD カード内の画像がパソコンで書き換えられると、表示できないことがあります。 1 つの分類項目で表示できるのは、999 コマまでです。すでに999 コマ登録されている場合は、それ以降に撮影した画像は登録されません。 	67、 🔍8 🔍9 — 🔍9
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> カメラの電源が OFF になっています。 バッテリー残量がありません。 USBケーブルが正しく接続されていません。 パソコンにカメラが正しく認識されていません。 対応 OS を確認してください。 Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご参照ください。 	21 20 72 — 73 76
プリントする画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。 3D 撮影した画像はプリントできません。 	18 19 42
カメラ側で用紙設定ができない	<p>PictBridge 対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	23、 24 —


故障かな？と思ったら

GPS関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
測位できない、測位に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> 撮影する環境によって、測位できないことがあります。GPSを使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。 はじめて測位したときや、測位できない状態が約2時間経過したときは、測位情報を取得するまで数分かかります。 	83 83
撮影した画像に位置情報が記録されない	撮影時の画面に📍や📷が表示されているときは位置情報が記録されません。撮影前にGPS受信状態を確認してください。	84
撮影した場所と記録した位置情報に誤差がある	撮影する環境によって、測位に誤差が生じることがあります。GPS衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。	83
記録された地名情報が意図したものとは違う、または表示されない	希望のランドマーク名が登録されていなかったり、ランドマーク名が異なる場合があります。	-
A-GPSファイルが更新できない	<ul style="list-style-type: none"> 以下のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> - SDカードが入っているか - SDカード内にA-GPSファイルが入っているか - SDカード内のA-GPSファイルがカメラ内のA-GPSファイルより新しいか - 有効期限が切れていないか A-GPSファイルが壊れている可能性があります。ホームページからダウンロードし直してください。 	- 88、 📖59
高度計/水深計を非表示にできない	GPS設定メニュー [高度/水深設定] の [高度計/水深計表示] が [ON] 時は、セットアップメニュー [モニター表示設定] の設定に関わらず、高度計/水深計が表示されます。高度計/水深計を非表示にするには、[高度計/水深計表示] を [OFF] にしてください。	90、 📖67
撮影画面で、高度表示/水深表示と気圧表示が表示されたままになっている	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] を [情報OFF] に設定してください。	94、 📖71

こんなときは	考えられる原因や対処法	
<p>[高度計/水深計表示] が [ON] 時でも、高度計/水深計が表示されない</p>	<p>[高度計/水深計表示] が [ON] 時でも、以下の場合は高度計/水深計は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> シャッターボタンを半押ししているとき シーンモード [かんたんパノラマ] で撮影中 動画撮影中 [AF エリア選択] の [ターゲット追従] で被写体が登録されているとき メッセージが表示されているとき 	<p>—</p> <p>40</p> <p>77</p> <p>58、39</p> <p>—</p>
<p>水深が0 mと表示される</p>	<p>シーンモードが [水中] 時に、カメラが水中にないときは水深は0 mと表示されます。</p>	<p>43</p>
<p>GPS設定メニュー [高度/水深補正] の [GPS情報で補正] が選べない</p>	<ul style="list-style-type: none"> GPS 設定メニューの [位置情報記録機能] が [OFF] になっています。 4 つ以上の衛星から受信して測位できていないと、選べません。 カメラが水中にあります。水中では選べません。 	<p>82</p> <p>84</p> <p>—</p>
<p>GPS設定メニューの [ログ取得] が選べない</p>	<p>カメラの時計が設定されていません。日付と時刻を設定してください。</p>	<p>94、69</p>
<p>[全ログ取得開始] や [GPS ログ取得開始] が選べない</p>	<ul style="list-style-type: none"> GPS 設定メニューの [位置情報記録機能] が [OFF] になっています。 ログ取得中です。新しくログを取得するときは、[全ログ取得終了] または [GPS ログ取得終了] を選び、取得中のログを終了してください。 	<p>82</p> <p>89、62</p>
<p>ログデータを保存できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> SD カードが入っているか確認してください。 記録できるログデータの数は、GPS ログが1日に36件まで、高度ログ、水深ログがそれぞれ1日に34件までです。 1枚のSDカードに保存できるログデータは、GPS ログが最大100件まで、高度/水深ログが合わせて最大100件までの、合計200件までです。不要なログデータをSDカードから削除するか、新しいSDカードに交換してください。 	<p>—</p> <p>—</p> <p>63、64</p>

Wi-Fi関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	
<p>スマートデバイスにカメラのSSID (ネットワーク名) が表示されない</p>	<p>カメラの [Wi-Fi接続設定] が [ON] になっていることを確認してください。 スマートデバイスのWi-Fi機能をOFFにしてからONにし直してみてください。</p>	<p>92</p>

地図・地名情報データ使用許諾契約書

COOLPIX AW110（以下「本製品」という）に搭載されている地図データ及び地名情報データ（以下「本データ」という）は、次の条件で、ご使用頂けます。

データ使用許諾契約書

1. 個人使用限定

株式会社ニコン（以下「ニコン」という）又はニコンのライセンサーは、本データの著作権及びお客様への使用許諾に必要な一切の諸権利を保有しています。ニコンは、お客様に対して、本データについて、使用許諾を与えられた個人的かつ非商用の目的のためにのみ、本製品及び本製品で撮影された画像データと共に使用する権利を許諾します。本データは、使用権を許諾されるものであり、販売されるものではありません。

2. 禁止事項

お客様は、次に記載する行為を行ってはなりません。

- (1) サービス業務、タイムシェアリング、又はこれらに類する目的で使用する
こと。
- (2) インストール若しくは接続された、又は車両と通信する製品、システム若しくはアプリケーションで、車両のナビゲーション、測位、配車、リアルタイムの経路誘導、フリート管理若しくはこれらに類する機能があるものと本データを併用すること。
- (3) 測位装置、又はモバイルやワイヤレス接続の電子装置やコンピュータ装置と併用すること、若しくはこれらの装置との通信に使用すること。対象装置には、携帯電話、パームトップコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、ポケットベル、携帯情報端末（PDA）が含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- (4) 本データ使用許諾契約により許諾された範囲を超えて、本データの全部又は一部を媒体の如何を問わず複製すること。
- (5) 本データを変更、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブル等すること。
- (6) 法律で認められている場合を除き、本データを販売、譲渡、頒布もしくは再使用許諾等すること、又はネットワーク上にアップロードすること。
- (7) 本データ及びこれに関連する物を直接又は間接に輸出すること。
- (8) その他、本データ使用許諾契約により許諾されている以外のことを行うこと。

3. 警告

時間の経過、状況の変化、使用した情報源、包括的な地理データの収集という性質などは、いずれも不正確な情報の原因になる可能性があるため、本データには不正確又は不完全な情報が含まれているおそれがあります。

4. 著作権及びその他の知的財産権

本データは、日本国著作権法、その他の国の著作権法及び国際条約の規定により保護されています。お客様は、本データに含まれる著作権表示、商標又はその他の保護表示を除去してはなりません。

5. 免責

ニコン及びニコンのライセンサーは、お客様の本データの使用に関連して生じるお客様ご自身又は第三者の損害、その他の問題について、一切の責任を負いません。但し、法律に当該免責を認めない旨の定めのある場合はこの限りではありません。ニコン及びニコンのライセンサーは、本データの内容を随時変更する権利を留保します。

6. その他

本データ使用許諾契約は、日本国の法律に基づいて解釈されるものとします。本データ使用許諾契約に関する一切の紛争の管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

Government End Users.

If the Data supplied by NAVTEQ is being acquired by or on behalf of the United States government or any other entity seeking or applying rights similar to those customarily claimed by the United States government, the Data is a "commercial item" as that term is defined at 48 C.F.R. ("FAR") 2.101, is licensed in accordance with the End-User Terms under which this Data was provided, and each instruction manual accompanying the Client device containing a copy of the Data delivered or otherwise furnished shall be marked and embedded as appropriate with the following "Notice of Use," and shall be treated in accordance with such Notice:

Notice of Use

Contractor (Manufacturer/ Supplier) Name: NAVTEQ
 Contractor (Manufacturer/Supplier) Address:
 c/o Nokia 425 West Randolph Street, Chicago,
 Illinois 60606

This Data is a commercial item as defined in FAR 2.101
 and is subject to the End-User Terms under which this
 Data was provided.

©2012 NAVTEQ - All rights reserved.

If the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official refuses to use the legend provided herein, the Contracting Officer, federal government agency, or any federal official must notify NAVTEQ prior to seeking additional or alternative rights in the Data.

許諾ソフトウェアの権利者に関する表示

●地図・地名情報データについて



本サービスは株式会社ゼンリンの地図データおよびPOI（位置情報）を使用しています。“ゼンリン”は株式会社ゼンリンの登録商標です。

© 2012 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用した。

（承認番号 平23情使、第192－786号）

標高データ

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。

（承認番号 平24情使、第322号）

●日本以外の地図・地名情報データについて



© 1993-2012 NAVTEQ. All rights reserved.
NAVTEQ Maps is a trademark of NAVTEQ.

Austria	© Bundesamt für Eich- und Vermessungswesen
Croatia Cyprus Estonia Latvia Lithuania Moldova Poland Slovenia Ukraine	© EuroGeographics
France	source: © IGN 2009 – BD TOPO ®
Germany	“Die Grundlagendaten wurden mit Genehmigung der zuständigen Behörden entnommen”
Great Britain	Contains Ordnance Survey data © Crown copyright and database right 2010 Contains Royal Mail data © Royal Mail copyright and database right 2010

Greece	Copyright Geomatics Ltd.
Hungary	Copyright © 2003; Top-Map Ltd.
Italy	La Banca Dati Italiana è stata prodotta usando quale riferimento anche cartografia numerica ed al tratto prodotta e fornita dalla Regione Toscana.
Norway	Copyright © 2000; Norwegian Mapping Authority
Portugal	Source: IgeoE – Portugal
Spain	Información geográfica propiedad del CNIG
Sweden	Based upon electronic data © National Land Survey Sweden.
Switzerland	Topografische Grundlage: ©Bundesamt für Landestopographie
Canada	This data includes information taken with permission from Canadian authorities, including © Her Majesty, © Queen's Printer for Ontario, © Canada Post, GeoBase®, © Department of Natural Resources Canada. All rights reserved.
Mexico	Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía.)
United States	© United States Postal Service® 2012. Prices are not established, controlled or approved by the United States Postal Service®. The following trademarks and registrations are owned by the USPS: United States Postal Service, USPS, and ZIP+4.
Australia	Copyright. Based on data provided under license from PSMA Australia Limited (www.psm.com.au). Product incorporates data which is © 2012 Telstra Corporation Limited, GM Holden Limited, Intelomatics Australia Pty Ltd and Continental Pty Ltd.
Nepal	Copyright © Survey Department, Government of Nepal.
Sri Lanka	This product incorporates original source digital data obtained from the Survey Department of Sri Lanka © 2009 Survey Department of Sri Lanka The data has been used with the permission of the Survey Department of Sri Lanka
Israel	© Survey of Israel data source
Jordan	"© Royal Jordanian Geographic Centre".
Mozambique	Certain Data for Mozambique provided by Cenacarta © 2012 by Cenacarta
Réunion	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Ecuador	INSTITUTO GEOGRAFICO MILITAR DEL ECUADRO AUTORIZACION N° IGM-2011-01- PCO-01 DEL 25 DE ENERO DE 2011

Guadeloupe	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Guatemala	Aprobado por el INSTITUTO GEOGRAFICO NACIONAL – Resolución del IGN N° 186-2011
French Guiana	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Martinique	source: © IGN 2009 - BD TOPO ®
Mexico	Fuente: INEGI (Instituto Nacional de Estadística y Geografía)

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX AW110

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1605万画素
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1679万画素
レンズ	光学5倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	5.0-25.0 mm (35mm判換算28-140 mm相当の撮影画角)
開放F値	f/3.9-4.8
レンズ構成	9群11枚 (EDレンズ2枚)
電子ズーム倍率	最大4倍 (35mm判換算で約560 mm相当の撮影画角)
手ブレ補正機能	レンズシフト方式と電子式の併用 (静止画) レンズシフト方式 (動画)
ブレ軽減機能	モーション検知 (静止画)
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	・ 先端レンズ面中央から約 50 cm ~∞ (広角側)、 約 1 m ~∞ (望遠側) ・ マクロモード時は先端レンズ面中央から 約 1 cm(広角側) ~∞
AFエリア	顔認識オート、オート (9点)、中央、マニュアル (9点)、ターゲット追尾
画像モニター	3型有機ELモニター、反射防止コート付き、約61.4万ドット、輝度調節機能付き (5段階)
視野率 (撮影時)	上下左右とも約97% (対実画面)
視野率 (再生時)	上下左右とも約100% (対実画面)
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー (約21 MB)、 SD/SDHC/SDXC メモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.3、DPOF、MPF準拠
ファイル形式	静止画：JPEG 3D画像：MPO 音声メモ：WAV 動画：MOV (映像：H.264/MPEG-4 AVC、音声：AAC ステレオ)

主な仕様

記録画素数 (画像サイズ)	<ul style="list-style-type: none">• 16 M (高画質) [4608 × 3456★]• 16 M [4608 × 3456]• 8 M [3264 × 2448]• 4 M [2272 × 1704]• 2 M [1600 × 1200]• VGA [640 × 480]• 16:9 12 M [4608 × 2592]
ISO感度(標準出力感度)	<ul style="list-style-type: none">• ISO 125 ~ 1600• ISO 3200 (オート撮影モード時に設定可能)
露出	
測光モード	マルチパターン測光、中央部重点測光(電子ズームが2倍未満のとき)、スポット測光(電子ズームが2倍以上のとき)
露出制御	プログラムオート、露出補正(±2段の範囲で1/3段刻み)可能
シャッター方式	メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用
シャッタースピード	1/1500 ~ 1秒、4秒(シーンモードの[打ち上げ花火])
絞り	電磁駆動によるNDフィルター(-2 AV)選択方式
制御段数	2 (f/3.9、f/7.8 [広角側])
セルフタイマー	約10秒、約2秒
フラッシュ	
調光範囲 (ISO感度設定オート時)	約0.5~5.2 m (広角側) 約0.5~4.5 m (望遠側)
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース	Hi-Speed USB
通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
HDMI出力	オート、480p、720p、1080iから選択可能
入出力端子	<ul style="list-style-type: none">• オーディオビデオ(AV)出力/デジタル端子(USB)• HDMIマイクロ端子(Type D)(HDMI出力)

Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル) ARIB STD-T66 (小電力データ通信システム規格)
伝送方式	IEEE 802.11b: DBPSK、DQPSK、CCK IEEE 802.11g: OFDM IEEE 802.11n: OFDM
通信距離	約30 m
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412~2462 MHz (1~11チャンネル)
データ転送速度 (実測値)	IEEE 802.11b: 5 Mbps IEEE 802.11g: 12 Mbps IEEE 802.11n: 12 Mbps
セキュリティー	OPEN/WPA2
アクセス方式	CSMA/CA
電子コンパス	16方位 (3軸加速度センサーによる姿勢補正機能付き、自動偏角補正付き、自動オフセット調整機能付き)
GPS	受信周波数 1575.42 MHz (C/Aコード)、測地系 WGS 84
気圧計	動作範囲: 約500~1100 hPa
高度計	動作範囲: 約-300~+4500 m (-984~+14760 ft)
水深計	動作範囲: 約0~20 m (0~65 ft)
表示言語	日本語、英語
電源	<ul style="list-style-type: none"> Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12(リチウムイオン充電電池: 付属) × 1 個 AC アダプター EH-62F (別売)
電池寿命 ^{※1}	
静止画撮影時	約250コマ (EN-EL12使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命) ^{※2}	約55分 (EN-EL12 使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約110.1×65.3×24.5 mm (突起部除く)
質量	約193 g (バッテリー、SDメモリーカード含む)
動作環境	
使用温度	-10℃~+40℃ (陸上) 0℃~40℃ (水中)
使用湿度	85%以下 (結露しないこと)

主な仕様

防水性能	JIS/IEC 保護等級 8 (IPX8) 相当 (当社試験条件による) 水深 18 m (59 ft)、60分までの撮影が可能
防じん性能	JIS/IEC 保護等級 6 (IP6X) 相当 (当社試験条件による)
耐衝撃性能	MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠した当社試験条件 ^(※3) をクリアー

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による温度条件 23℃ (±3℃) で、フル充電バッテリー使用時のものです。
- ※1 電池寿命測定方法を定めたCIPA (カメラ映像機器工業会) 規格によるものです。
静止画の測定条件は、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画像モード **16M** [4608×3456] です。
動画設定は、**1080** [1080★/30p] です。
数値は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用環境によって異なります。
- ※2 動画の連続撮影可能時間 (1回の撮影で記録可能な時間) は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。
カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- ※3 高さ202 cmから厚さ5 cmの合板に落下させます (落下衝撃部分の塗装剥離、変形など外観変化、防水性能は不問とします)。
すべての条件での無破壊、無故障を保証するものではありません。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC3.7 V、1050 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約32 × 43.8 × 7.9 mm
質量	約22.5 g（端子カバーを除く）

バッテリーチャージャー MH-65P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、0.08～0.05 A
定格入力容量	8～12 VA
定格出力	DC 4.2 V、0.7 A
適用充電電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL12
充電時間	約2時間30分（残量のない状態からの充電時間）
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約58 × 27.5 × 80 mm
質量	約70 g

 説明書について

- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- ・ Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- ・ DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- ・ Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かして最適なプリント出力を得ることができます。
詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- ・ PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

主な仕様

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2013 The FreeType Project (www.freetype.org) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (Harfbuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、©2013 The Harfbuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/Harfbuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。iFrameのロゴおよびシンボルは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

索引

マーク・英数字

AE/AF-L 42

📷 オート撮影モード 47

📺 オート分類再生モード 67、🔗8

📺 お気に入り再生モード 67、🔗5

📺 撮影日一覧モード 67、🔗10

📺 シーンモード 34

😊 ベストフェイスモード 45

📷 らくらくオート撮影モード 33

📷 アクションボタン 7

📷 撮影モードボタン 24

▶ 再生ボタン 30

🗑️ 削除ボタン 31、🔗12、🔗55

📄 セルフタイマー 49、52

📷 地図ボタン 85

● (📷 動画撮影) ボタン 77

📷 フラッシュモード 49、50

📷 マクロモード 49、53

MENU メニューボタン 8、57、68、80、88、94

📷 露出補正 49、54

Q 拡大表示 65

W 広角ズーム 27

📷 サムネイル表示 66

T 望遠ズーム 27

1 コマ表示 30

3D 撮影 3D 42

AC アダプター 15、🔗96

AF エリア 28、🔗37

AF エリア選択 58、🔗37

AF 表示 28

AF 補助光 95、🔗76

AF モード 58、80、🔗40、🔗48

A-GPS ファイル 88、🔗59

AV ケーブル 72、🔗20

BSS 38、58、🔗33

DPOF プリント 🔗25

DSCN 🔗94

D-ライティング 69、🔗16

Eye-Fi 送信機能 96、🔗84

FSCN 🔗94

GPS 82

GPS 設定 88、🔗58

GPS 設定メニュー 88、🔗58

HDMI 72、96、🔗20、🔗80

HDMI 3D 出力 96、🔗80

HDMI 機器制御 96、🔗80

HDMI マイクロ端子 72、🔗20

HDR 39

HS 動画 79、🔗45、🔗46

HS 動画で記録開始 80、🔗48

ISO 感度設定 58、🔗36

PictBridge 72、🔗22、🔗27

POI 設定 84、89、🔗61

RSCN 🔗94

SD カード 18、19

SD カードスロット 18

SD カードの初期化 18、96、🔗79

SSCN 🔗94

TV 出力設定 96、🔗80

USB/ オーディオビデオ出力端子 72、

75、🔗20、🔗22

USB ケーブル 72、75、🔗22

ViewNX 2 73

Wi-Fi 91

Wi-Fi 設定 96、🔗82

.JPG 🔗94

.MOV 🔗94

.MPO 🔗94

.WAV 🔗94

ア

赤目軽減自動発光 51

アクション操作 7

アクション操作の感度 95、🔗77

アクションボタン 7

圧縮率 🔗29

打ち上げ花火 🎆 39

笑顔自動シャッター 45、59、🔗42

オーディオビデオケーブル 72、🔗20

オート撮影モード 47

オートパワーオフ 21、95、🔗78

オートフォーカス 53、58、80、🔗40、🔗48

オートフォーカスモード 58、80、🔗40、🔗48

オート分類再生モード 67、🔗8

オープニング画面 94、🔗68

お気に入り解除 69、🔗6

お気に入り再生モード 67、📷5
 お気に入り登録 69、📷5
 お気に入りフォルダー 📷5、📷7
 音声入力 / 映像入力端子 72、📷20
 音声メモ 69、📷55
 音量 81

カ

顔認識 62
 顔認識オート 58、📷37
 拡大表示 65
 拡張子 📷94
 風切り音低減 80、📷49
 画像回転 69、📷54
 画像コピー 69、📷56
 画像選択画面の操作方法 71
 画像編集 📷13
 画像モード 58、📷29
 画面の明るさ 94、📷71
 カレンダー表示 66
 かんたんパノラマ 40、📷2
 簡単レタッチ 69、📷16
 感度制限オート 📷36
 気圧表示 87
 逆光 📷 39
 強制発光 51
 距離計算 88、📷60
 距離単位 88、📷59
 記録可能コマ数 20、📷30
 記録可能時間 77、📷46
 クイックエフェクト 48、58、📷15、
 📷41
 組み合わせて使えない機能 60
 クローズアップ 📷 38
 言語 / Language 96、📷79
 広角ズーム 27
 光学ズーム 27
 格子線 94、📷72
 高速連写 58、📷33
 高度 / 水深設定 90
 高度計 87
 高度表示 87
 高度ログ 89

サ















再生 30、67、81、📷55
 再生メニュー 68、📷50

再生モード 67
 先取り撮影 58、📷33
 削除 31、81、📷12、📷55
 撮影 24、77
 撮影情報 10
 撮影日一覧モード 67、📷10
 撮影メニュー 57、📷29
 撮影モード 25
 サマータイム 22、📷70
 サムネイル表示 66
 シーンモード 34
 識別子 📷94
 時差 📷70
 自動発光 51
 シャッター音 95、📷77
 シャッターボタン 28
 充電器 14
 充電式バッテリー 14
 常時 AF 58、80、📷40、📷48
 使用できるアクセサリ 📷96
 焦点距離 📷23
 情報合成画像 69、📷18
 初期化 18、96、📷79
 シングル AF 58、80、📷40、📷48
 ズーム 27
 ズームレバー 27
 水深計 87
 水深表示 87
 水深ログ 89
 水中 📷 43
 スペシャルエフェクトモード 44
 スポーツ 📷 35
 スモールピクチャー 69、📷18
 スライドショー 69、📷53
 スローシンクロナ 51
 スローモーション撮影 79、📷46
 接写 53
 設定音 95、📷77
 設定クリアー 96、📷85
 セットアップメニュー 94、📷68
 セルフタイマー 49、52
 セルフタイマーランブ 52
 操作音 95、📷77





タ

ターゲット追尾 58、📷38、📷39
 タイムゾーン 22、📷70














索引













ダイレクトプリント 72、22
単写 58、33
地域と日時 22、94、69
地図表示 85
デート写し込み 94、73
手ブレ補正 95、74
電源 20、21、22
電源スイッチ/電源ランプ 21
電子コンパス設定 90、66
電子ズーム 27、95、76
動画再生 81
動画撮影 77
動画照明 80、49
動画設定 80、44
動画編集 27
動画メニュー 80、44
トリミング 19、27
トワイライト  37

ナ













内蔵メモリーの初期化 96、79
内蔵メモリー表示 20
夏時間 22、70
日時合わせ 89、65
日時の設定 22、69

ハ

バージョン情報 96、88
パーティー  36
パソコン 72、75
発光禁止 51
バッテリー 14、16
バッテリー/SDカードカバー 16、18
バッテリー残量 20
バッテリーチャージャー 14
早送り動画 79、46
半押し 28
ビーチ  37
日付のプリント 51
ビデオ出力 96、80
美肌機能 46
美肌効果 59、42
ピント 28、37、40、48
ファイル名 94
風景  35
フォーカスロック撮影 63
フォルダー名 94

フラッシュ 50
フラッシュモード 49、50
プリセットマニュアル 32
プリンター 72、22
プリント 22、23、24
プリント指定 69、50
プロテクト設定 69、54
ベストショットセレクトター 38、33
ベストフェイスメニュー 59
ベストフェイスモード 45
別売アクセサリ 96
ペット  41
ポートレート  35
望遠ズーム 27
ホワイトバランス 58、31






マ





マイク 69、77、80、49、55
マクロモード 49、53
マルチセレクトター 3、4、49
マルチ連写 58、34
ミュージアム  38
メイクアップ効果 69、17
目つぶり軽減 59、43
目つぶり検出 96、81
メニューアイコンの切り換え方 9
メモリー残量 20
モーション検知 95、75
モニター 10、12、7
モニター設定 94、71
モニター表示設定 94、71
モノクロコピー  39

ヤ

夜景  37
夜景ポートレート  36
夕焼け  37
雪  37
用紙設定 26

ラ

陸上専用ストラップ 6
リチウムイオン充電電池 14
料理  38
連写 58、33
連写グループ 30、11
連写グループ表示方法 69、57
連写の代表画像選択 69、57

レンズ 7、23
ログ取得 89、62
ログデータ表示 89、64
露出補正 49、54



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。ファクシミリでのご相談は、(03)5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00(年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

●<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

●<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼されるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**